

**長野県民の結婚・出産・子育て
に関する調査**

報告書

平成 28 年 8 月

ながの子ども・子育て応援県民会議

目次

1. 調査概要.....	1
(1) 調査目的.....	1
(2) 調査設計.....	1
(3) 回答者基本属性.....	1
2. 調査結果.....	2
(1) 婚姻状況.....	2
(2) 独身者の結婚に対する意識.....	3
(3) 既婚者の結婚生活の状況.....	28
(4) 働き方に関する現状.....	32
(5) 出産や子育てに関する意識と現状.....	37
附属資料（調査票）.....	60

<報告書の見方>

- 調査結果の数値は、回答率（%：パーセント）で表示している。母数はその質問項目に該当する回答者の総数であり、その数はnで示している。
- nが30未満の結果については、サンプル数が少ないため、参考値扱いとなる。
- %の数値は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表示している。このため各回答の数値の合計が100%とならない場合がある。
- 回答は、単数回答（回答は1つ）の場合と複数回答（回答はいくつでも）の場合、数値を記入する場合とがある。複数回答の問の場合には、その回答割合（%）の合計は100%を超えることがある。
- TOTALと比較して統計的に有意な差（有意水準5%）がある結果を中心にコメントを記載している。
- 数表中のオレンジ色の箇所はTOTALの値よりも有意に高いことを示し、青い箇所はTOTALの値よりも有意に低いことを示している（いずれも有意水準5%）。

1. 調査概要

(1) 調査目的

長野県民の結婚・出産・子育てに対する意識や希望を調査し、「ながの子ども・子育て応援県民会議」における事業の方向性の決定等に活用するほか、「長野県人口定着・確かな暮らし実現総合戦略」の評価指標の検証に活用する。

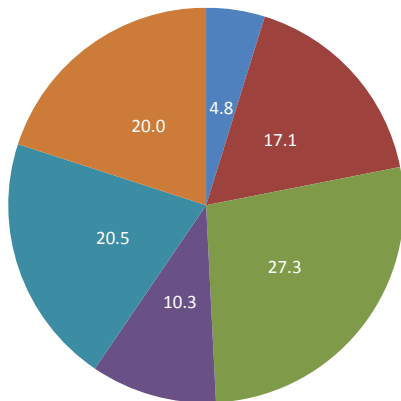
(2) 調査設計

調査方法	インターネット調査
調査対象	以下の条件に該当する者を、インターネットモニター(マイティモニター)より抽出した。 <対象者条件> ・性別・年齢：18～49歳男女 ・居住地域：長野県 ・長野県の性・年代構成に近くなるように回収を行う。
有効回収数	3,019
調査実施時期	平成28年7月15日～平成28年7月19日

(3) 回答者基本属性

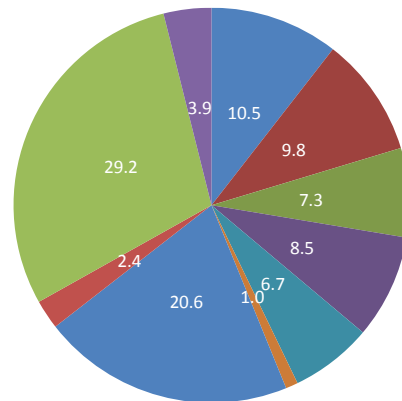
<性・年代>

■ 男性10・20代 ■ 男性30代 ■ 男性40代 ■ 女性10・20代 ■ 女性30代 ■ 女性40代



<居住地域>

■ 佐久地域 ■ 上小地域 ■ 諏訪地域 ■ 上伊那地域 ■ 飯伊地域
■ 木曾地域 ■ 松本地域 ■ 大北地域 ■ 長野地域 ■ 北信地域



※いずれも n=3,019 単位 (%)

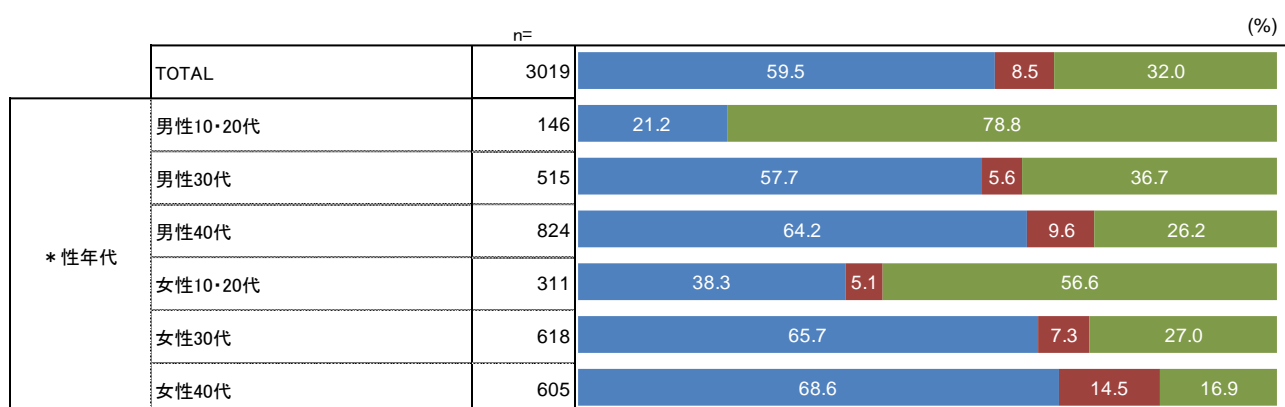
2. 調査結果

(1) 婚姻状況

問4 あなたの現在の婚姻状況をお答えください。(回答は1つ)

既婚者の割合は59.5%、独身者の割合は40.5%である。男女ともに30代以上は6割以上が既婚である。

■ 現在、結婚(事実婚を含む)している ■ 結婚していたが、現在は離・死別した ■ 結婚したことはない



(2) 独身者の結婚に対する意識

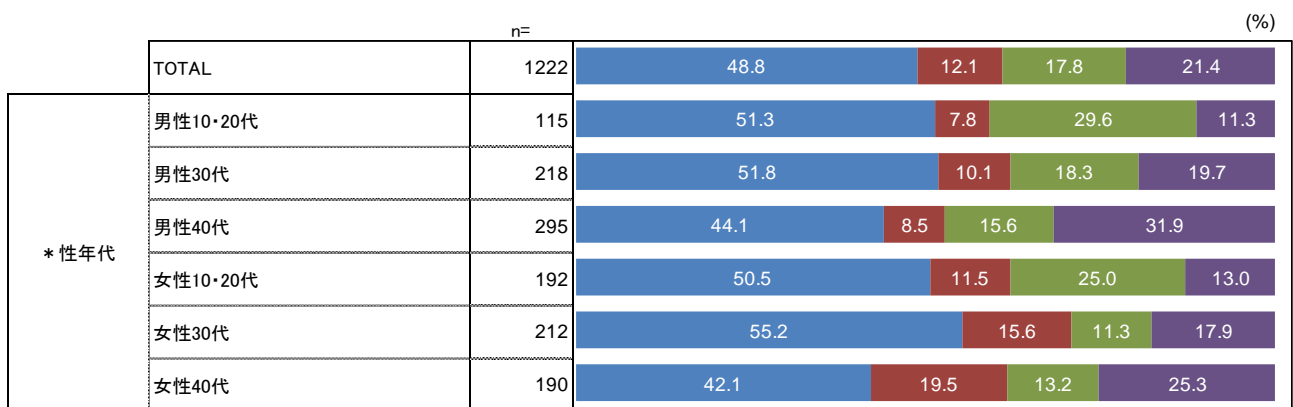
問5 あなたのご両親と現在のあなたとの同居／別居についてうかがいます。(回答は1つ)
 【回答者：独身者】

独身者のうち、父親と同居しているのは48.8%、徒歩で30分程度の別居(近居)は12.1%である。また、母親と同居しているのは60.8%、徒歩で30分程度の別居(近居)は12.1%である。

女性30代では、父親・母親のどちらの場合も同居の割合が高い。また、女性40代では同居の割合は低く、徒歩で30分程度の別居(近居)の割合が高い。

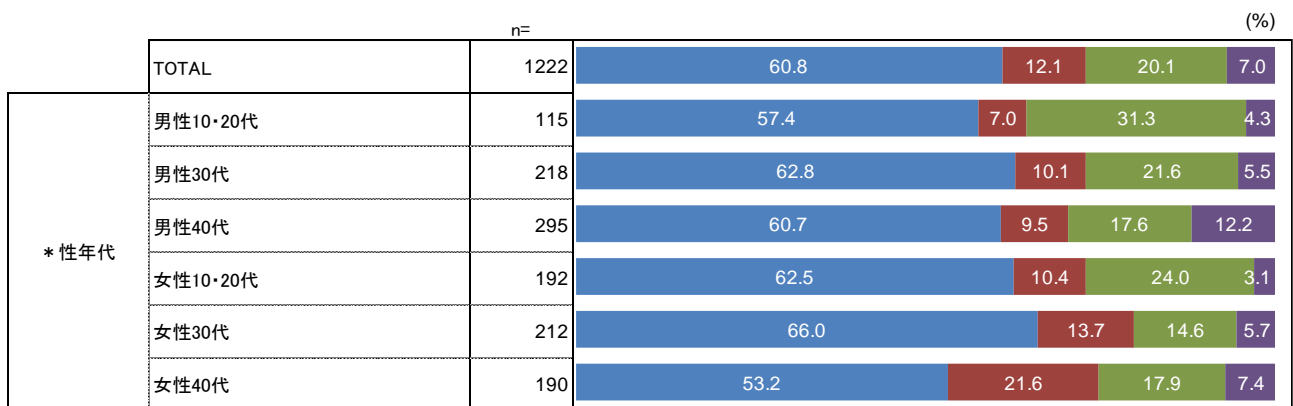
① 父親との同居状況

■同居 ■別居(近居) ■別居(近居以外) ■いない



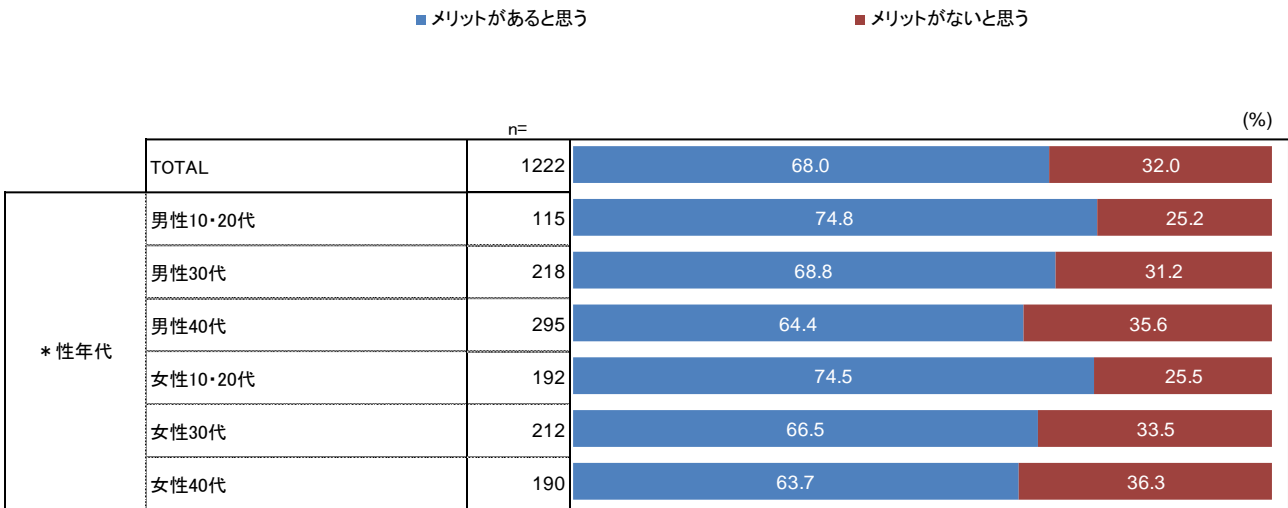
② 母親との同居状況

■同居 ■別居(近居) ■別居(近居以外) ■いない



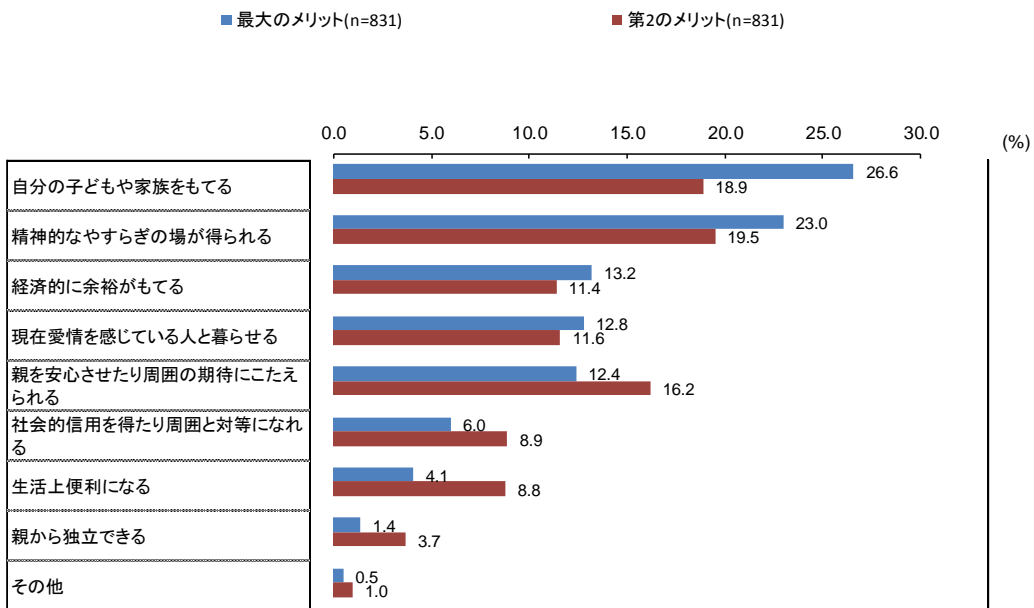
問6 今のあなたにとって、結婚することは何かメリットがあると思いますか。(回答は1つ)
【回答者：独身者】

結婚することにメリットがあると思う割合は68.0%、メリットがないと思う割合は32.0%である。
 性・年代別にみると、男性・女性とも10・20代でメリットがあると思う割合が高い(男性10・20代：74.8%、女性10・20代：74.5%)、
 一方、男性・女性ともに40代では、メリットがないと思う割合が高い(男性40代：35.6%、女性40代36.3%)。



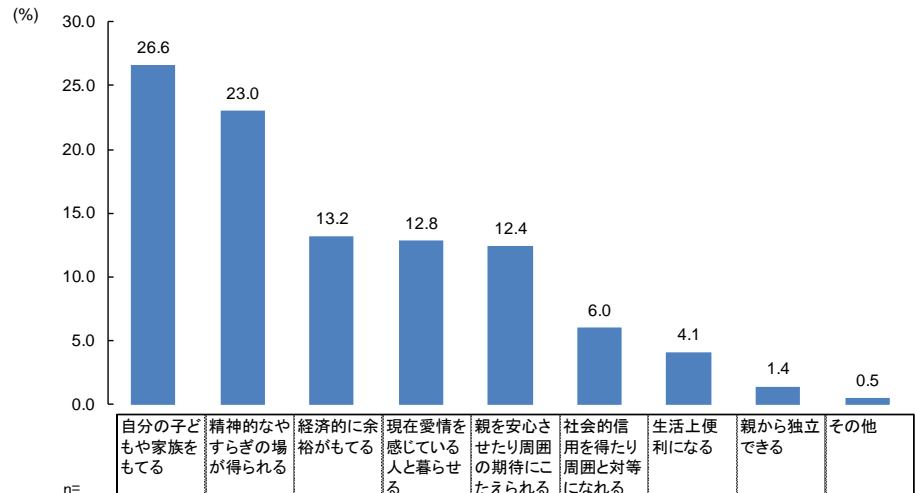
問7 どのようなメリットがあると思いますか。最大のメリット、第2のメリットをそれぞれお答えください。(回答は1つ)
【回答者：結婚にメリットがあると考えている者】

結婚の最大のメリットとしては、「自分の子どもや家族をもてる」(26.6%)、「精神的なやすらぎの場が得られる」(23.0%) ことが上位にあげられている。以下、「経済的に余裕がもてる」(13.2%)、「現在愛情を感じている人と暮らせる」(12.8%)、「親を安心させたり周囲の期待にこたえられる」(12.4%)と続く。



① 最大のメリット

性・年代別にみると、男性10・20代では「現在愛情を感じている人と暮らせる」(24.4%) こと、男性30代では「生活上便利になる」(7.3%) こと、男性40代では「精神的な安らぎの場が得られる」(32.6%)、「社会的信用を得たり周囲と対等になれる」(10.0%)、「生活上便利になる」(6.8%) ことにメリットを感じる割合が高い。一方、女性40代では「経済的に余裕がもてる」(28.9%) ことをメリットとする割合が高いのが特徴である。

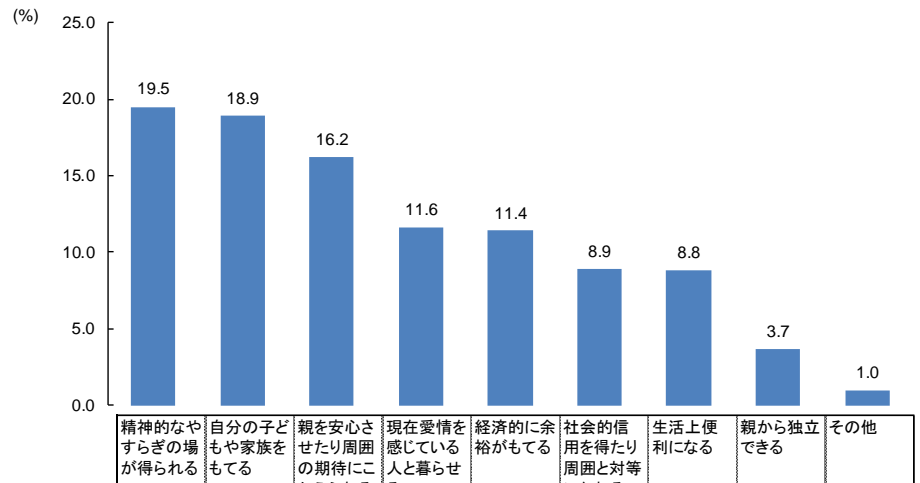


		n=	自分の子どもや家族をもてる	精神的なやすぎの場が得られる	経済的に余裕がもてる	現在愛情を感じている人と暮らせる	親を安心させたり周囲の期待にこたえられる	社会的信用を得たり周囲と対等になれる	生活上便利になる	親から独立できる	その他
TOTAL		831	26.6	23.0	13.2	12.8	12.4	6.0	4.1	1.4	0.5
* 性年代	男性10・20代	86	27.9	25.6	11.6	24.4	2.3	3.5	1.2	3.5	0.0
	男性30代	150	30.0	25.3	2.7	10.0	17.3	5.3	7.3	1.3	0.7
	男性40代	190	20.5	32.6	8.4	9.5	11.1	10.0	6.8	0.0	1.1
	女性10・20代	143	31.5	15.4	16.1	17.5	14.7	2.8	1.4	0.7	0.0
	女性30代	141	31.2	14.9	15.6	9.9	17.0	7.1	0.7	3.5	0.0
	女性40代	121	19.8	21.5	28.9	10.7	7.4	5.0	5.0	0.8	0.8

② 第2のメリット

性・年代別にみると、男性30代では「自分の子どもや家族をもてる」(25.3%)、男性40代では「生活上便利になる」(13.7%) ことをあげる割合が高い。

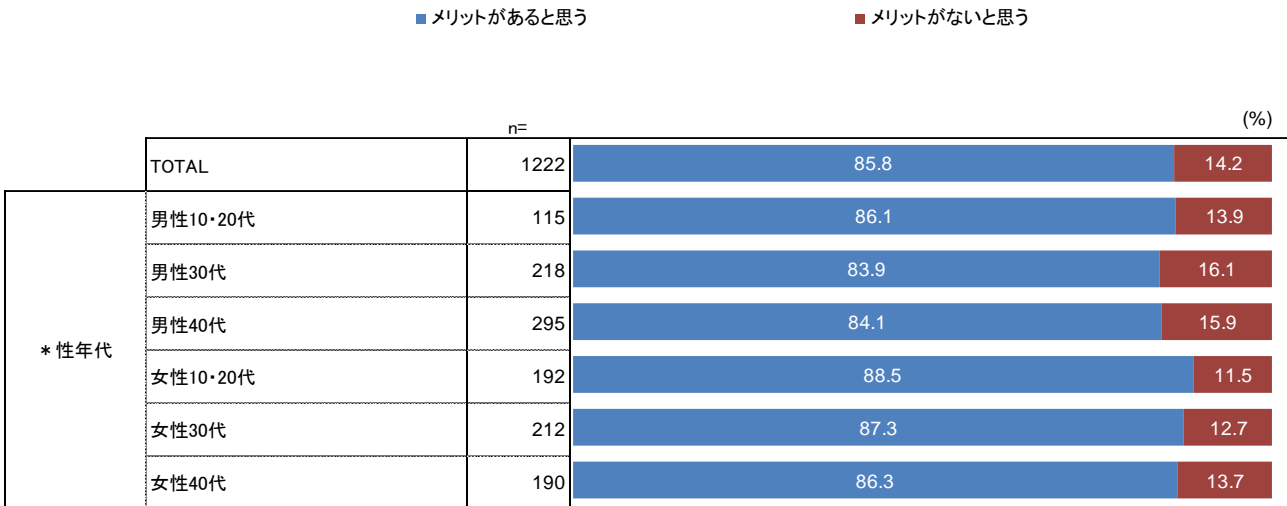
女性40代では「経済的に余裕がもてる」(24.8%) ことをあげる割合が高い一方、「自分の子どもや家族をもてる」(9.1%) の割合が低い。



		n=	精神的なや すらぎの場 が得られる	自分の子ども や家族を もてる	親を安心さ せたり周囲 の期待にこ たえられる	現在愛情を 感じている 人と暮らせ る	経済的に余 裕がもてる	社会的信 用を得たり 周囲と対等 になれる	生活上便 利になる	親から独立 できる	その他
TOTAL		831	19.5	18.9	16.2	11.6	11.4	8.9	8.8	3.7	1.0
* 性年代	男性10・20代	86	17.4	24.4	14.0	12.8	4.7	10.5	10.5	5.8	0.0
	男性30代	150	20.7	25.3	13.3	11.3	7.3	10.7	7.3	3.3	0.7
	男性40代	190	22.6	16.8	12.6	12.1	7.4	12.6	13.7	0.5	1.6
	女性10・20代	143	16.8	21.7	20.3	9.1	14.7	4.9	7.0	5.6	0.0
	女性30代	141	19.9	17.0	21.3	11.3	10.6	5.7	7.8	5.0	1.4
	女性40代	121	17.4	9.1	16.5	13.2	24.8	8.3	5.0	4.1	1.7

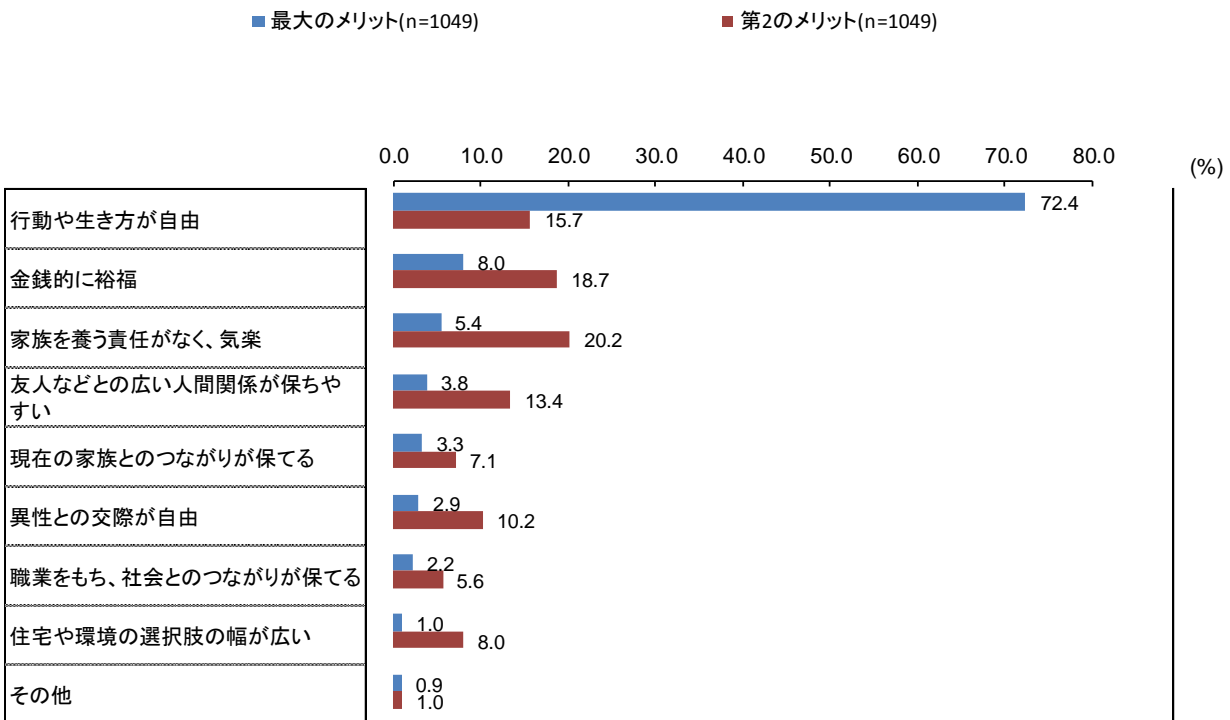
問8 それでは逆に今のあなたにとって、独身生活には結婚生活にないメリットがあると思いますか。(回答は1つ) 【回答者：独身者】

独身生活にメリットがあると思う割合は 85.8%、メリットがないと思う割合は 14.2%である。性・年代による差はみられない。



問9 どのようなメリットがあると思いますか。最大のメリット、第2のメリットをそれぞれお答えください。(回答は1つ) 【回答者：独身生活にメリットがあると考えている者】

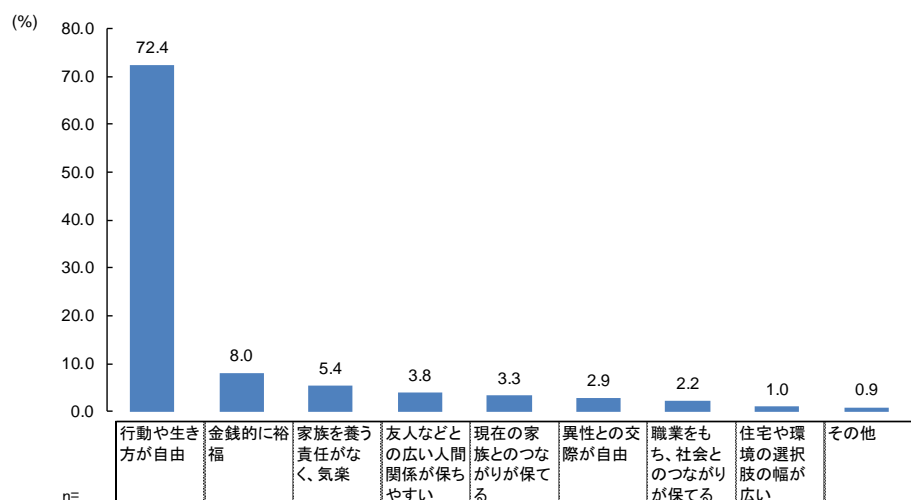
独身生活の最大のメリットは、「行動や生き方が自由」なことが7割を占める。第2のメリットとしては「家族を養う責任がなく、気楽」(20.2%)、「金銭的に裕福」(18.7%)などがあげられている。



① 最大のメリット

最大のメリットは、いずれの性・年代においても「行動や生き方が自由」なことをあげる割合が高く、いずれも7割前後にのぼる。特に女性40代では79.9%と割合が高い。

女性30代では「現在の家族とのつながりが保てる」(6.5%) こと、「職業をもち、社会とのつながりが保てる」(5.4%) ことをメリットとしてあげる割合が高い。

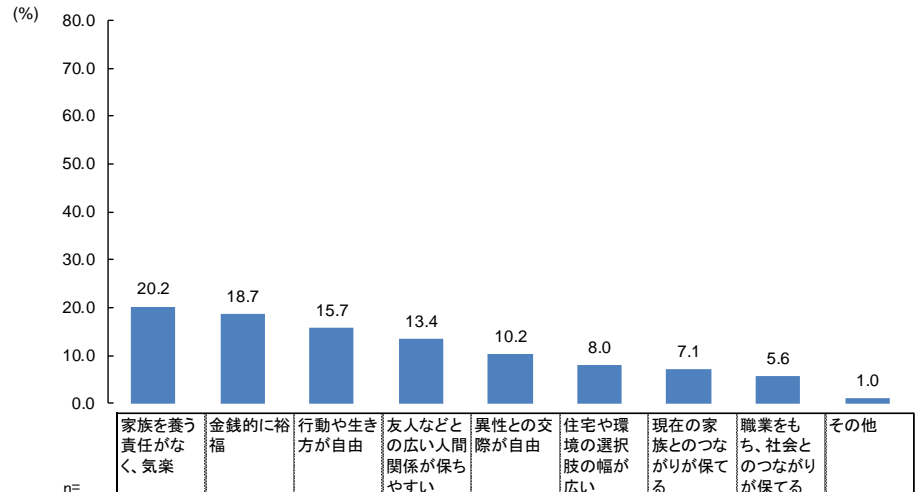


		n=	行動や生き方が自由	金銭的に裕福	家族を養う責任がなく、気楽	友人などとの広い人間関係が保ちやすい	現在の家族とのつながりが保てる	異性との交際が自由	職業をもち、社会とのつながりが保てる	住宅や環境の選択の幅が広い	その他
TOTAL		1049	72.4	8.0	5.4	3.8	3.3	2.9	2.2	1.0	0.9
* 性年代	男性10・20代	99	74.7	7.1	6.1	4.0	1.0	4.0	3.0	0.0	0.0
	男性30代	183	70.5	11.5	6.6	5.5	1.1	2.7	1.6	0.0	0.5
	男性40代	248	70.2	10.5	6.5	3.6	2.0	3.2	0.4	2.4	1.2
	女性10・20代	170	73.5	5.9	2.9	5.9	5.3	4.1	0.6	0.6	1.2
	女性30代	185	68.6	8.6	5.9	3.2	6.5	1.1	5.4	0.5	0.0
	女性40代	164	79.9	2.4	4.3	0.6	3.7	2.4	3.0	1.8	1.8

② 第2のメリット

男性30代では「金銭的に裕福」(25.1%)、男性40代では「異性との交際が自由」(15.7%) なことをあげる割合が高い。

一方で女性の場合、10・20代では「職業をもち、社会とのつながりが保てる」(11.2%)、30代では「現在の家族とのつながりが保てる」(11.4%)、40代では「現在の家族とのつながりが保てる」(13.4%)、「職業をもち、社会とのつながりが保てる」(13.4%) ことなどをメリットとしてあげる割合が高い。



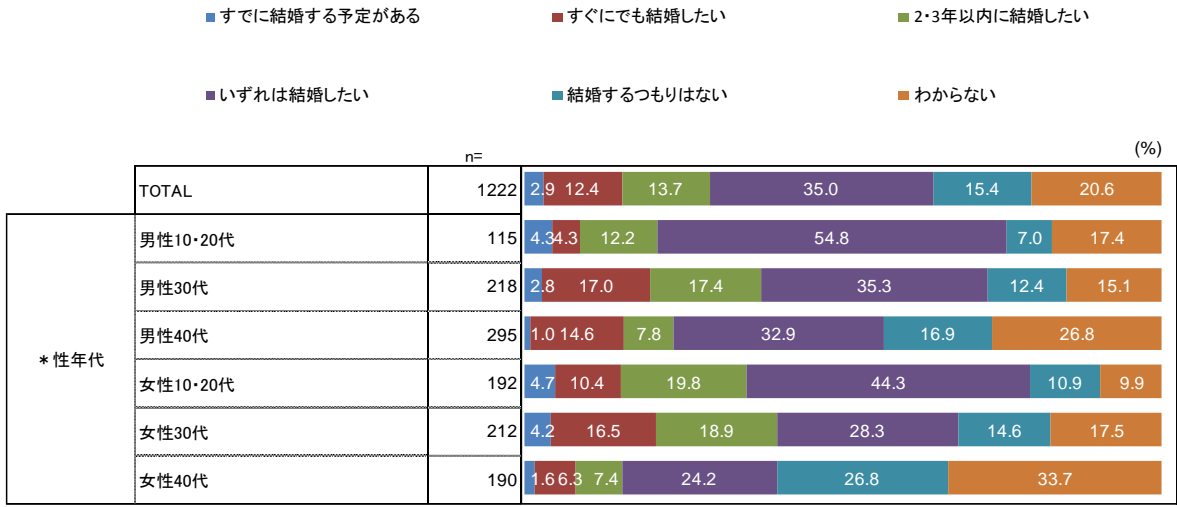
		n=	家族を養う責任がなく、気楽	金銭的に裕福	行動や生き方が自由	友人などとの広い人間関係が保ちやすい	異性との交際が自由	住宅や環境の選択肢の幅が広い	現在の家族とのつながりが保てる	職業をもち、社会とのつながりが保てる	その他
TOTAL		1049	20.2	18.7	15.7	13.4	10.2	8.0	7.1	5.6	1.0
* 性年代	男性10・20代	99	23.2	25.3	16.2	12.1	10.1	10.1	3.0	0.0	0.0
	男性30代	183	23.0	25.1	17.5	9.8	10.4	8.7	2.2	2.2	1.1
	男性40代	248	23.0	18.5	16.9	9.3	15.7	7.7	5.2	2.4	1.2
	女性10・20代	170	16.5	17.1	14.7	17.6	7.6	8.2	7.1	11.2	0.0
	女性30代	185	19.5	17.8	16.8	15.1	8.1	7.0	11.4	4.3	0.0
	女性40代	164	15.9	10.4	11.6	18.3	6.7	7.3	13.4	13.4	3.0

問10 結婚について、あなたのお気持ちに最も近いものをお答えください。(回答は1つ)
【回答者：独身者】

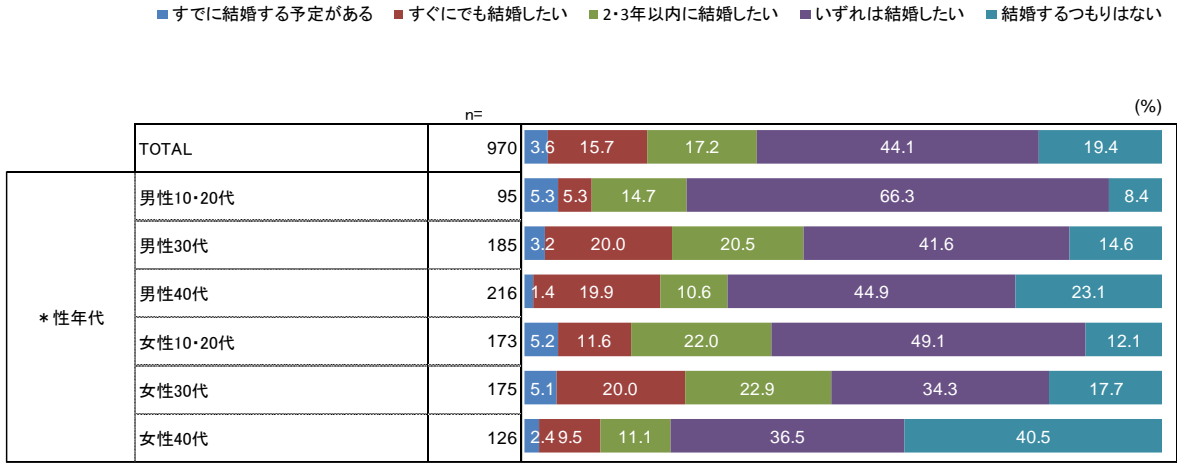
独身者の結婚意向としては、「いずれは結婚したい」が35.0%、「2・3年以内に結婚したい」が13.7%である。「すでに結婚する予定がある」、「すぐにでも結婚したい」と合わせると、6割(64.0%)は結婚意向があると回答している。

性・年代別にみると、女性10・20代の結婚意向が最も高く(79.2%)、女性40代の結婚意向が最も低い(39.5%)。

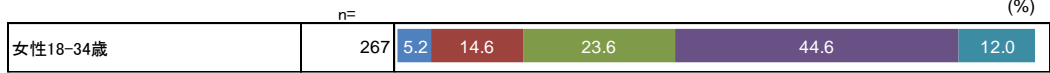
なお、「わからない」の回答を除いた場合、結婚意向は80.6%となり、希望出生率の算出根拠となる「女性18-34歳」では、結婚意向は88.0%となった。



< 「わからない」の回答を除いた場合 >



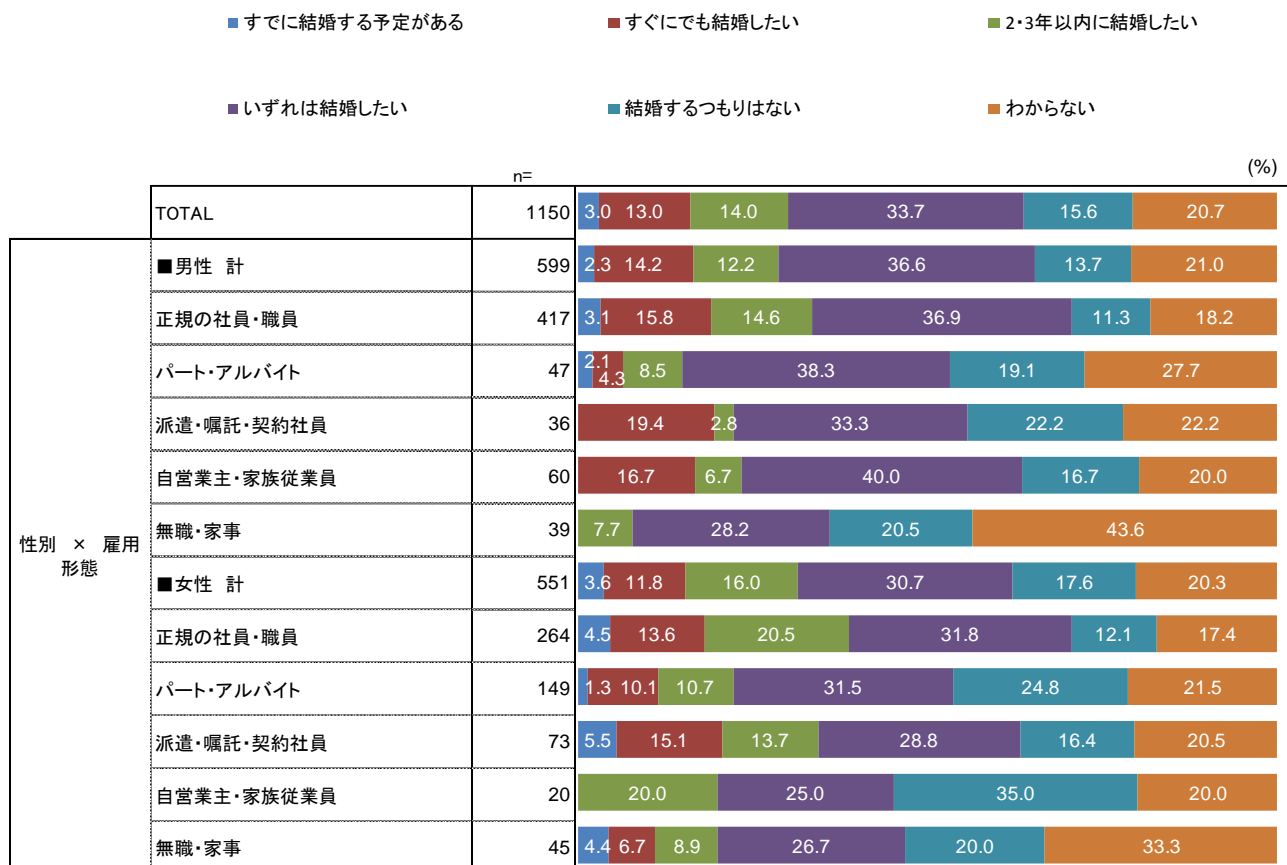
■すでに結婚する予定がある ■すぐにでも結婚したい ■2・3年以内に結婚したい ■いずれは結婚したい ■結婚するつもりはない



※希望出生率の算出根拠

結婚意向を性・雇用形態別にみると、男性、女性とも「正規の社員・職員」では、結婚意向があると回答した割合は7割を占める。

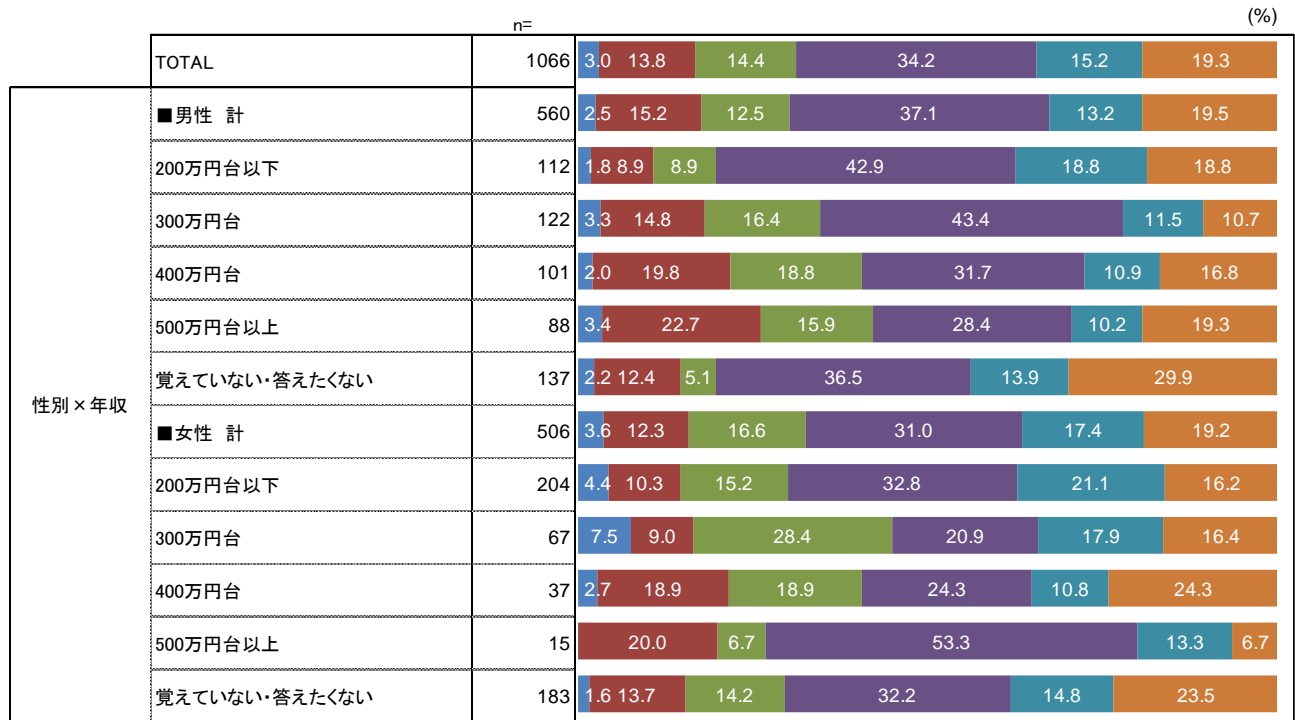
一方で、男性の「無職・家事」では、「わからない」(43.6%)とする割合が高く、結婚意向があると回答した割合が低い。また、女性の「パート・アルバイト」、「自営業主・家族従業員」では、「結婚するつもりはない」と回答する割合が高い(女性パート・アルバイト:24.8%、女性自営業主・家族従業員:35.0%)。



※なお、「学生 65 人」「その他 7 人」を除いて計算している。

結婚意向を性・年収別にみると、年収 500 万円台以上の男性は「すぐにでも結婚したい」(22.7%) 割合が高く、年収 300 万円台の男性では「いずれは結婚したい」(43.4%) の割合が高い。
女性では、年収 300 万円台において「2・3 年以内に結婚したい」が 28.4% と高い。

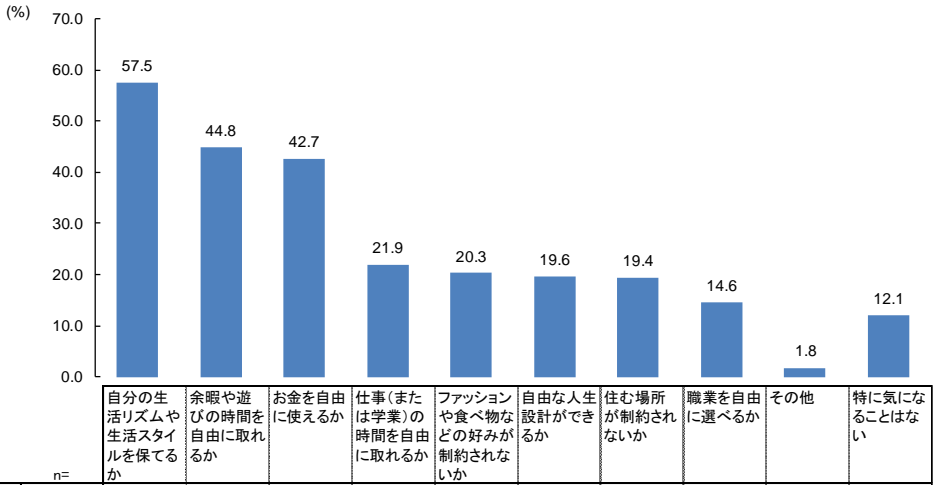
- すでに結婚する予定がある
- すぐにでも結婚したい
- 2・3年以内に結婚したい
- いずれは結婚したい
- 結婚するつもりはない
- わからない



問 11 あなたが結婚を考えたとき、次の中ではどのようなことが気になりますか。(回答はいくつでも) 【回答者：結婚予定がある、または意向がある者】

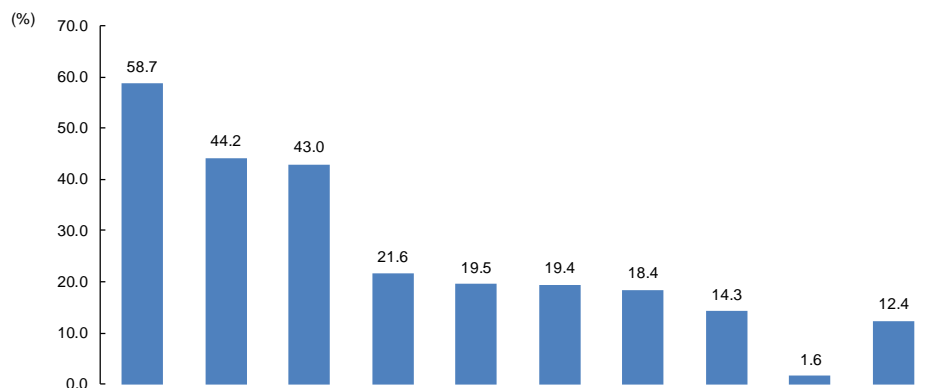
結婚を考えたときに気になることとしては、「自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか」(57.5%)が最も高く、以下「余暇や遊びの時間を自由に取れるか」(44.8%)、「お金を自由に使えるか」(42.7%)と続く。

性・年代別にみると、女性10・20代では、「ファッションや食べ物などの好みが増え制限されないか」(31.6%)、「仕事(または学業)の時間を自由に取れるか」(28.3%)、「自由な人生設計ができるか」(25.7%)、女性30代では、「自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか」(68.1%)、「仕事(または学業)の時間を自由に取れるか」(34.0%)、「住む場所が制限されないか」(29.2%)、「職業を自由に選べるか」(22.9%)、女性40代では、「自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか」(72.0%)等を気になることとしてあげる割合が高く、ライフスタイルの変化に対する懸念が強いことがうかがえる。



n=		自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか	余暇や遊びの時間を自由に取れるか	お金を自由に使えるか	仕事(または学業)の時間を自由に取れるか	ファッションや食べ物などの好みが増え制限されないか	自由な人生設計ができるか	住む場所が制限されないか	職業を自由に選べるか	その他	特に気になることはない
TOTAL	782	57.5	44.8	42.7	21.9	20.3	19.6	19.4	14.6	1.8	12.1
* 性年代	男性10・20代	46.0	50.6	44.8	19.5	14.9	23.0	18.4	17.2	2.3	13.8
	男性30代	52.5	43.7	41.1	15.2	17.7	16.5	12.0	8.2	3.2	13.9
	男性40代	54.8	38.6	38.0	12.7	9.6	15.7	9.6	7.8	3.0	18.7
	女性10・20代	55.3	51.3	43.4	28.3	31.6	25.7	25.0	19.7	0.7	8.6
	女性30代	68.1	45.1	47.9	34.0	26.4	20.8	29.2	22.9	0.7	8.3
	女性40代	72.0	40.0	42.7	22.7	21.3	16.0	28.0	13.3	0.0	6.7

結婚を考えたときに気になることを性・雇用形態別にみると、正規の社員・職員の女性は「自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか」(71.0%)をはじめ、「お金を自由に使えるか」(52.7%)、「仕事(または学業)の時間を自由に取れるか」(31.7%)等を気になることとしてあげる割合が高く、ライフスタイルの変化に対する懸念が強い。また、派遣・嘱託・契約社員の女性では、「自由な人生設計ができるか」(32.6%)をあげる割合が高い。



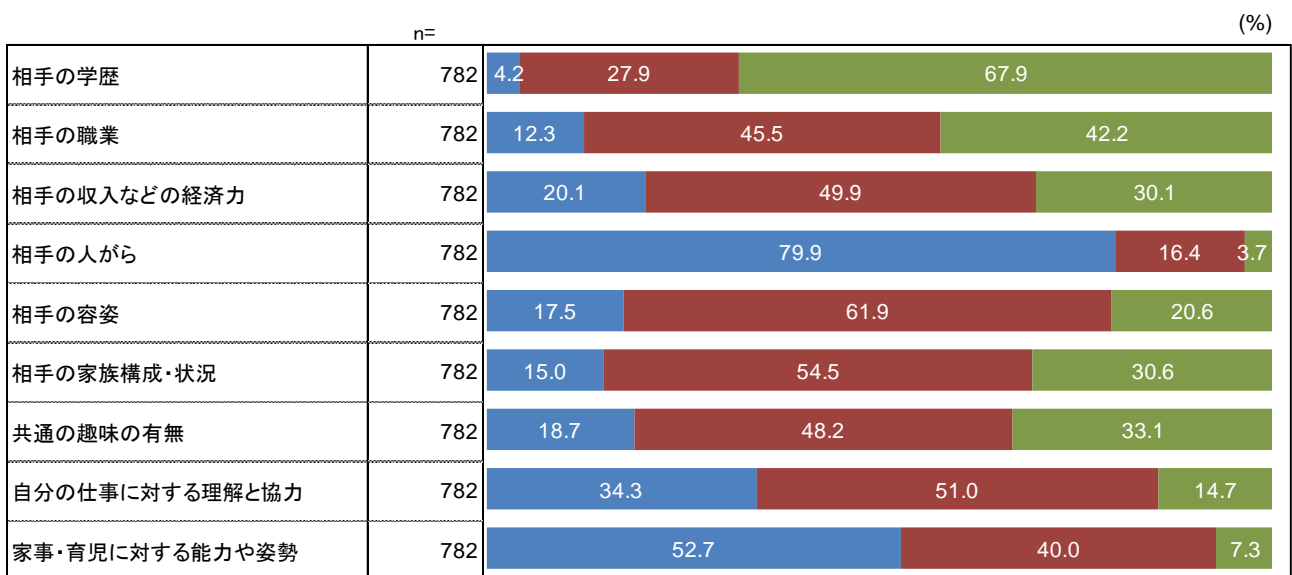
		n=	自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか	余暇や遊びの時間を自由に取れるか	お金を自由に使えるか	仕事(または学業)の時間を自由に取れるか	ファッションや食べ物などの好みがないか	住む場所が制約されないか	自由な人生設計ができるか	職業を自由に選べるか	その他	特に気にならない
TOTAL		733	58.7	44.2	43.0	21.6	19.5	19.4	18.4	14.3	1.6	12.4
性別 × 雇用形態	■男性 計	391	52.9	43.0	40.7	15.1	14.3	12.5	16.6	9.5	2.6	15.9
	正規の社員・職員	294	53.7	43.5	41.2	13.9	12.2	11.6	15.6	8.8	2.7	15.3
	パート・アルバイト	25	52.0	52.0	44.0	16.0	20.0	4.0	24.0	12.0	0.0	12.0
	派遣・嘱託・契約社員	20	40.0	40.0	45.0	30.0	25.0	15.0	15.0	10.0	0.0	20.0
	自営業主・家族従業員	38	55.3	34.2	31.6	15.8	21.1	13.2	21.1	7.9	5.3	21.1
	無職・家事	14	50.0	42.9	42.9	14.3	14.3	42.9	14.3	21.4	0.0	14.3
	■女性 計	342	65.2	45.6	45.6	28.9	25.4	27.2	20.5	19.9	0.6	8.5
	正規の社員・職員	186	71.0	48.4	52.7	31.7	25.8	30.1	17.7	21.0	0.0	6.5
	パート・アルバイト	80	56.3	42.5	43.8	25.0	27.5	20.0	21.3	17.5	2.5	13.8
	派遣・嘱託・契約社員	46	60.9	45.7	34.8	30.4	26.1	28.3	32.6	17.4	0.0	8.7
	自営業主・家族従業員	9	66.7	33.3	11.1	22.2	33.3	22.2	0.0	11.1	0.0	0.0
	無職・家事	21	57.1	38.1	28.6	19.0	9.5	28.6	23.8	28.6	0.0	9.5

※なお、「学生47人」「その他2人」を除いて計算している。

問 12 あなたは結婚相手を決めるとき、次の項目についてどの程度重視しますか。(回答は1つ)
 【回答者：結婚予定がある、または意向がある者】

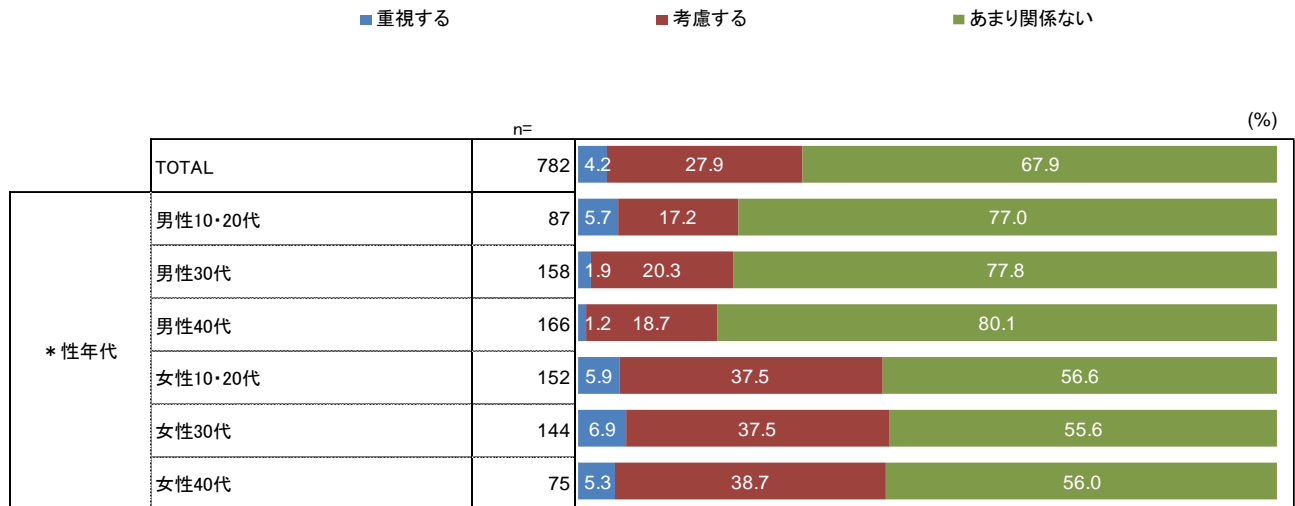
結婚相手を決めるときに重視する割合が高いのは、「相手の人から」(79.9%)、「家事・育児に対する能力や姿勢」(52.7%)、「自分の仕事に対する理解と協力」(34.3%)といった項目である。
 一方、「相手の学歴」、「相手の職業」などはあまり関係ないとする割合が高い。

■ 重視する ■ 考慮する ■ あまり関係ない

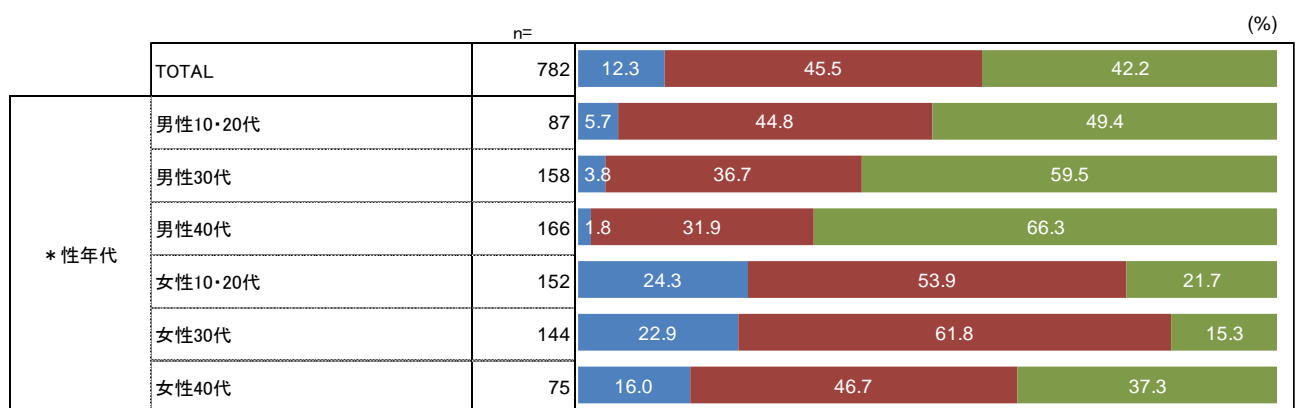


相手の学歴、職業、収入などの経済力は、いずれも女性の方が「重視する」または「考慮する」と回答する割合が高い。特に経済力に対する考え方は男女差が大きく、女性では「重視する」が4割前後（10・20代：34.9%、30代：36.1%、40代：41.3%）、「考慮する」が5割前後（10・20代：54.6%、30代：56.9%、40代：44.0%）にのぼる。

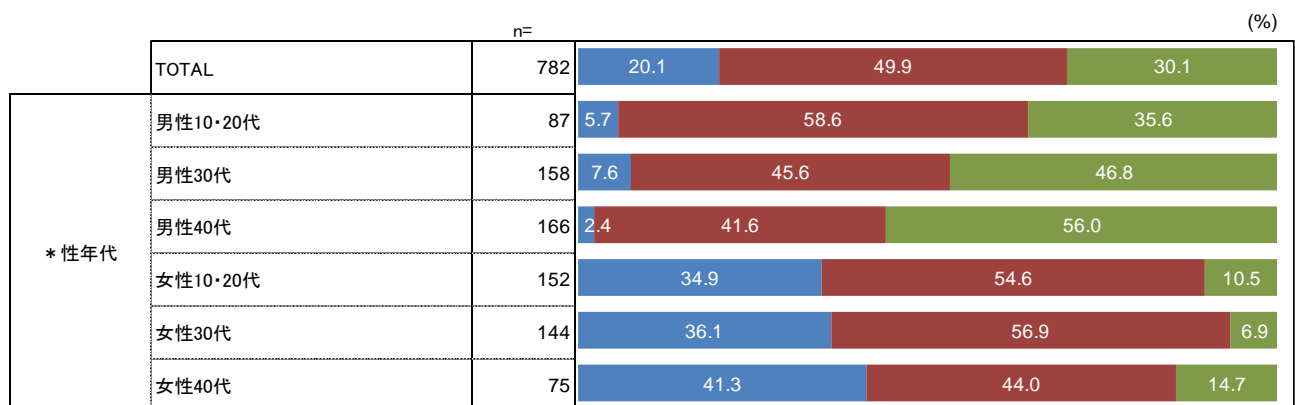
① 相手の学歴



② 相手の職業



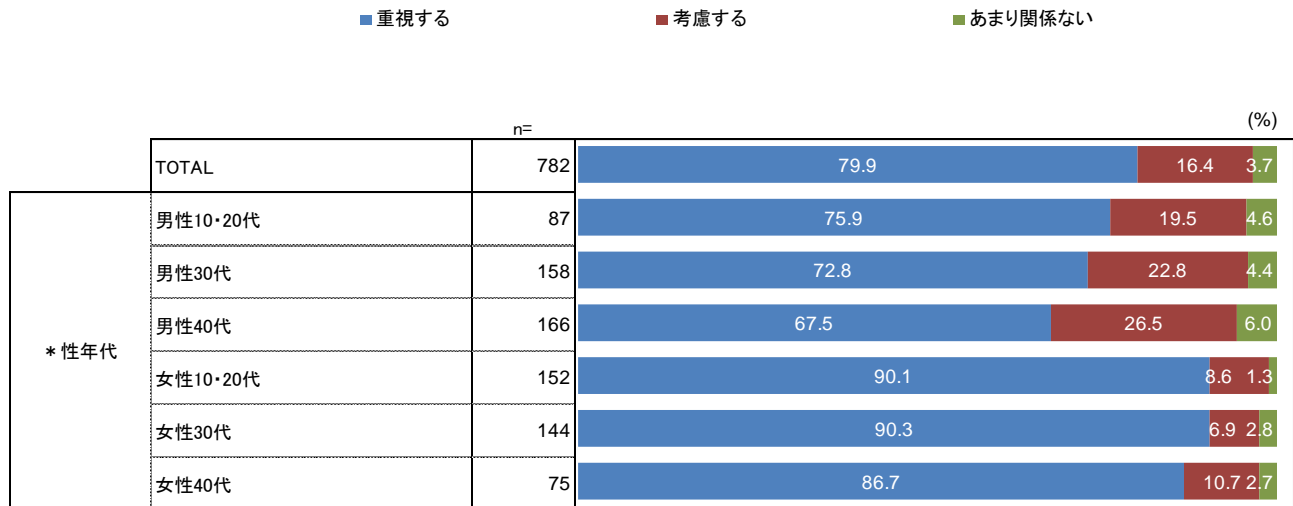
③ 相手の収入などの経済力



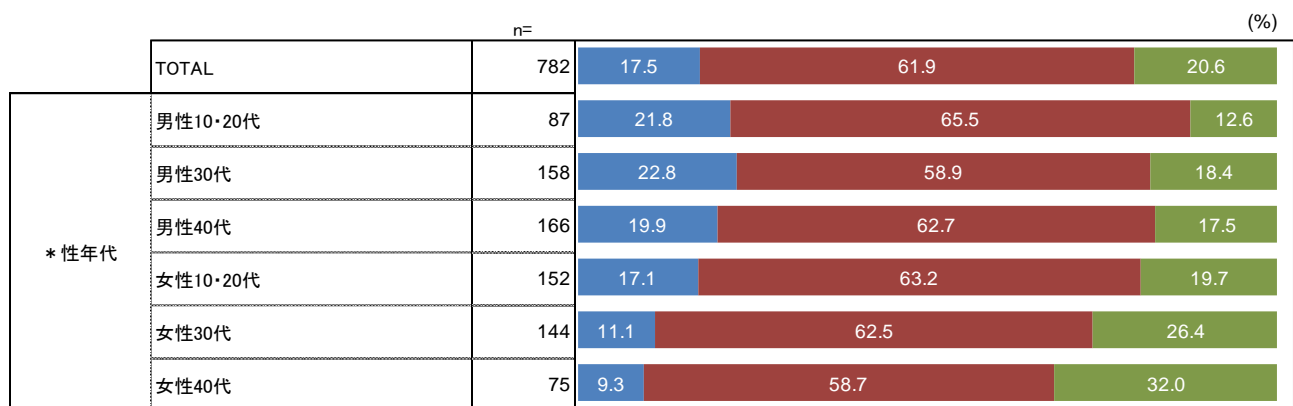
相手の人から、家族構成・状況については、女性の方が重視する割合が高い。女性10・20代、30代では、人からを重視するとの回答が9割にのぼる（10・20代：90.1%、30代：90.3%）。

相手の容姿については、女性40代では「あまり関係ない」とする割合が高い（32.0%）。

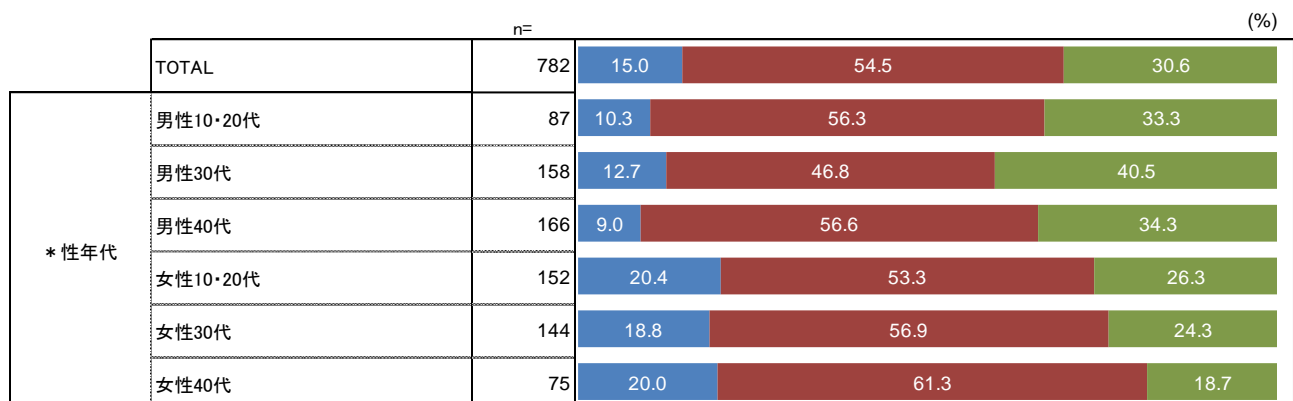
④ 相手の人から



⑤ 相手の容姿



⑥ 相手の家族構成・状況

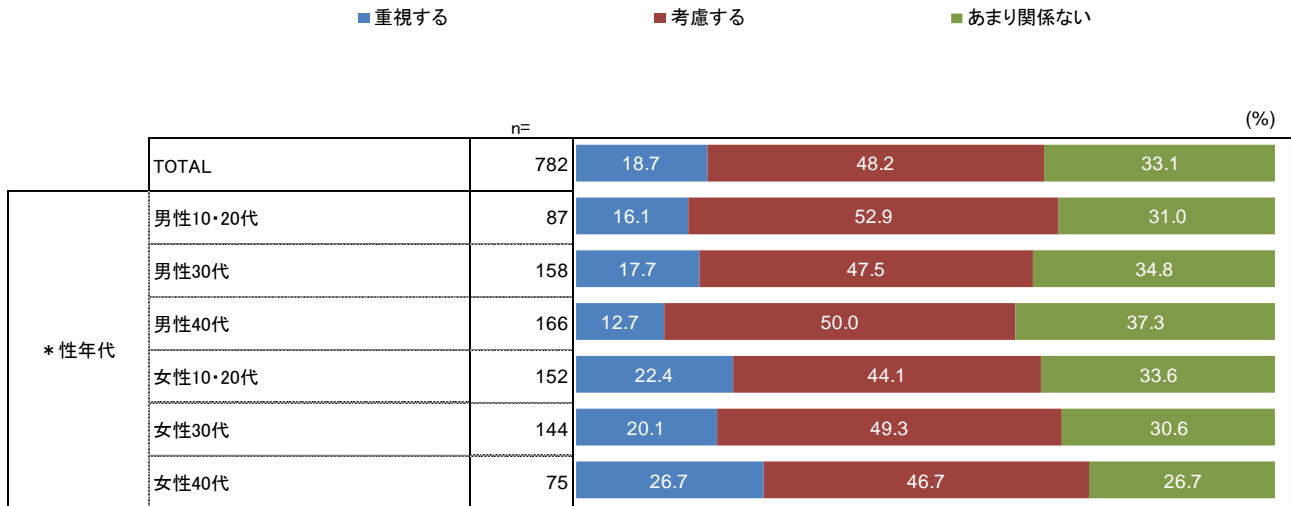


共通の趣味の有無については、男性 40 代で重視する割合が低い（12.7%）、その他、性別・年代別による大きな差はみられない。

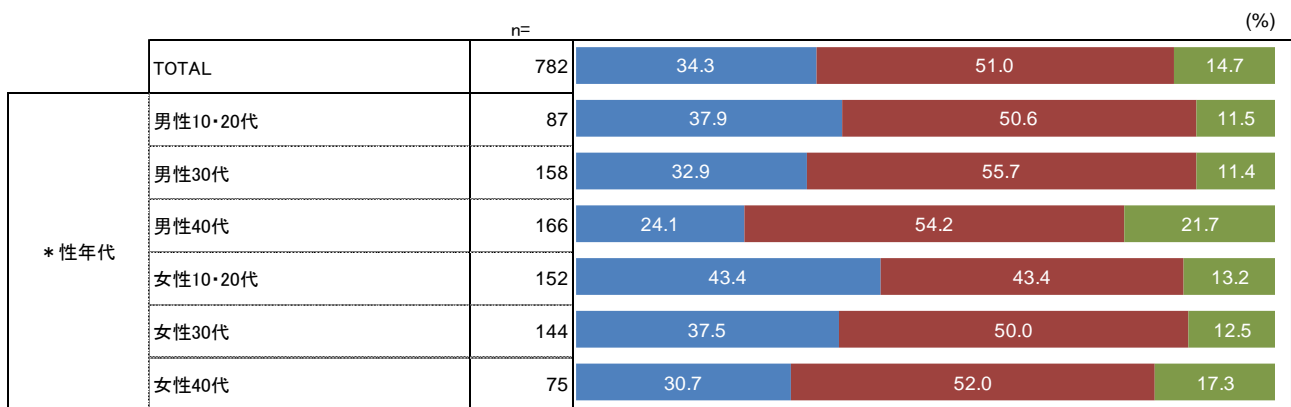
自分の仕事に対する理解と協力については、女性 10・20 代で重視する割合が高い。一方、男性 40 代は「あまり関係ない」とする割合が高い。

家事・育児に対する能力や姿勢については、女性 10・20 代、女性 30 代で重視する割合が高い。

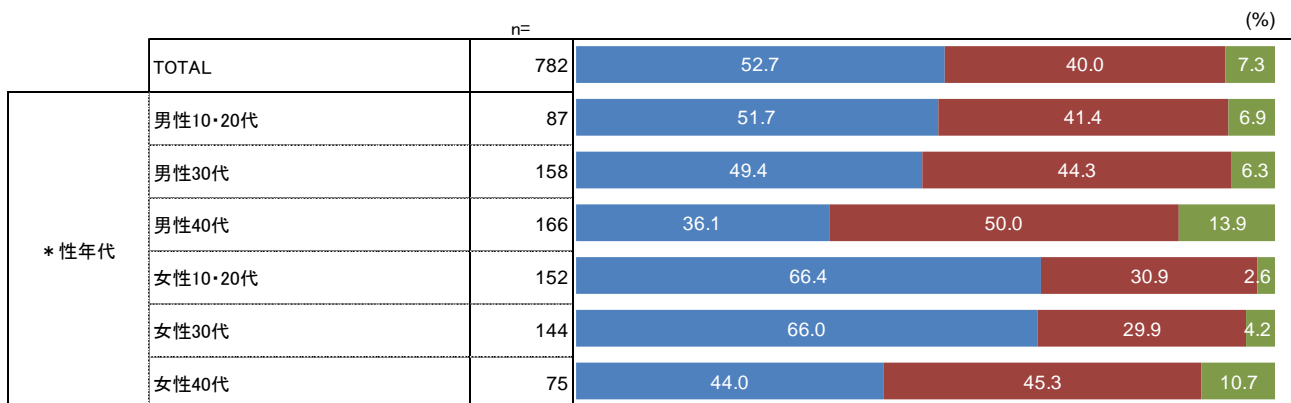
⑦ 共通の趣味の有無



⑧ 自分の仕事に対する理解と協力

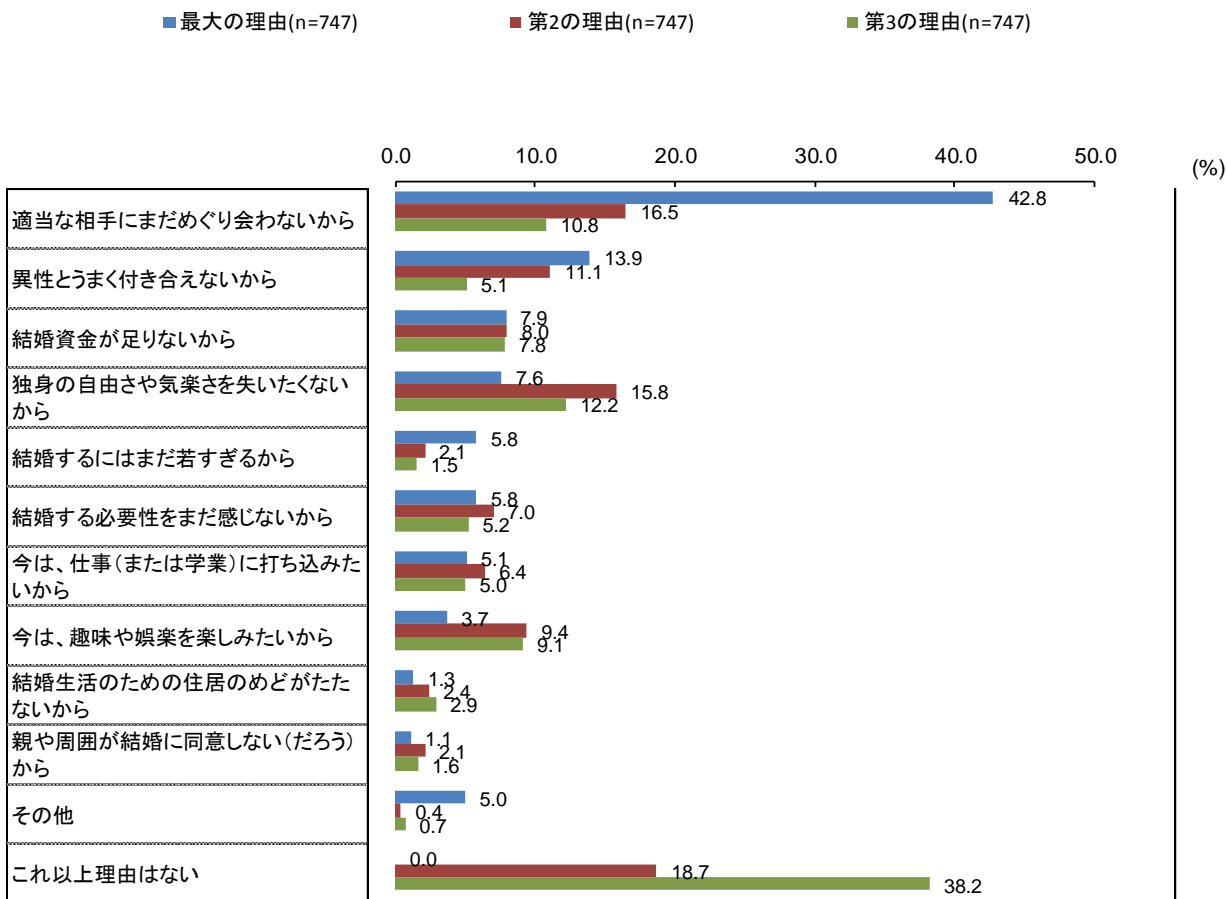


⑨ 家事・育児に対する能力や姿勢



問13 あなたが現在独身でいる理由は、次の中から選ぶとすればどれですか。最大の理由、第2の理由、第3の理由をそれぞれお答えください。(回答は1つ) 【回答者：結婚意向がある者】

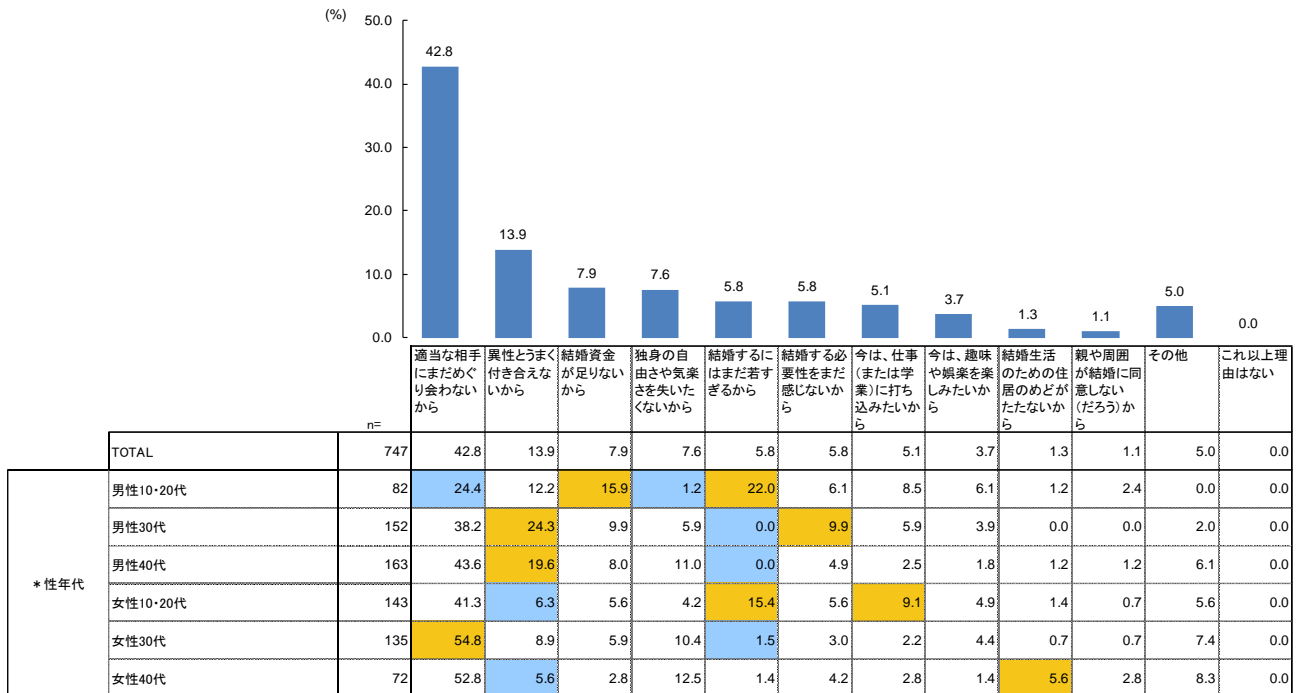
現在独身でいる最大の理由は「適当な相手にまだめぐり会わないから」(42.8%)である。以下、「異性とうまく付き合えないから」(13.9%)、「結婚資金が足りないから」(7.9%)、「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」(7.6%)などが主な理由としてあげられている。



男女ともに10・20代は「結婚するにはまだ若すぎるから」(男性:22.0%、女性:15.4%)を理由とする割合が高い。

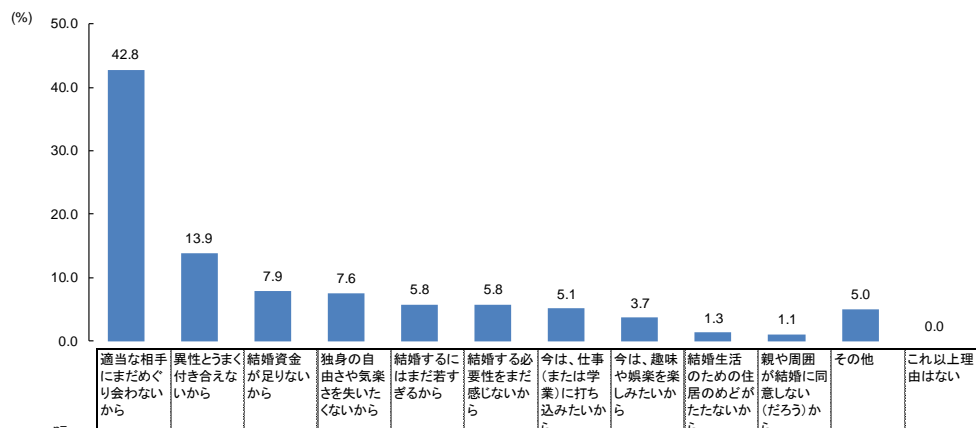
男性30代、男性40代では、「異性とうまく付き合えないから」(男性30代:24.3%、男性40代:19.6%)といった理由も目立つ。また、女性30代では、「適当な相手にまだめぐり合わないから」(54.8%)を理由とする割合が高い。

① 最大の理由



現在独身でいる最大の理由を性・結婚意向別にみると、すぐにでも結婚したい男性は「異性とうまく付き合えないから」(28.2%)を理由としてあげる割合が高く、2・3年以内に結婚したい男性は「結婚資金が足りないから」(14.7%)の割合が高い。

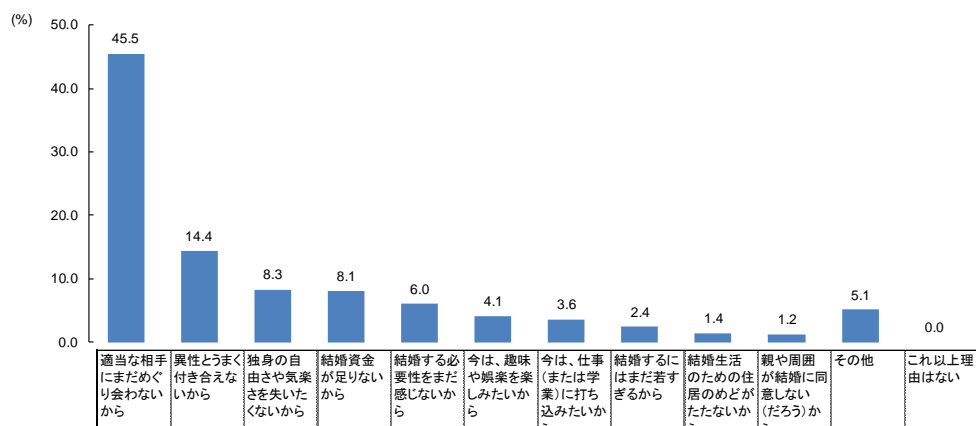
すぐにでも結婚したい女性は「適当な相手にまだめぐり合わないから」を理由とする割合が6割を超える(65.7%)。



		n=	適当な相手にまだめぐり合わないから	異性とうまく付き合えないから	結婚資金が足りないから	独身の自由さや気楽さを失いたくないから	結婚するにはまだ若すぎるから	結婚する必要性をまだ感じないから	今は、仕事(または学業)に打ち込みたいから	今は、趣味や娯楽を楽しみたいから	結婚生活のための住居のめどがたたないから	親や周囲が結婚に同意しない(だろう)から	その他	これ以上理由はない
TOTAL		747	42.8	13.9	7.9	7.6	5.8	5.8	5.1	3.7	1.3	1.1	5.0	0.0
性別 × 結婚意向	■男性 計	397	37.5	19.9	10.3	7.1	4.5	7.1	5.0	3.5	0.8	1.0	3.3	0.0
	すぐにでも結婚したい	85	48.2	28.2	9.4	1.2	0.0	0.0	3.5	1.2	1.2	1.2	5.9	0.0
	2・3年以内に結婚したい	75	29.3	14.7	14.7	10.7	2.7	10.7	6.7	4.0	0.0	1.3	5.3	0.0
	いずれは結婚したい	237	36.3	18.6	9.3	8.0	6.8	8.4	5.1	4.2	0.8	0.8	1.7	0.0
	■女性 計	350	48.9	7.1	5.1	8.3	7.1	4.3	5.1	4.0	2.0	1.1	6.9	0.0
	すぐにでも結婚したい	67	65.7	4.5	10.4	7.5	3.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	7.5	0.0
	2・3年以内に結婚したい	92	48.9	8.7	8.7	3.3	6.5	4.3	4.3	2.2	4.3	1.1	7.6	0.0
	いずれは結婚したい	191	42.9	7.3	1.6	11.0	8.9	5.8	7.3	6.3	1.0	1.6	6.3	0.0

現在独身でいる最大の理由を性・年収別にみると、年収が200万円台以下の男性は「結婚資金が足りないから」(17.6%)を理由とする割合が高い。

女性においては「結婚資金が足りないから」を理由とする割合は低い。

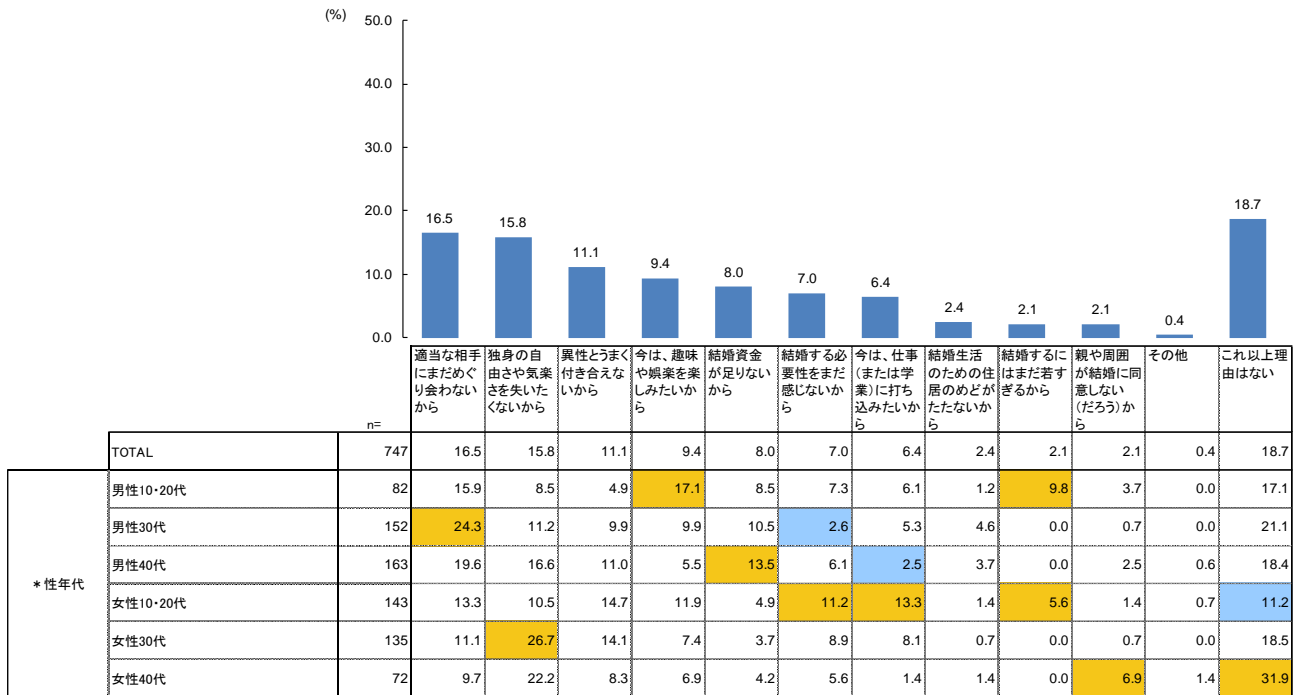


性別 × 年収		n=	適当な相手にまだめぐり合わないから	異性とうまく付き合えないから	独身の自由さや楽しさを失いたくないから	結婚資金が足りないから	結婚する必要性をまだ感じないから	今は、趣味や娯楽を楽しみたいから	今は、仕事(または学業)に打ち込みたいから	結婚するにはまだ若すぎるから	結婚生活のための住居のめどがたたないから	親や周囲が結婚に同意しない(だろう)から	その他	これ以上理由はない
TOTAL		666	45.5	14.4	8.3	8.1	6.0	4.1	3.6	2.4	1.4	1.2	5.1	0.0
■男性 計		363	38.8	20.9	7.4	10.2	6.9	3.9	4.4	1.9	0.8	1.1	3.6	0.0
200万円台以下		68	23.5	25.0	10.3	17.6	8.8	2.9	4.4	4.4	2.9	0.0	0.0	0.0
300万円台		91	36.3	23.1	6.6	9.9	8.8	3.3	5.5	2.2	0.0	1.1	3.3	0.0
400万円台		71	38.0	23.9	9.9	7.0	5.6	2.8	4.2	1.4	1.4	1.4	4.2	0.0
500万円台以上		59	52.5	22.0	3.4	0.0	3.4	8.5	1.7	0.0	0.0	1.7	6.8	0.0
覚えていない・答えたくない		74	45.9	10.8	6.8	14.9	6.8	2.7	5.4	1.4	0.0	1.4	4.1	0.0
■女性 計		303	53.5	6.6	9.2	5.6	5.0	4.3	2.6	3.0	2.0	1.3	6.9	0.0
200万円台以下		119	47.1	8.4	7.6	5.0	5.0	5.9	4.2	3.4	2.5	1.7	9.2	0.0
300万円台		39	74.4	7.7	2.6	5.1	2.6	0.0	0.0	2.6	2.6	0.0	2.6	0.0
400万円台		23	56.5	8.7	17.4	0.0	4.3	0.0	8.7	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0
500万円台以上		12	83.3	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0
覚えていない・答えたくない		110	49.1	4.5	11.8	8.2	6.4	5.5	0.9	2.7	1.8	0.9	8.2	0.0

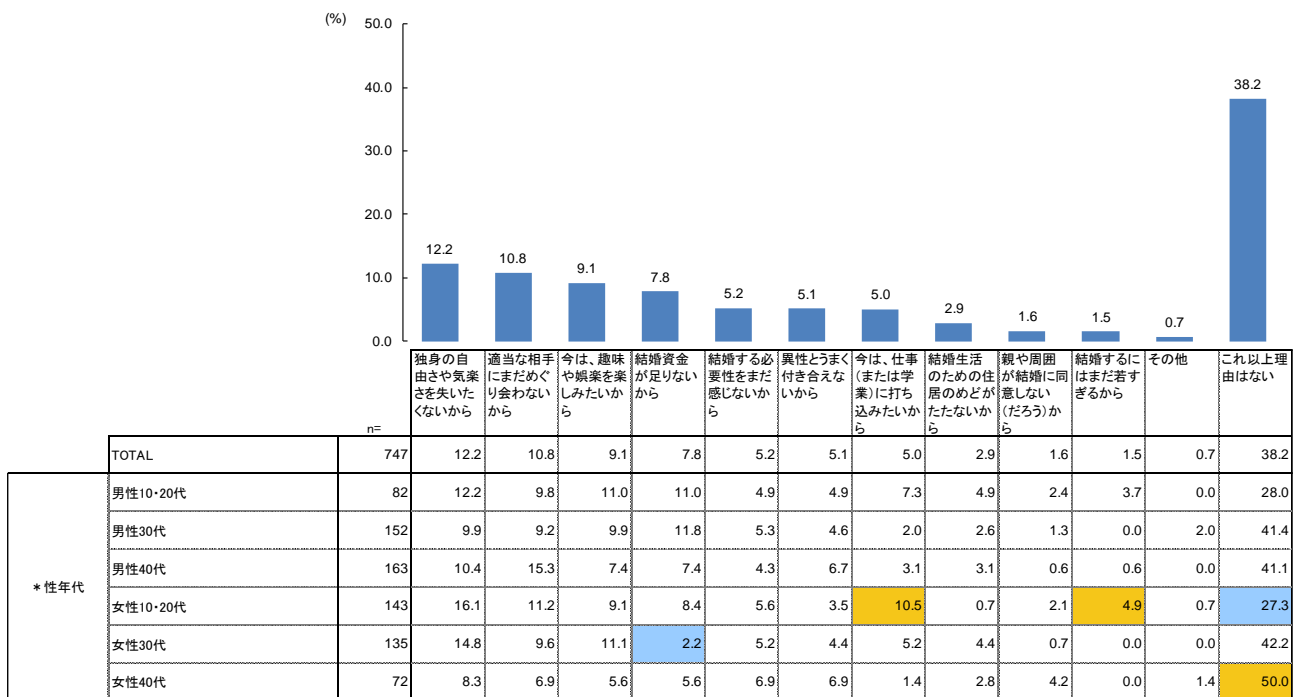
第2の理由としては、男性10・20代で「今は、趣味や娯楽を楽しみたいから」(17.1%)、「結婚するにはまだ若すぎるから」(9.8%)、男性30代で「適当な相手にまだめぐり合わないから」(24.3%)を理由としてあげる割合が高い。

一方、女性10・20代では「今は、仕事(または学業)に打ち込みたいから」(13.3%)、「結婚する必要性をまだ感じないから」(11.2%)、女性30代では「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」(26.7%)をあげる割合が高い。

② 第2の理由



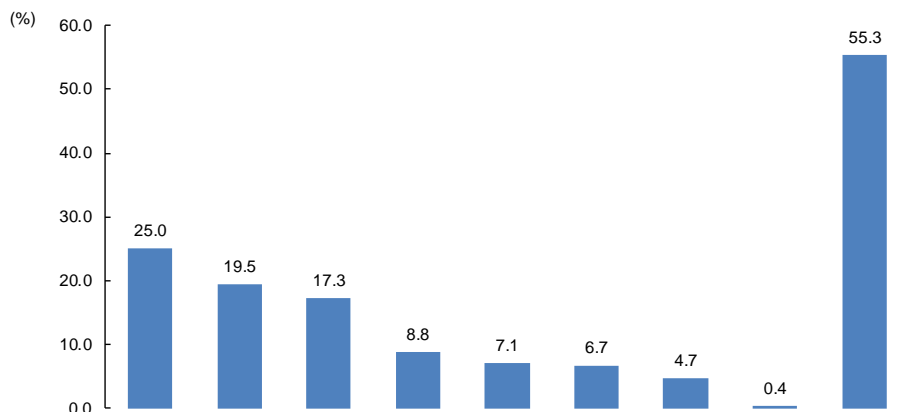
③ 第3の理由



問14 あなたは「婚活」としてどのようなことを行っていますか。あるいは今後行いたいですか。
 (回答はいくつでも) 【回答者：結婚意向がある者】

「婚活」として行っていること(今後行いたいこと)としては、「友人、職場の同僚や先輩に頼む」(25.0%)の割合が最も高く、次いで「合コンに参加する」(19.5%)、「婚活パーティーに参加する」(17.3%)の順になっている。一方、「婚活」は「特に行っていない・行う予定はない」は5割以上(55.3%)を占める。

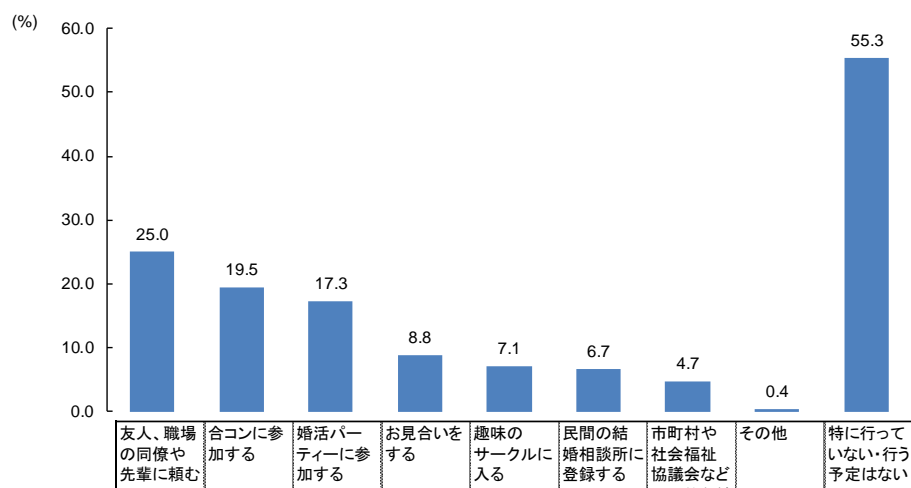
性・年代別にみると、女性30代で、「友人、職場の同僚や先輩に頼む」(37.8%)、「合コンに参加する」(26.7%)、「婚活パーティーに参加する」(25.2%)の割合が高い。



		n=	友人、職場の同僚や先輩に頼む	合コンに参加する	婚活パーティーに参加する	お見合いをする	趣味のサークルに入る	民間の結婚相談所に登録する	市町村や社会福祉協議会などの公的な結婚相談所に登録する	その他	特に行っていない・行う予定はない
TOTAL		747	25.0	19.5	17.3	8.8	7.1	6.7	4.7	0.4	55.3
* 性年代	男性10・20代	82	22.0	22.0	14.6	6.1	12.2	6.1	1.2	0.0	65.9
	男性30代	152	23.7	21.1	17.8	6.6	3.3	9.2	6.6	1.3	50.0
	男性40代	163	20.9	12.3	13.5	9.2	8.6	8.0	8.6	0.0	60.7
	女性10・20代	143	21.7	21.0	16.1	6.3	4.9	0.7	0.7	0.0	60.1
	女性30代	135	37.8	26.7	25.2	13.3	8.1	8.1	3.0	0.0	43.7
	女性40代	72	23.6	13.9	15.3	12.5	8.3	8.3	6.9	1.4	54.2

「婚活」として行っていること（今後行いたいこと）を性・結婚意向別にみると、すぐにでも結婚したい男性では、「民間の結婚相談所に登録する」（21.2%）、「お見合いをする」（16.5%）、「市町村や社会福祉協議会などの公的な結婚相談所に登録する」（10.6%）の割合が高い。

また、すぐにでも結婚したい女性では、「友人、職場の同僚や先輩に頼む」（37.3%）、「婚活パーティーに参加する」（29.9%）、「お見合いをする」（16.4%）の割合が高く、2・3年以内に結婚したい女性では「合コンに参加する」（28.3%）をあげる割合が高い。



		n=	友人、職場の同僚や先輩に頼む	合コンに参加する	婚活パーティーに参加する	お見合いをする	趣味のサークルに入る	民間の結婚相談所に登録する	市町村や社会福祉協議会などの公的な結婚相談所に登録する	その他	特に行っていない・行う予定はない
TOTAL		747	25.0	19.5	17.3	8.8	7.1	6.7	4.7	0.4	55.3
性別 × 結婚意向	■男性 計	397	22.2	17.6	15.4	7.6	7.3	8.1	6.3	0.5	57.7
	すぐにでも結婚したい	85	30.6	25.9	21.2	16.5	9.4	21.2	10.6	0.0	36.5
	2・3年以内に結婚したい	75	28.0	18.7	16.0	5.3	8.0	4.0	5.3	0.0	54.7
	いずれは結婚したい	237	17.3	14.3	13.1	5.1	6.3	4.6	5.1	0.8	66.2
	■女性 計	350	28.3	21.7	19.4	10.3	6.9	5.1	2.9	0.3	52.6
	すぐにでも結婚したい	67	37.3	22.4	29.9	16.4	6.0	10.4	4.5	0.0	41.8
	2・3年以内に結婚したい	92	33.7	28.3	23.9	7.6	5.4	3.3	2.2	0.0	47.8
	いずれは結婚したい	191	22.5	18.3	13.6	9.4	7.9	4.2	2.6	0.5	58.6

問 15 結婚を支援する事業を行政（県や市町村）が取り組むことについてどのように思いますか。あてはまるものをお答えください。（回答は1つ） 【回答者：独身者】

結婚を支援する事業を行政（県や市町村）が取り込むことについて、「行政に積極的に取り組んでほしいと思う」割合は22.7%、「どちらかといえば行政に取り組んでほしいと思う」割合は34.5%で、行政による結婚支援に肯定的な割合は57.2%である。

性・年齢別にみると、女性の方が「行政に積極的に取り組んでほしいと思う」、「どちらかといえば行政に取り組んでほしいと思う」割合が高い。

- 行政に積極的に取り組んでほしいと思う
- どちらかといえば行政に取り組んでほしいと思う

- どちらかといえば行政は取り組まなくてよいと思う
- 行政は取り組まなくてよいと思う

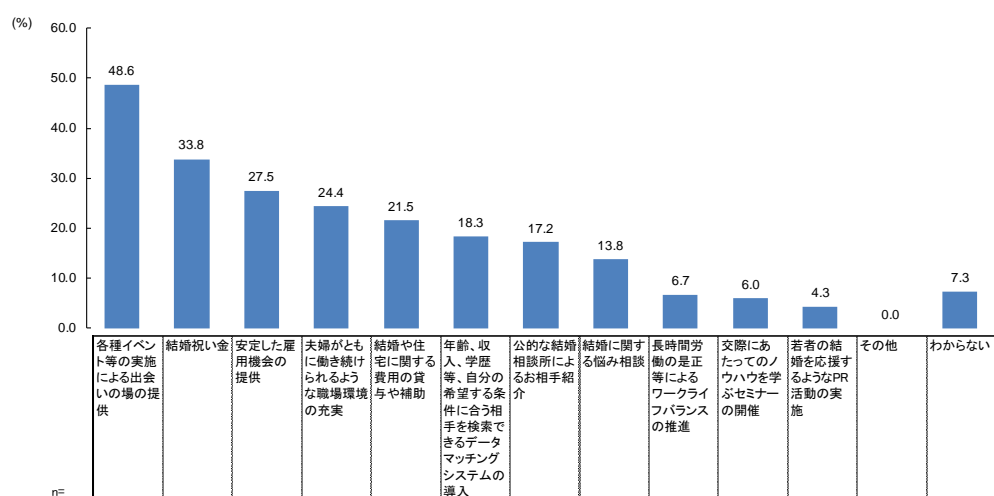
		n=	(%)			
	TOTAL	1222	22.7	34.5	20.2	22.7
* 性年代	男性10・20代	115	20.9	34.8	22.6	21.7
	男性30代	218	27.1	30.3	16.1	26.6
	男性40代	295	24.7	26.4	22.4	26.4
	女性10・20代	192	26.6	36.5	19.3	17.7
	女性30代	212	17.0	43.4	21.2	18.4
	女性40代	190	17.9	39.5	20.0	22.6

問 16 行政（県や市町村）に取り組んでほしい結婚支援は何ですか。あてはまるものをお答えください。（回答は3つまで） 【回答者：結婚を支援する事業を行政に取り組んでほしいと思っている者】

行政（県や市町村）に取り組んでほしい結婚支援としては、「各種イベント等の実施による出会いの場の提供」（48.6%）をあげる割合が最も高く、次いで「結婚祝い金」（33.8%）、「安定した雇用機会の提供」（27.5%）、「夫婦がともに働き続けられるような職場環境の充実」（24.4%）となっている。

性・年代別にみると、男性30代では「交際にあたってのノウハウを学ぶセミナーの開催」（12.0%）、男性40代では「公的な結婚相談所によるお相手紹介」（29.8%）をあげる割合が高い。

女性10・20代、女性30代では「結婚祝い金」をあげる割合が高く（女性10・20代：44.6%、女性30代：46.1%）、また女性30代では「夫婦がともに働き続けられるような職場環境の充実」（33.6%）をあげる割合も高い。



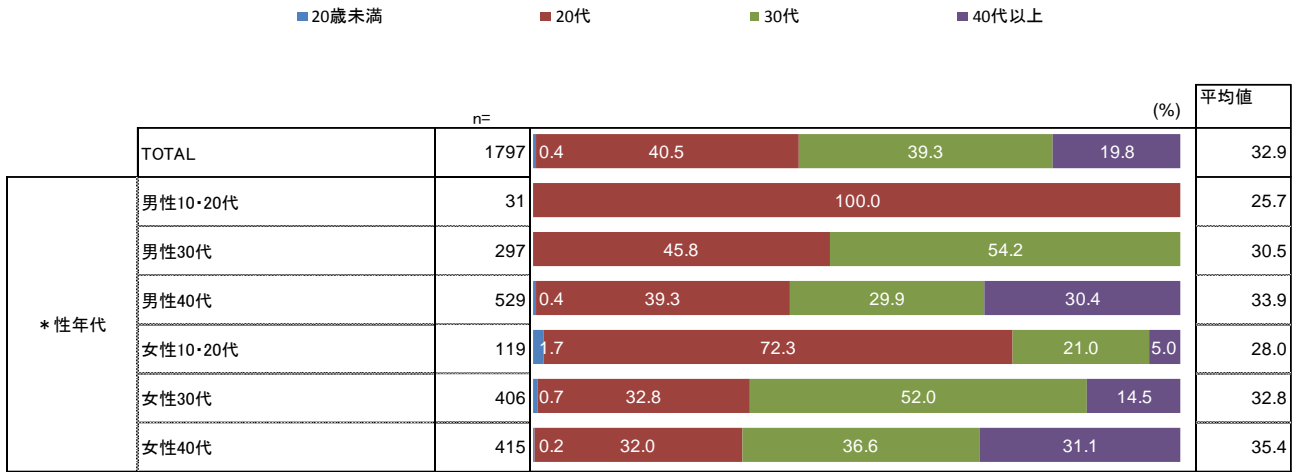
性別・年代	n	施策													
		各種イベント等の実施による出会いの場の提供	結婚祝い金	安定した雇用機会の提供	夫婦がともに働き続けられるような職場環境の充実	結婚や住宅に関する費用の貸与や補助	年齢、収入、学歴等、自分の希望する条件に合う相手を検索できるデータマッチングシステムの導入	公的な結婚相談所によるお相手紹介	結婚に関する悩み相談	長時間労働の是正等によるワークライフバランスの推進	交際にあたってのノウハウを学ぶセミナーの開催	若者の結婚を応援するようなPR活動の実施	その他	わからない	
TOTAL	698	48.6	33.8	27.5	24.4	21.5	18.3	17.2	13.8	6.7	6.0	4.3	0.0	7.3	
* 性年代															
男性10・20代	64	48.4	29.7	32.8	17.2	20.3	14.1	7.8	18.8	3.1	7.8	4.7	0.0	14.1	
男性30代	125	51.2	30.4	22.4	14.4	26.4	12.0	19.2	13.6	3.2	12.0	3.2	0.0	10.4	
男性40代	151	53.0	24.5	21.9	25.2	18.5	19.9	29.8	13.9	6.6	2.6	2.6	0.0	5.3	
女性10・20代	121	48.8	44.6	29.8	24.0	17.4	20.7	9.9	14.0	7.4	3.3	6.6	0.0	8.3	
女性30代	128	43.0	46.1	29.7	33.6	21.9	21.1	11.7	10.2	7.8	6.3	3.9	0.0	5.5	
女性40代	109	45.9	26.6	33.0	28.4	24.8	20.2	17.4	14.7	11.0	5.5	5.5	0.0	3.7	

(3) 既婚者の結婚生活の状況

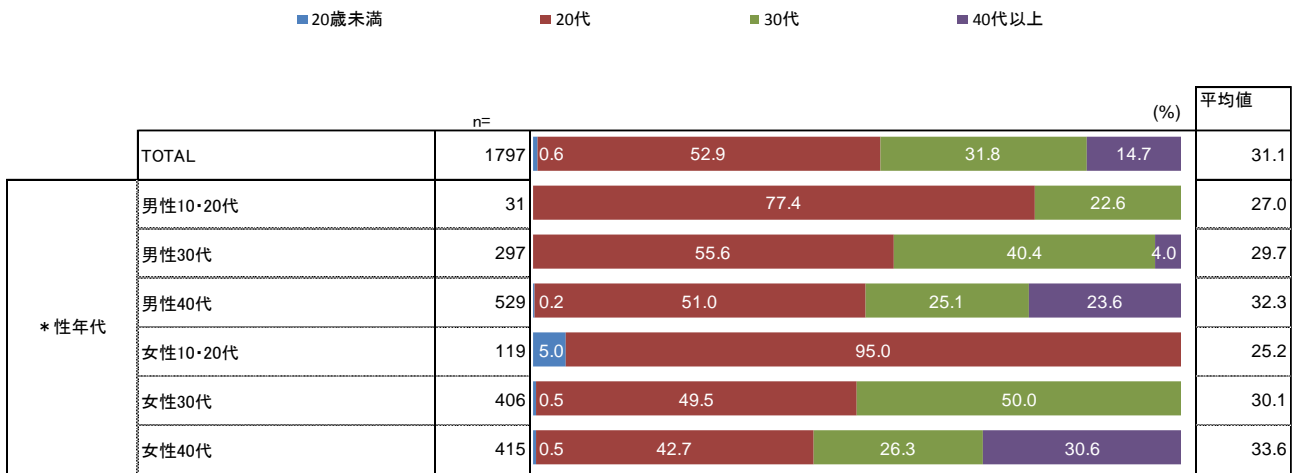
問 17 結婚したときのご夫婦の年齢をお答えください。【回答者：既婚者】

結婚したときの夫の平均年齢は 32.9 歳、妻の平均年齢は 31.1 歳である。

① 夫の年齢



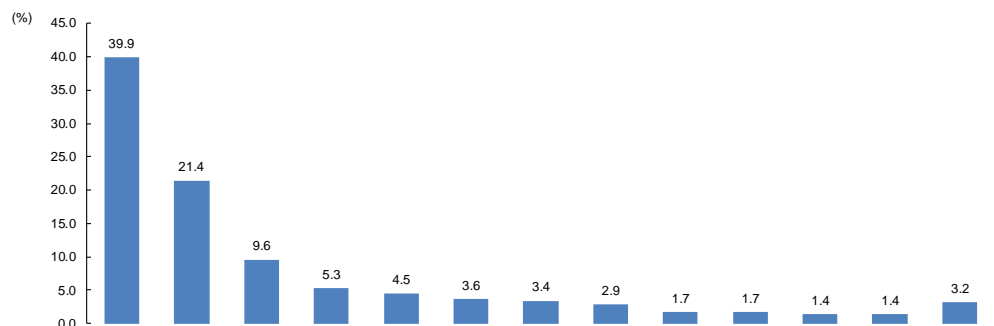
② 妻の年齢



問18 あなた方ご夫婦はどのようなきっかけで知り合いましたか。(回答は1つ)【回答者：既婚者】

夫婦が知り合ったきっかけは、「職場や仕事の関係で」が最も多く、39.9%である。以下、「友人やきょうだいを通じて」(21.4%)、「学校で」(9.6%)と続く。

性・年代別にみると、男女ともに10・20代では「学校で」(男性：29.0%、女性：22.7%)、女性30代では「友人やきょうだいを通じて」(26.1%)の割合が高い。また、男性40代、女性40代は、「職場や仕事の関係で」知り合ったとする割合が高い。(男性40代：44.2%、女性40代：45.1%)

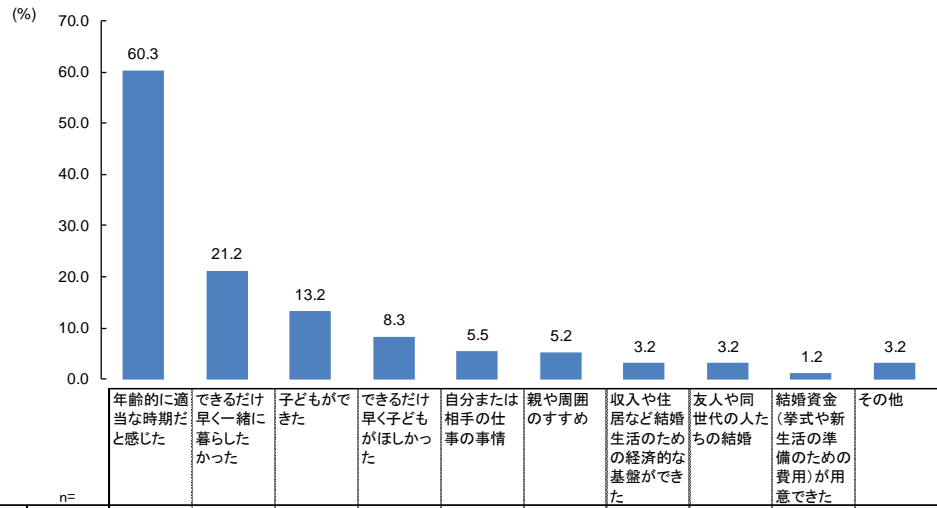


		n=	職場や仕事の関係で	友人やきょうだいを通じて	学校で	インターネットで	学校以外のサークル活動やクラブ活動、習い事で	アルバイトで	見合いで(親戚や上役などの紹介も含む)	街なかや旅先で	幼なじみ、隣人関係	結婚相談所で	婚活イベントで	地域のイベントで	その他
TOTAL		1797	39.9	21.4	9.6	5.3	4.5	3.6	3.4	2.9	1.7	1.7	1.4	1.4	3.2
* 性年代	男性10-20代	31	29.0	22.6	29.0	3.2	3.2	0.0	0.0	0.0	6.5	0.0	3.2	0.0	3.2
	男性30代	297	36.0	24.6	10.8	5.1	5.1	5.4	2.4	3.0	2.4	0.3	0.3	1.7	3.0
	男性40代	529	44.2	18.1	8.1	4.2	5.1	2.1	3.4	3.6	1.9	3.0	1.5	2.6	2.1
	女性10-20代	119	26.9	25.2	22.7	9.2	3.4	3.4	0.8	1.7	2.5	0.0	0.8	0.8	2.5
	女性30代	406	36.5	26.1	8.9	6.4	3.7	3.4	2.7	2.2	1.2	1.7	2.2	1.0	3.9
	女性40代	415	45.1	17.6	6.3	5.1	4.3	4.6	5.8	3.4	0.7	1.4	1.4	0.2	4.1

問 19 あなた方ご夫婦が、最終的に結婚を決めたときの直接のきっかけは何ですか。(回答は2つまで) 【回答者：既婚者】

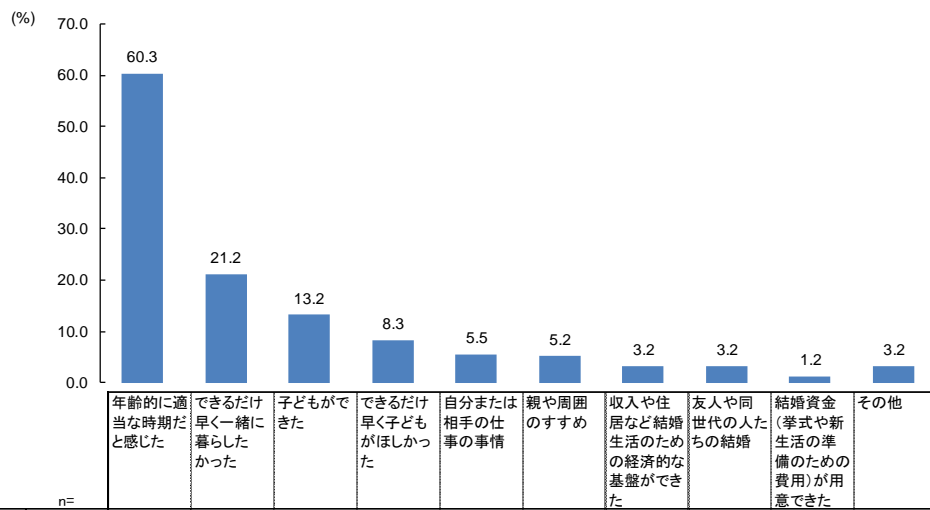
最終的に結婚を決めた直接のきっかけは、「年齢的に適当な時期だと感じた」が60.3%と最も高く、以下「できるだけ早く一緒に暮らしたかった」(21.2%)、「子どもができた」(13.2%)と続く。

性・年代別にみると、男性10・20代は「できるだけ早く一緒に暮らしたかった」(38.7%)と回答する割合が高い。女性10・20代では年齢を理由とする割合は低い一方、「子どもができた」(25.2%)、「できるだけ早く子どもがほしかった」(16.8%)といった子どもに関する理由をあげる割合が高い。また、女性30代でも「できるだけ早く子どもがほしかった」をあげる割合が高い(11.1%)。



		n=	年齢的に適当な時期だと感じた	できるだけ早く一緒に暮らしたかった	子どもができた	できるだけ早く子どもがほしかった	自分または相手の仕事の事情	親や周囲のすすめ	収入や住居など結婚生活のための経済的な基盤ができた	友人や同世代の人たちの結婚	結婚資金(挙式や新生活の準備のための費用)が用意できた	その他
TOTAL		1797	60.3	21.2	13.2	8.3	5.5	5.2	3.2	3.2	1.2	3.2
* 性年代	男性10・20代	31	58.1	38.7	19.4	3.2	3.2	6.5	6.5	0.0	6.5	0.0
	男性30代	297	63.6	20.5	12.5	7.7	5.4	4.7	2.7	3.4	2.7	3.0
	男性40代	529	63.7	23.8	10.6	6.6	3.8	3.6	3.4	2.6	0.8	1.7
	女性10・20代	119	50.4	26.1	25.2	16.8	6.7	0.0	2.5	2.5	0.8	2.5
	女性30代	406	59.6	15.5	15.5	11.1	6.7	6.2	3.7	3.9	1.0	4.7
	女性40代	415	57.3	21.2	11.1	6.0	6.3	8.0	2.7	3.4	0.7	4.3

結婚時の本人の年齢別にみると、20代、30代、40代では、「年齢的に適当な時期だと感じた」の割合が最も高く（20代：60.2%、30代：62.3%、40代：59.0%）、「できるだけ早く一緒に暮らしたかった」（20代：22.4%、30代：19.8%、40代：21.2%）が続く。また、20代では、「子どもができた」の割合が高い（15.0%）。



		n=	年齢的に適当な時期だと感じた	できるだけ早く一緒に暮らしたかった	子どもができた	できるだけ早く子どもがほしかった	自分または相手の仕事の事情	親や周囲のすすめ	収入や住居など結婚生活のための経済的な基盤ができた	友人や同世代の人たちの結婚	結婚資金(挙式や新生活のための費用)が用意できた	その他
TOTAL		1797	60.3	21.2	13.2	8.3	5.5	5.2	3.2	3.2	1.2	3.2
結婚時の年齢	20歳未満	12	0.0	8.3	83.3	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3
	20代	866	60.2	22.4	15.0	8.3	6.0	5.3	2.4	2.9	2.0	2.1
	30代	631	62.3	19.8	10.6	8.7	4.6	6.0	4.1	4.0	0.6	4.6
	40代	288	59.0	21.2	10.8	7.3	5.9	3.1	3.5	2.4	0.3	3.5

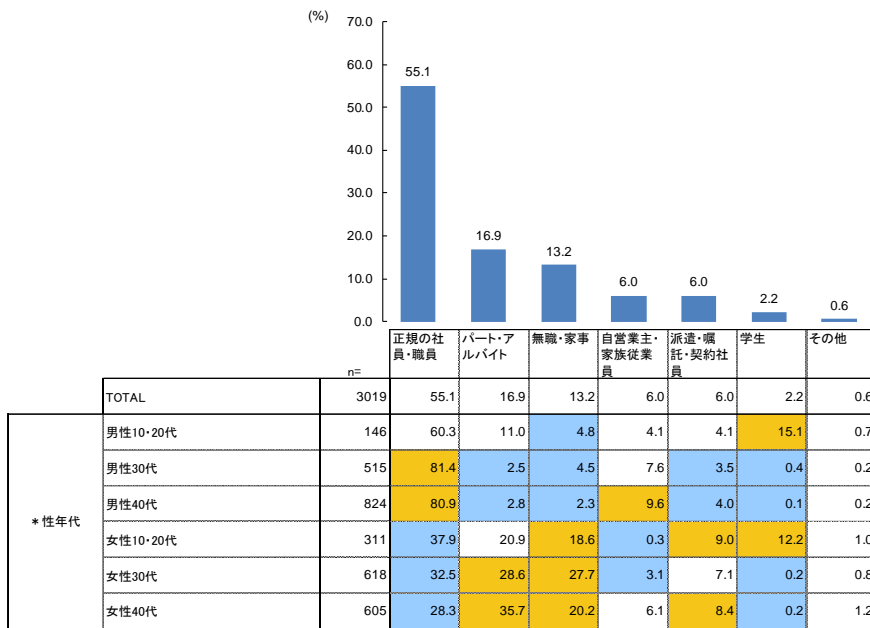
(4) 働き方に関する現状

問 20 あなたのおつとめの状況をお答えください。結婚されている方は、配偶者についてもお答えください。(回答は1つ)

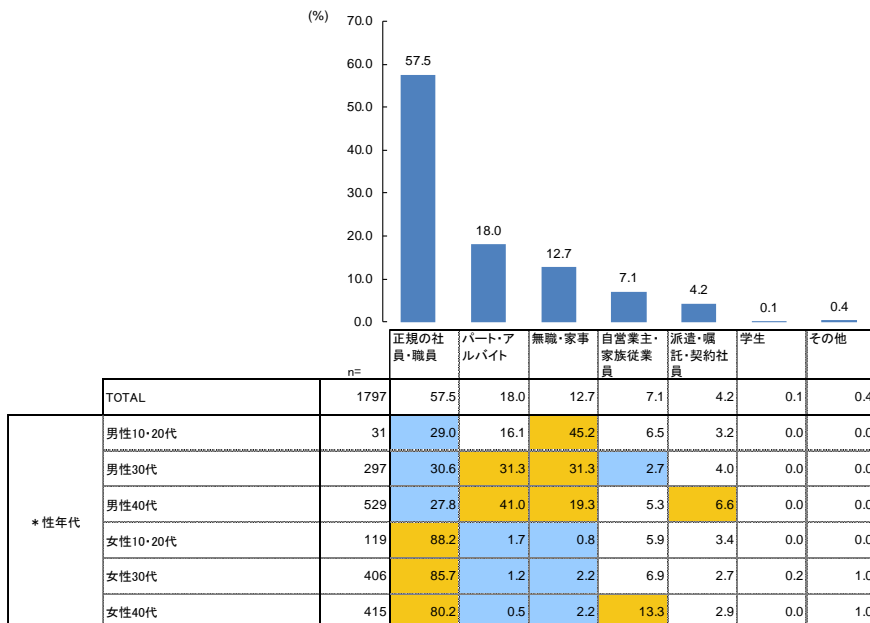
回答者自身の就労状況を性・年代別にみると、男性 30 代、40 代では「正規の社員・職員」が 8 割 (30 代 : 81.4%、40 代 : 80.9%) を占める。女性 30 代、40 代は「正規の社員・職員」(30 代 : 32.5%、40 代 : 28.3%) と「パート・アルバイト」(30 代 : 28.6%、40 代 : 35.7%) がそれぞれ 3 割前後である。

配偶者の就労状況は、男性の場合「パート・アルバイト」または「無職・家事」の割合が高く、女性の場合、いずれの年代でも「正規の社員・職員」が 8 割以上 (10・20 代 : 88.2%、30 代 : 85.7%、40 代 : 80.2%) を占める。

① あなた自身の状況



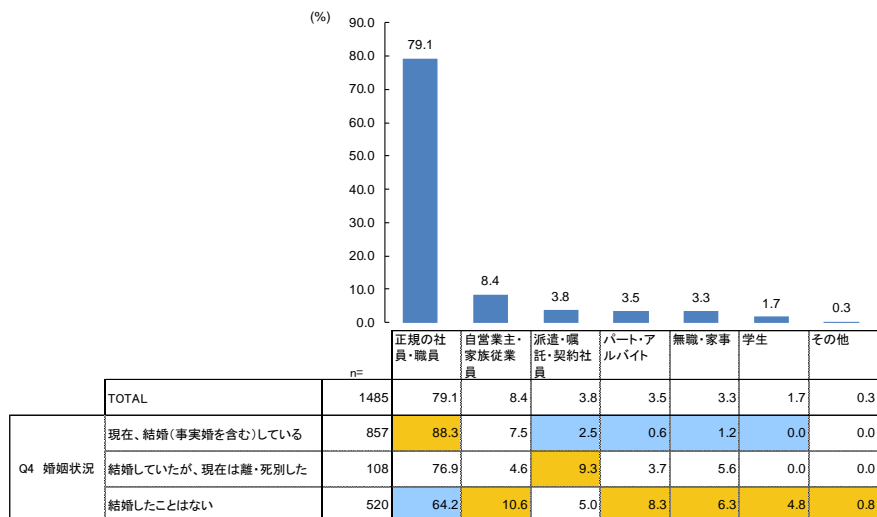
② 配偶者の状況 (既婚者のみ)



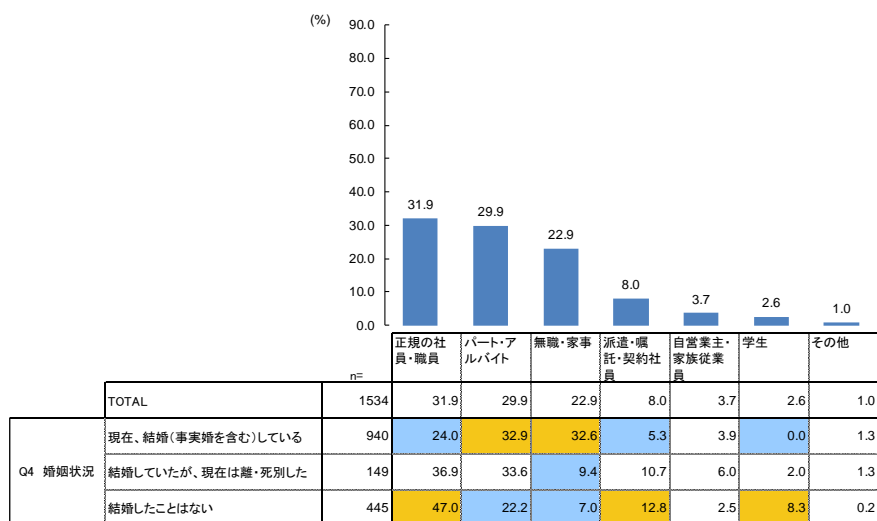
性・婚姻状況別にみると、現在結婚（事実婚を含む）している男性は「正規の社員・職員」（88.3%）の割合が高く、結婚したことはない男性は「自営業主・家族従業員」（10.6%）、「パート・アルバイト」（8.3%）、「無職・家事」（6.3%）、「学生」（4.8%）と、正規の社員・職員以外の割合が高い。

女性においては、現在結婚（事実婚を含む）している場合、「パート・アルバイト」（32.9%）や「無職・家事」（32.6%）の割合が高い。結婚したことはない女性は「正規の社員・職員」（47.0%）、「派遣・嘱託・契約社員」（12.8%）、「学生」（8.3%）の割合が高い。

① 男性・婚姻状況別



② 女性・婚姻状況別

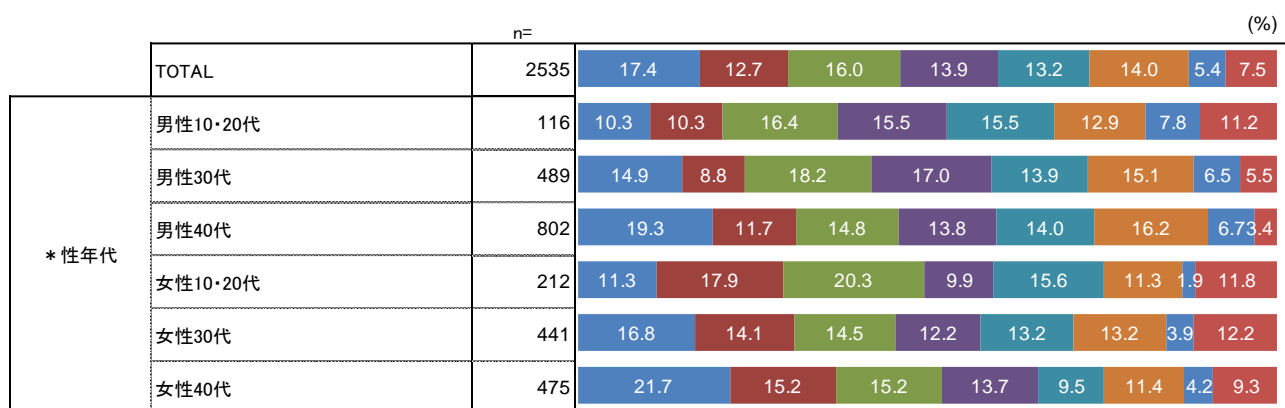


問 21 現在、お仕事をもちの方にかがいます。
 あなたのおつとめ先の従業員数をお答えください。結婚されている方は、配偶者についてもお答えください。(回答は1つ) 【回答者：有職者】

各従業員規模とも1割程度であり、性別・年代による大きな差はみられない。

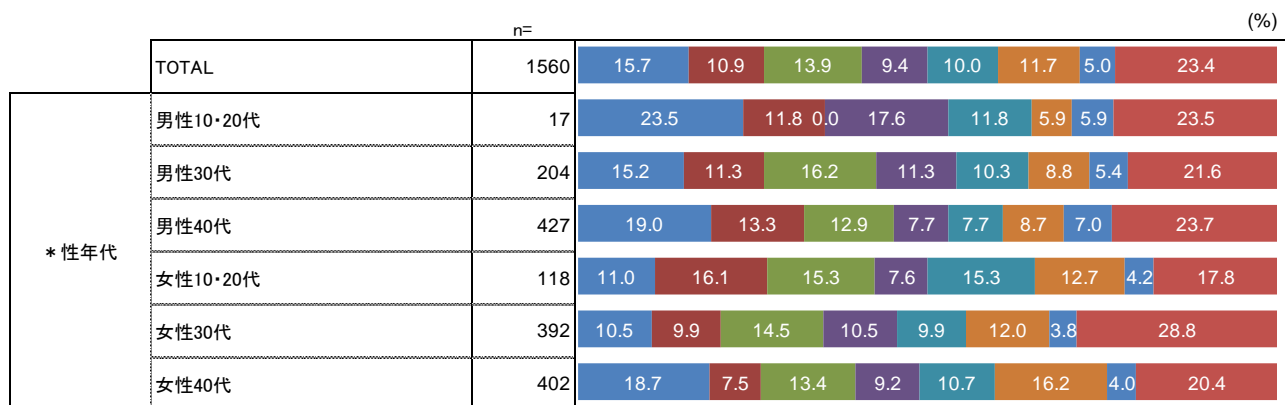
① あなた自身の状況

■ 1~9人 ■ 10~29人 ■ 30~99人 ■ 100~299人 ■ 300~999人 ■ 1,000人以上 ■ 官公庁 ■ わからない



② 配偶者の状況（既婚者のみ）

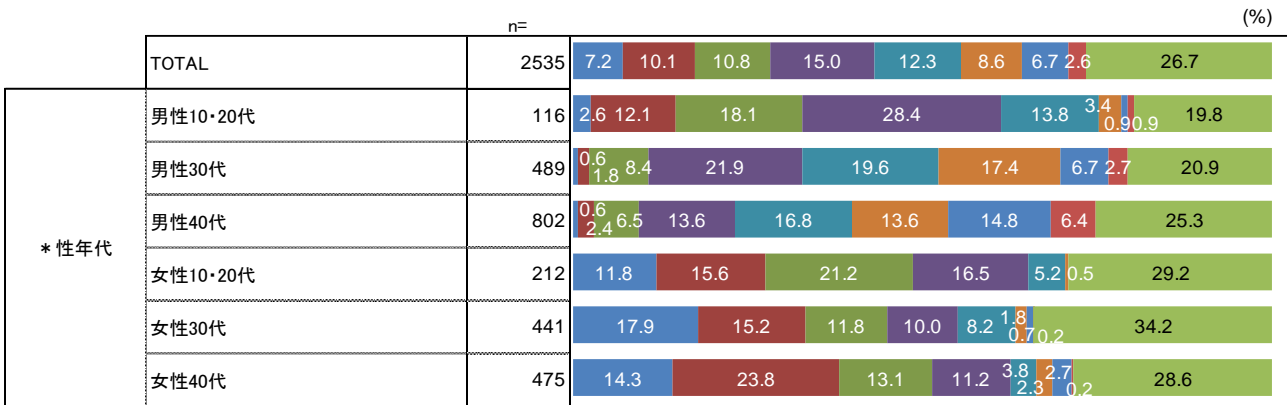
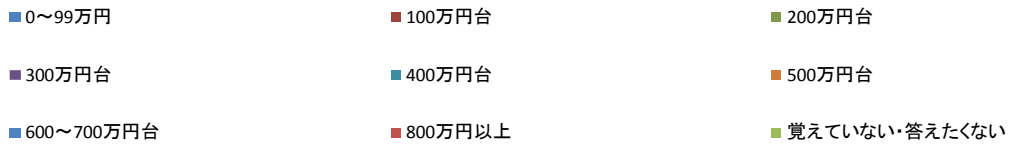
■ 1~9人 ■ 10~29人 ■ 30~99人 ■ 100~299人 ■ 300~999人 ■ 1,000人以上 ■ 官公庁 ■ わからない



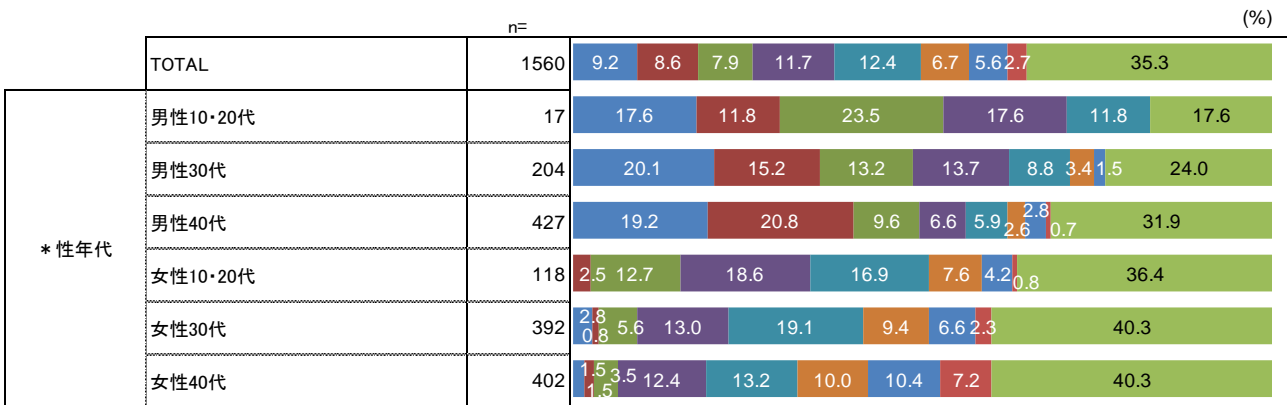
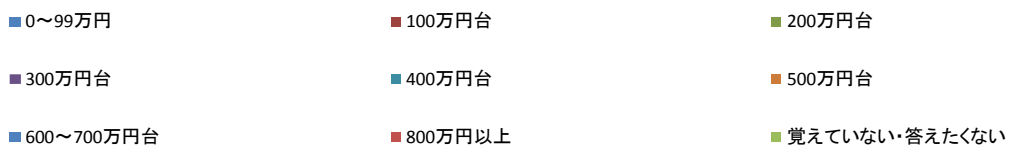
問 22 差し支えなければ、あなたの昨年の収入（年収）をお答えください。結婚されている方は、配偶者の収入（年収）もお答えください。（回答は1つ） 【回答者：有職者】

回答者自身の年収は「300万円台」（15.0%）の割合が比較的高い。男性の方が年収が高く、女性は200万円台以下が半数以上を占めている。

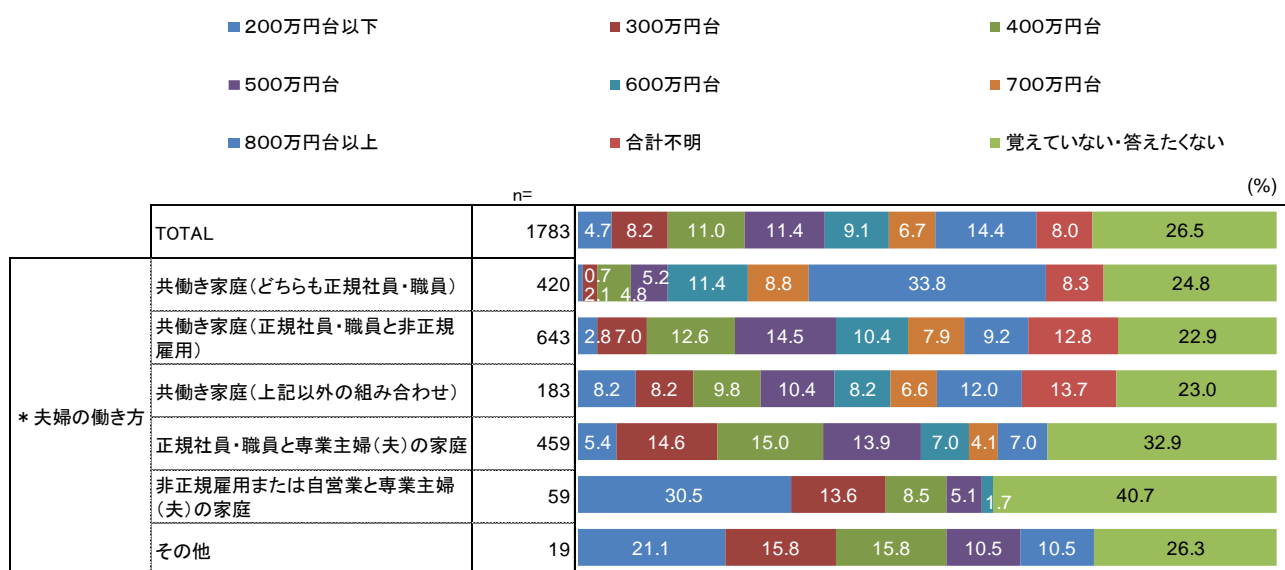
① あなた自身の状況



② 配偶者の状況（既婚者のみ）



夫婦の働き方別に合計年収（概算）をみると、共働き家庭（どちらも正規社員・職員）では「800万円台以上」の世帯が33.8%を占めている。一方、非正規雇用または自営業と専業主婦（夫）の家庭では年収は低い傾向にあり、200万円台以下の世帯が30.5%となっている。



※夫婦の合計年収は問22の「あなたご自身の年収」と「あなたの配偶者の年収」を合計して、概算として算出している。本調査においては「～万円台」という選択肢で聴取しているため、実際の合計年収とは異なる。

算出例) あなたご自身の年収：300万円台、あなたの配偶者の年収：200万円台 = 合計年収500万円台とする。実際には600万円台の可能性もある。

また、いずれかの年収が「覚えていない・答えたくない」と回答されていた場合は「合計不明」としている。

(5) 出産や子育てに関する意識と現状

問23 お子さんの人数についてうかがいます。以下のそれぞれにあてはまる人数をご記入ください。

現在の子どもの数（既婚者）は、2人が36.0%、1人が27.0%で、平均すると1.47人である。

実際に持つつもり（予定）の子どもの数は、2人が49.7%、3人が19.1%、1人が18.0%で、平均すると1.85人である。理想の子どもの数（既婚者）と比較すると、3人の割合が低く、1人または2人の割合が高くなっている。

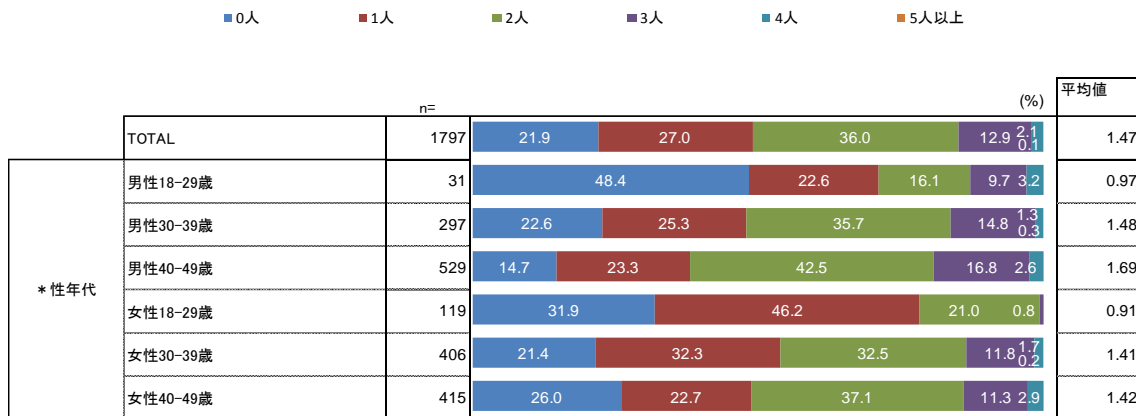
理想の子どもの数（既婚者・独身者）は、2人が48.7%、次いで3人が33.2%となっており、平均すると2.18人である。

理想の子どもの数（既婚者）は、2人が45.5%、3人が40.5%で、平均すると2.37人である。

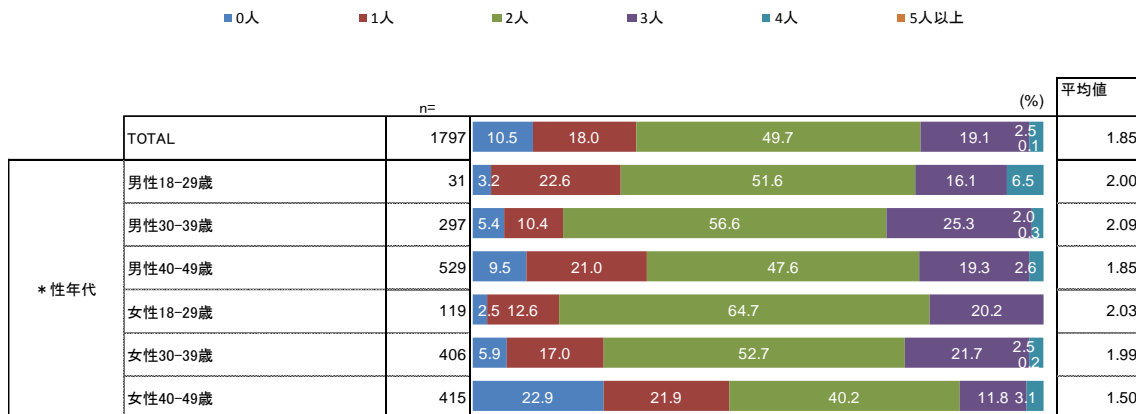
理想の子どもの数（独身者・結婚意向あり）は、2人が61.3%を占め、3人が24.9%で、平均すると2.11人である。理想の子どもの数（既婚者）と比較すると、2人の割合が高く、3人の割合が低くなっている。

18歳から34歳の結婚意向がある女性の理想の子どもの数については、2人が58.7%、3人が30.6%で、平均すると2.23人である。

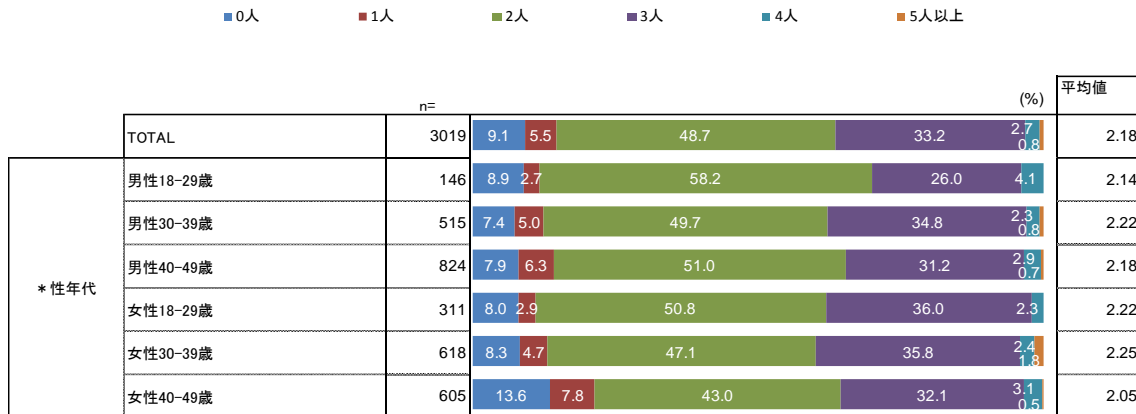
① 現在の子どもの数（既婚者）



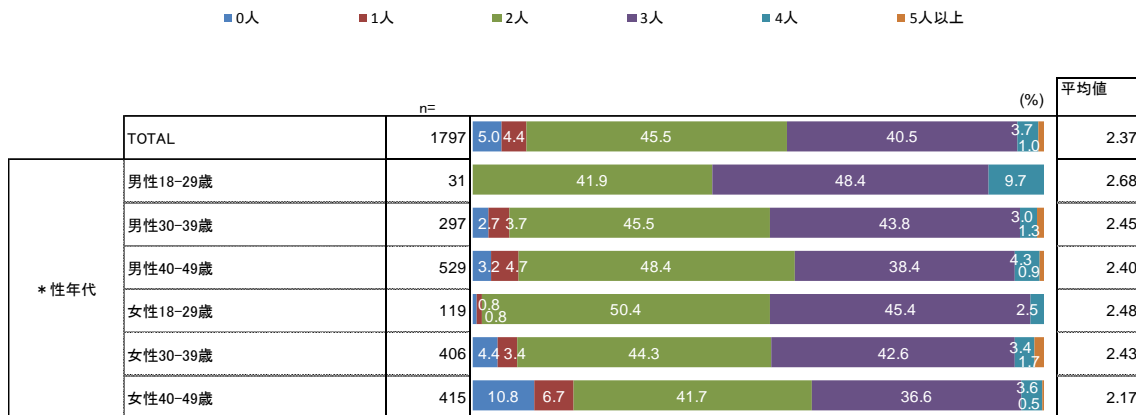
② 実際に持つつもり（予定）の子どもの数



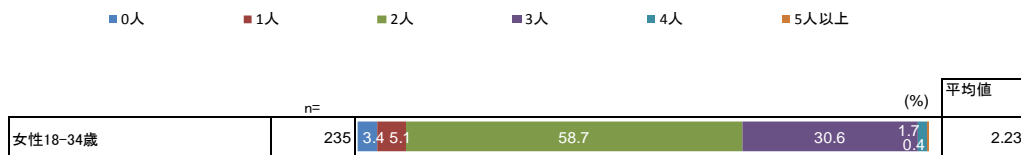
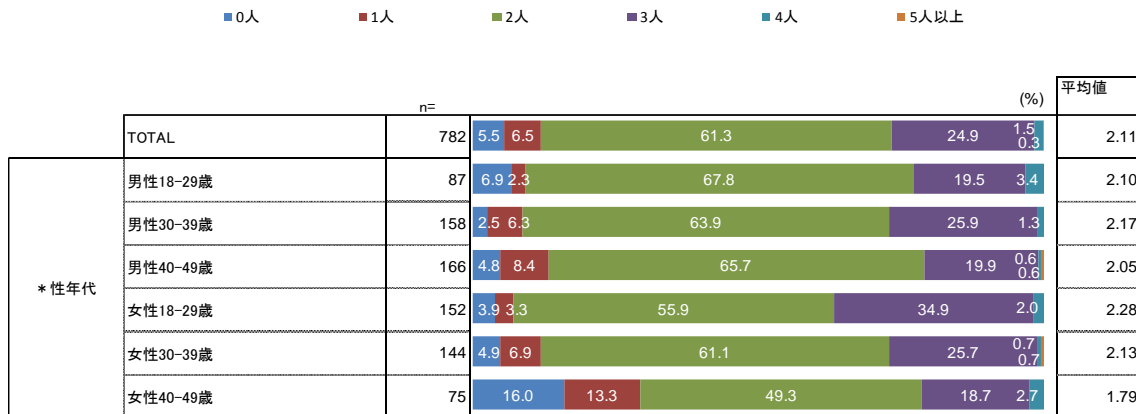
③ 理想の子どもの数（既婚者・独身者）



③ - 1 理想の子どもの数（既婚者）

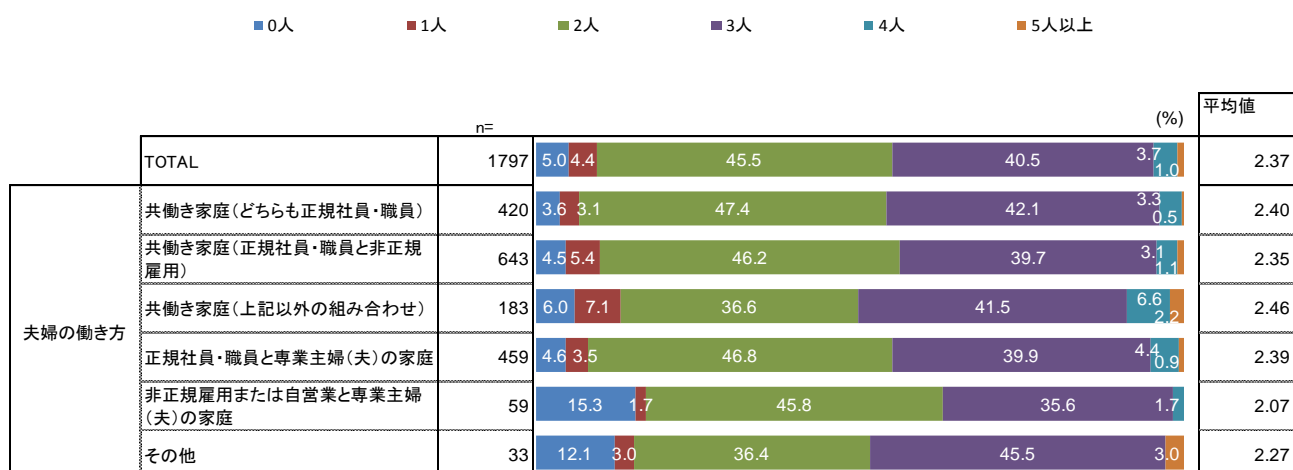


③ - 2 理想の子どもの数（独身者・結婚意向あり）

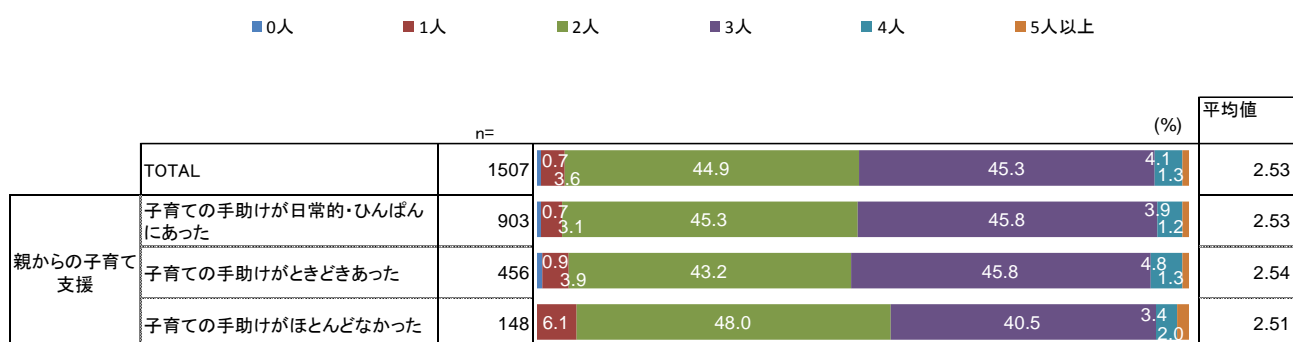


※希望出生率の算出根拠

夫婦の働き方別に理想の子どもの人数をみると、非正規雇用または自営業と専業主婦（夫）の家庭では「0人」（15.3%）と回答する割合が高い。

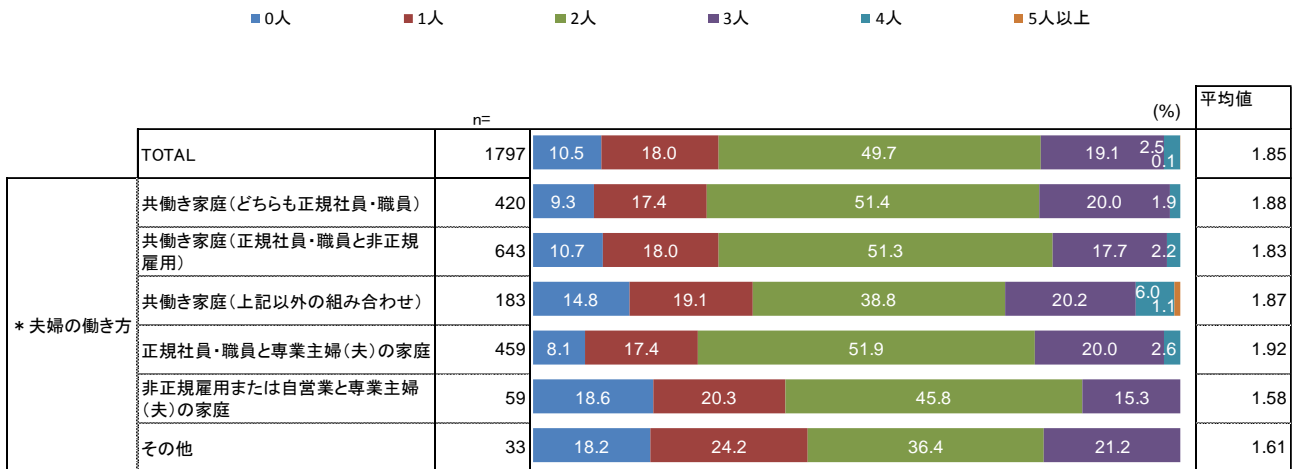


親からの子育て支援の状況別に理想の子どもの人数をみると、いずれかの親から子育ての手助けが日常的・ひんぱんにあった人、または、子育ての手助けがときどきあった人は「3人」の割合が高い。

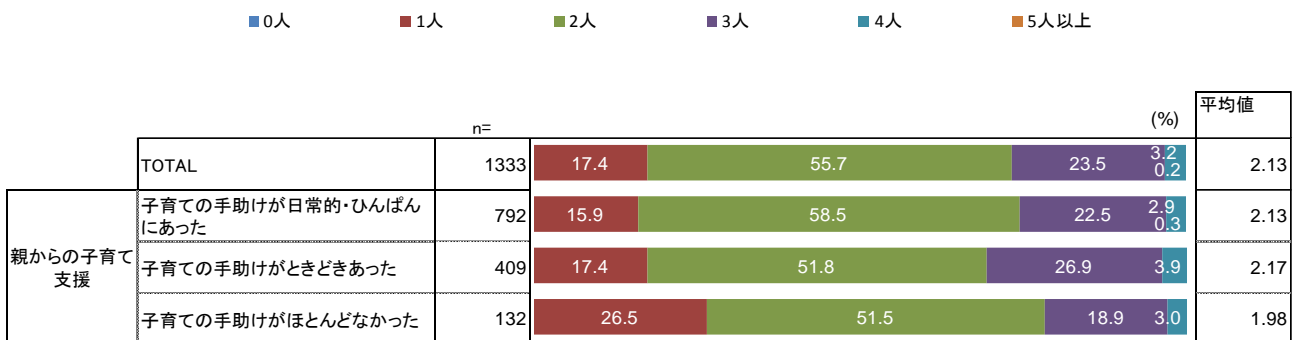


※親からの子育て支援は、問 30 の回答をもとに分類した。いずれかの親から「日常的にあった」または「ひんぱんにあった」場合には「子育ての手助けが日常的・ひんぱんにあった」、いずれかの親から「ときどきあった」場合には「子育ての手助けがときどきあった」、いずれの親からも「ほとんどなかった」、または親がいなかった場合には「子育ての手助けがほとんどなかった」としている。

夫婦の働き方別に実際に持つつもりの子どもの人数をみると、正規社員・職員と専業主婦(夫)の家庭では平均すると 1.92 人である。一方で非正規雇用または自営業と専業主婦(夫)の家庭では、平均すると 1.58 人と比較的少ない。



親からの子育て支援の状況別に実際に持つつもりの子どもの人数をみると、いずれかの親からも子育ての手助けがほとんどなかった人は「1人」が 26.5%と高い割合である。



問 24 問 23 で、「実際に持つつもり（予定）の子どもの数」が、「理想の子どもの数」より少ない方
 にかがいます。

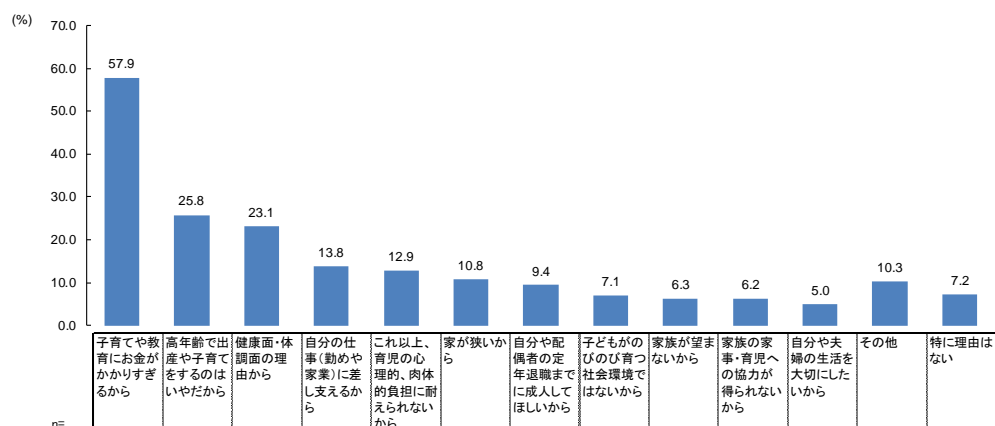
持つつもりの子どもの数が、理想の子どもの数より少ないのはどうしてですか。あてはまる理
 由をお答えください。（回答はいくつでも）

【回答者：「実際に持つつもり（予定）の子どもの数」が、「理想の子どもの数」より少ない者】

実際に持つつもり（予定）の子どもの数が、理想の子どもの数よりも少ない理由は「子育てや教育に
 お金がかかりすぎるから」（57.9%）であり、いずれの性別・年代においても最も高い割合である。以
 下、「高齢で出産や子育てをするのはいやだから」（25.8%）、「健康面・体調面の理由から」（23.1%）
 と続く。

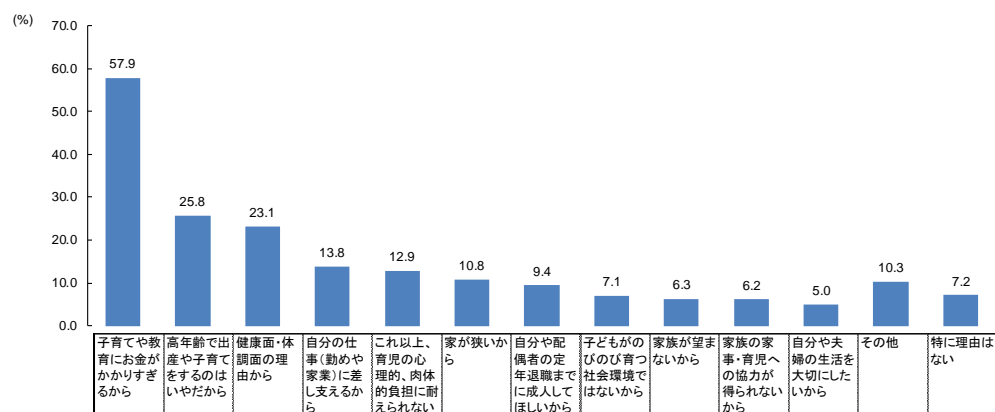
経済的な理由は男性 10・20 代、男性 30 代で特に高く、年齢に関する理由や健康面・体調面に関する
 理由は女性 40 代で高い。

また、女性 30 代では、「自分の仕事（勤めや家業）に差し支えるから」（20.2%）や、「これ以上、育
 児の心理的、肉体的負担に耐えられないから」（18.5%）、「家族の家事・育児への協力が得られないか
 ら」（14.5%）といった出産・子育ての負担感を理由にあげる割合が高い。



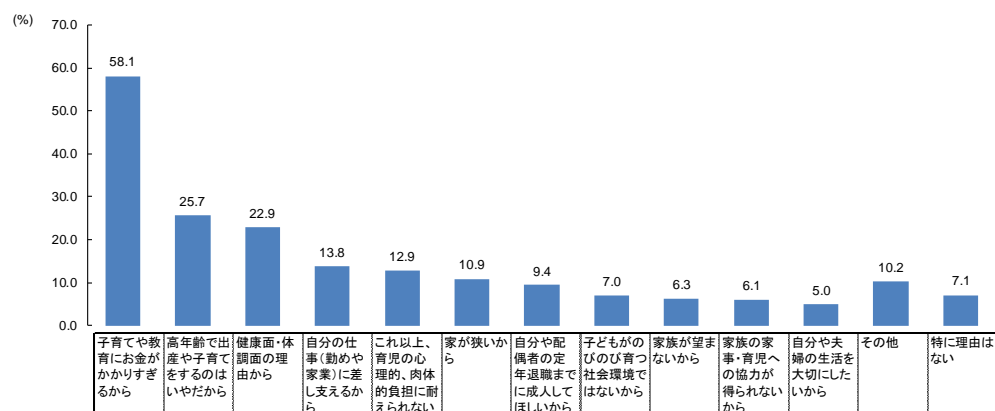
		n=	子育てや教育にお金がかかりすぎるから	高齢で出産や子育てをするのはいやだから	健康面・体調面の理由から	自分の仕事（勤めや家業）に差し支えるから	これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから	家が狭いから	自分や配偶者の定年退職までに成人してほしいから	子どもがのびのび育つ社会環境ではないから	家族が望まないから	家族の家事・育児への協力が得られないから	自分や夫婦の生活を大切にしたいから	その他	特に理由はない
TOTAL		780	57.9	25.8	23.1	13.8	12.9	10.8	9.4	7.1	6.3	6.2	5.0	10.3	7.2
* 性年代	男性10・20代	15	86.7	0.0	6.7	0.0	6.7	13.3	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性30代	102	78.4	19.6	13.7	16.7	6.9	10.8	13.7	5.9	2.9	2.0	8.8	7.8	3.9
	男性40代	232	53.0	28.4	24.6	9.9	11.6	10.8	10.8	9.5	8.6	0.9	4.7	5.6	8.6
	女性10・20代	48	70.8	2.1	14.6	6.3	12.5	10.4	4.2	4.2	4.2	14.6	8.3	2.1	12.5
	女性30代	173	67.6	23.1	19.1	20.2	18.5	18.5	8.7	9.2	6.4	14.5	5.2	9.8	6.4
	女性40代	210	40.5	35.2	32.4	14.3	13.3	4.3	8.1	4.3	5.7	5.7	2.9	19.5	7.1

夫婦の働き方別にみると、共働き家庭（どちらも正規社員・職員）では「自分の仕事（勤めや家業）に差し支えるから」（21.5%）の割合が高く、正規社員・職員と専業主婦（夫）の家庭では、「家族の家事・育児への協力が得られないから」（10.0%）の割合が高い。



* 夫婦の働き方	n=	理由 (%)												
		子育てや教育にお金がかかりすぎるから	高齢で出産や子育てをするのはいやだから	健康面・体調面の理由から	自分の仕事（勤めや家業）に差し支えるから	これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから	家が狭いから	自分や配偶者の定年退職までに成人してほしいから	子どもがのびのび育つ社会環境ではないから	家族が望まないから	家族の家事・育児への協力が得られないから	自分や夫婦の生活を大切にしたいから	その他	特に理由はない
TOTAL	780	57.9	25.8	23.1	13.8	12.9	10.8	9.4	7.1	6.3	6.2	5.0	10.3	7.2
共働き家庭(どちらも正規社員・職員)	186	62.4	25.3	22.0	21.5	14.0	12.9	11.8	6.5	5.9	7.0	4.3	8.6	8.6
共働き家庭(正規社員・職員と非正規雇用)	282	57.4	25.9	22.3	14.9	12.1	8.9	8.2	7.1	6.4	3.2	5.7	11.7	6.4
共働き家庭(上記以外の組み合わせ)	76	51.3	28.9	25.0	17.1	13.2	13.2	11.8	10.5	1.3	6.6	6.6	9.2	9.2
正規社員・職員と専業主婦(夫)の家庭	190	58.4	26.3	25.3	4.7	13.7	12.1	7.4	6.8	8.9	10.0	4.2	7.9	5.8
非正規雇用または自営業と専業主婦(夫)の家庭	28	57.1	21.4	10.7	3.6	7.1	7.1	10.7	0.0	7.1	0.0	3.6	14.3	7.1
その他	18	44.4	16.7	33.3	16.7	16.7	0.0	11.1	11.1	0.0	11.1	5.6	27.8	11.1

合計年収別にみると、400万円台の世帯では「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」（70.3%）の割合が高い。また、600万円台の世帯では「自分の仕事（勤めや家業）に差し支えるから」（24.6%）、「自分や夫婦の生活を大切にしたいから」（11.6%）の割合が高い。一方、800万円台以上の世帯においては「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」（45.0%）の割合が低い。



合計年収	n=	理由 (%)												
		子育てや教育にお金がかかりすぎるから	高齢で出産や子育てをするのはいやだから	健康面・体調面の理由から	自分の仕事（勤めや家業）に差し支えるから	これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから	家が狭いから	自分や配偶者の定年退職までに成人してほしいから	子どもがのびのび育つ社会環境ではないから	家族が望まないから	家族の家事・育児への協力が得られないから	自分や夫婦の生活を大切にしたいから	その他	特に理由はない
TOTAL	773	58.1	25.7	22.9	13.8	12.9	10.9	9.4	7.0	6.3	6.1	5.0	10.2	7.1
200万円台以下	43	67.4	18.6	16.3	9.3	23.3	9.3	11.6	7.0	7.0	14.0	0.0	20.9	4.7
300万円台	56	64.3	16.1	28.6	16.1	5.4	16.1	7.1	7.1	1.8	7.1	5.4	12.5	7.1
400万円台	101	70.3	21.8	17.8	11.9	11.9	13.9	5.0	8.9	8.9	5.0	4.0	7.9	5.9
500万円台	89	56.2	27.0	22.5	7.9	12.4	13.5	13.5	6.7	7.9	11.2	5.6	11.2	3.4
600万円台	69	58.0	27.5	20.3	24.6	14.5	11.6	13.0	8.7	5.8	2.9	11.6	8.7	7.2
700万円台	56	64.3	33.9	26.8	10.7	19.6	8.9	10.7	1.8	7.1	3.6	1.8	12.5	1.8
800万円台以上	109	45.0	30.3	29.4	20.2	17.4	5.5	12.8	4.6	6.4	4.6	6.4	9.2	6.4
合計不明	56	57.1	35.7	17.9	17.9	8.9	8.9	12.5	5.4	5.4	5.4	1.8	10.7	12.5
覚えていない・答えたくない	194	54.6	23.2	23.2	10.3	9.8	10.8	5.7	8.8	5.7	5.2	5.2	8.2	10.3

問 25 お子さんをお持ちのすべての方にうかがいます。

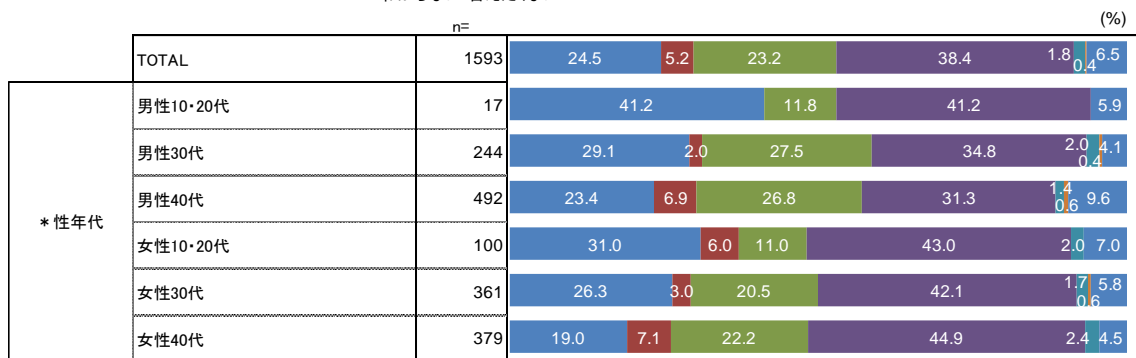
女性：1人目のお子さんを出産したときの仕事についてお答えください。

男性：1人目のお子さんが生まれた時の配偶者・パートナーの仕事についてお答えください。

(回答は1つ) 【回答者：子どもが1人以上いる者】

1人目の子どもを出産したときの仕事の状況としては、「妊娠～子どもが1歳になる前の間に退職した」が38.4%と最も割合が高く、「育児休業を取得し、継続して働いた(働いている、または働く予定である)」が24.5%、「妊娠前から無職だった」が23.2%となっている。仕事を継続したのは29.7%、退職したのは40.6%である。

- 育児休業を取得し、継続して働いた(働いている、または働く予定である)
- 育児休業を取得せず、継続して働いた(働いている、または働く予定である)
- 妊娠前から無職だった
- 妊娠～子どもが1歳になる前の間に退職した
- 子どもが1歳になって以降、3歳になる前の間に退職した
- 子どもが3歳になって以降に退職した
- わからない・答えたくない



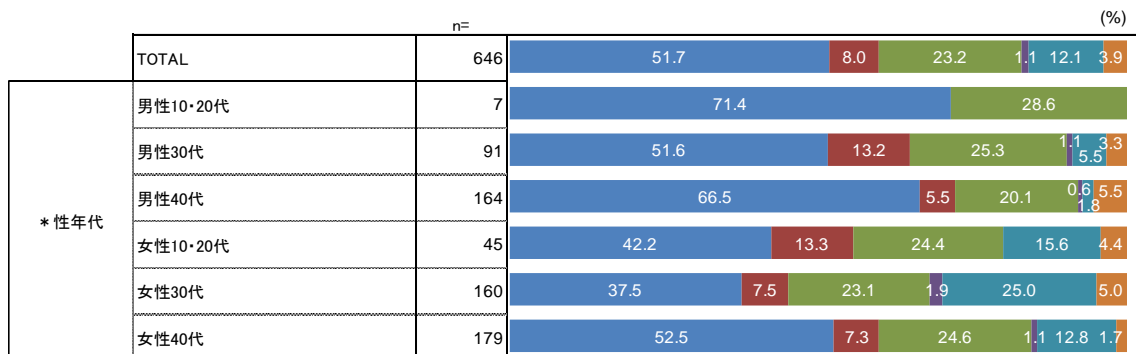
問 26 仕事を辞めた方にうかがいます。

1人目のお子さんの妊娠・出産・育児の時期に仕事を辞めた一番の理由は何ですか。(回答は1つ) 【回答者：1人目の子どもの妊娠・出産・育児の時期に仕事を辞めた者】

仕事を辞めた理由としては、「家事・育児に専念するため、自発的に辞めた」が51.7%、「仕事を続けたかったが、仕事と育児の両立が難しそうだった」が23.2%である。

女性の理由を見ると、男性が考えるよりも「家事・育児に専念するため、自発的に辞めた」の割合が低い(10・20代：42.2%、30代：37.5%、40代：52.5%)。

- 家事・育児に専念するため、自発的に辞めた
- 結婚・出産・育児を機に辞めたが、理由は結婚・出産・育児等に直接関係ない
- 仕事を続けたかったが、仕事と育児の両立が難しそうだった
- 子どもも前と仕事内容や責任等が変わり、やりがいを感じられなくなった(なりそうだった)
- その他
- 特にない



問 27 お子さんが2人以上いるすべての方にうかがいます。

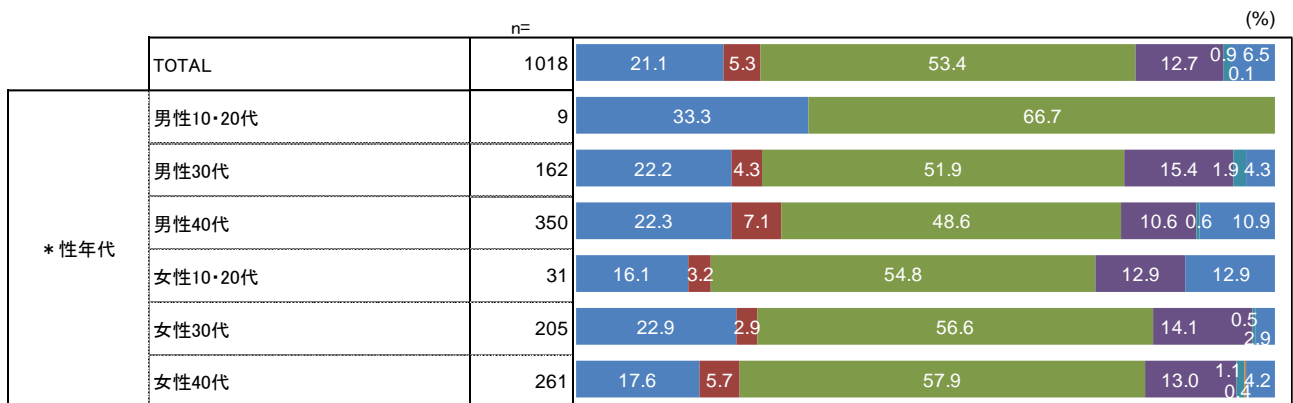
女性：2人目のお子さんを出産したときの仕事についてお答えください。

男性：2人目のお子さんが産まれた時の配偶者・パートナーの仕事についてお答えください。

(回答は1つ) 【回答者：子どもが2人以上いる者】

2人目出産時の仕事の状況としては、「妊娠前から無職だった」が53.4%と最も高く、「育児休業を取得し、継続して働いた(働いている、または働く予定である)」が21.1%である。仕事を継続したのは26.4%と、1人目の場合と大きな差はないが、妊娠前から無職だった割合が非常に高い。

- 育児休業を取得し、継続して働いた(働いている、または働く予定である)
- 育児休業を取得せず、継続して働いた(働いている、または働く予定である)
- 妊娠前から無職だった
- 妊娠～子どもが1歳になる前の間に退職した
- 子どもが1歳になって以降、3歳になる前の間に退職した
- 子どもが3歳になって以降に退職した
- わからない・答えたくない

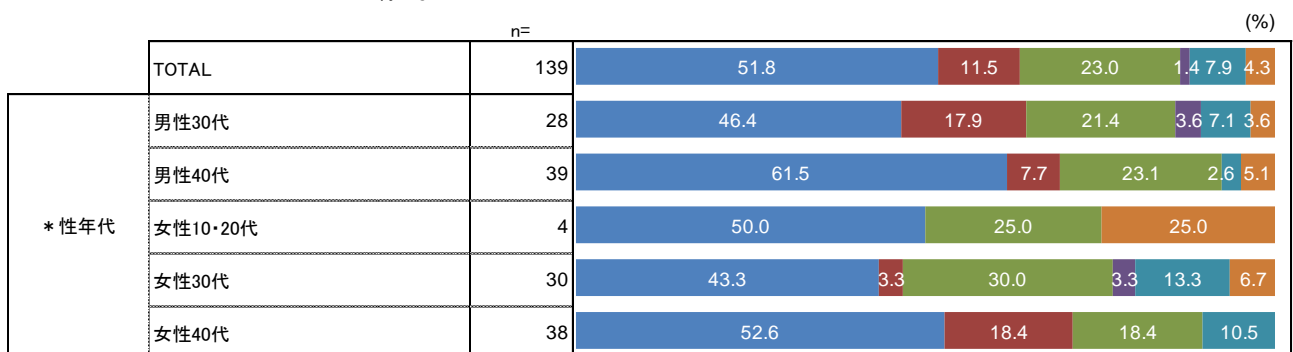


問 28 仕事を辞めた方にうかがいます。

2人目のお子さんの妊娠・出産・育児の時期に仕事を辞めた一番の理由は何ですか。(回答は1つ) 【回答者：2人目の子どもの妊娠・出産・育児の時期に仕事を辞めた者】

仕事を辞めた理由としては、「家事・育児に専念するため、自発的に辞めた」が51.8%、「仕事を続けたかったが、仕事と育児の両立が難しそうだった」が23.0%である。

- 家事・育児に専念するため、自発的に辞めた
- 結婚・出産・育児を機に辞めたが、理由は結婚・出産・育児等に直接関係ない
- 仕事を続けたかったが、仕事と育児の両立が難しそうだった
- 子どもをもち前と仕事内容や責任等が変わり、やりがいを感じられなくなった(なりそうだった)
- その他
- 特にない



問 29 お子さんをお持ちのすべての方にうかがいます。

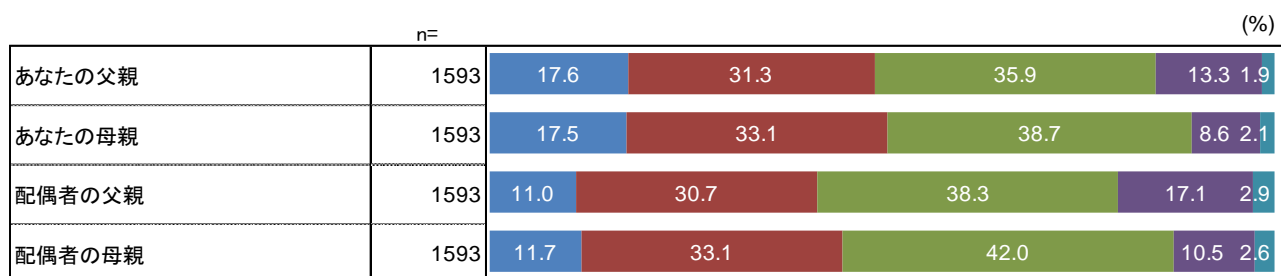
お子さんが3歳になるまでの間、あなたや配偶者のご両親と同居していましたか。(回答は1つ)

【回答者：子どもが1人以上いる者】

回答者本人の親と同居していたのは2割弱（父親：17.6%、母親：17.5%）、徒歩で30分程度の別居（近居）は3割（父親：31.3%、母親：33.1%）である。

配偶者の親と同居していたのは1割（父親：11.0%、母親：11.7%）、徒歩で30分程度の別居（近居）は3割（父親：30.7%、母親：33.1%）である。

■同居 ■別居(近居) ■別居(近居以外) ■いなかった ■わからない

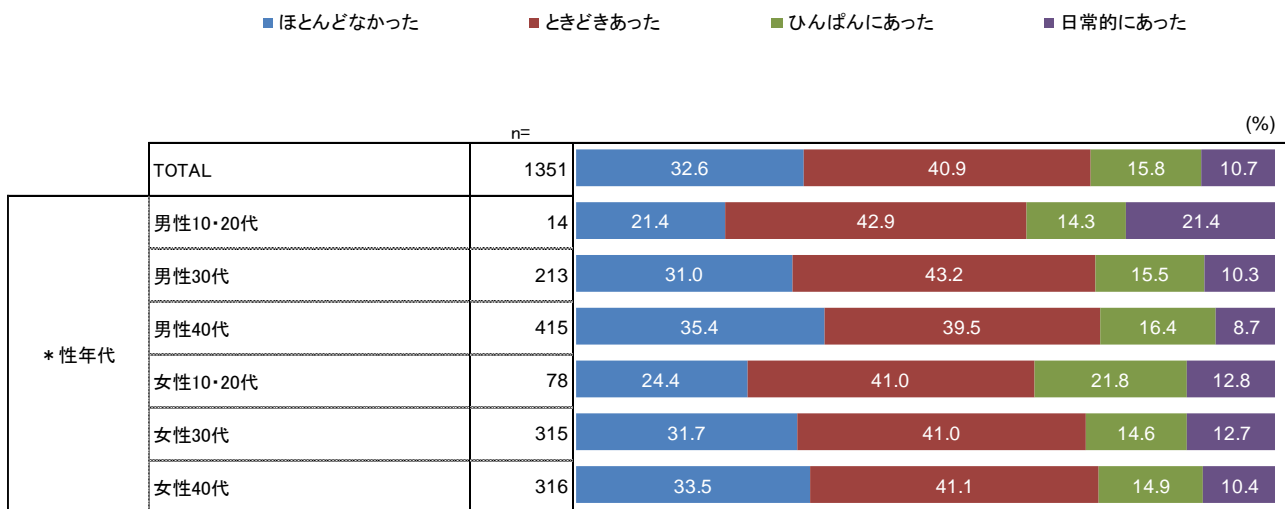


問 30 お子さんが3歳になるまでの間、あなたや配偶者のご両親からの子育ての手助けはありましたか。もっともあてはまる状況についてお答えください。(回答は1つ)
 【回答者：親が健在であった者】

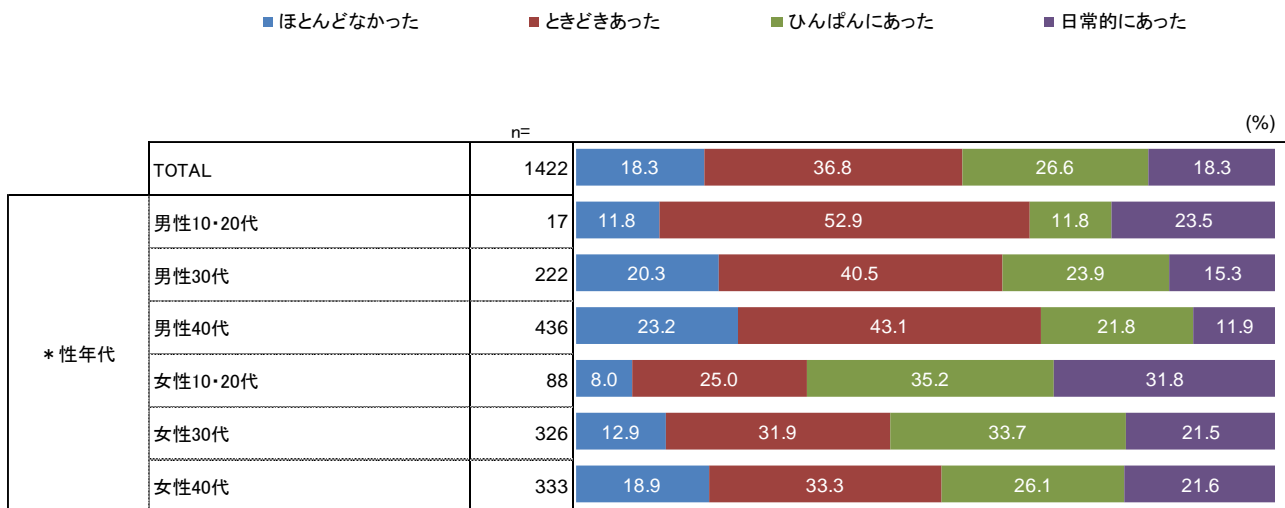
回答者本人の父親からは、手助けが「ときどきあった」が40.9%、「ほとんどなかった」が32.6%である。

回答者本人の母親からは、「日常的にあった」が18.3%、「ひんぱんにあった」が26.6%、「ときどきあった」が36.8%であり、父親に比べ手助けがあったとの回答割合が高い。また、若い世代の方が、多くの手助けを受けている傾向がみられる。

① 回答者本人の父親



② 回答者本人の母親

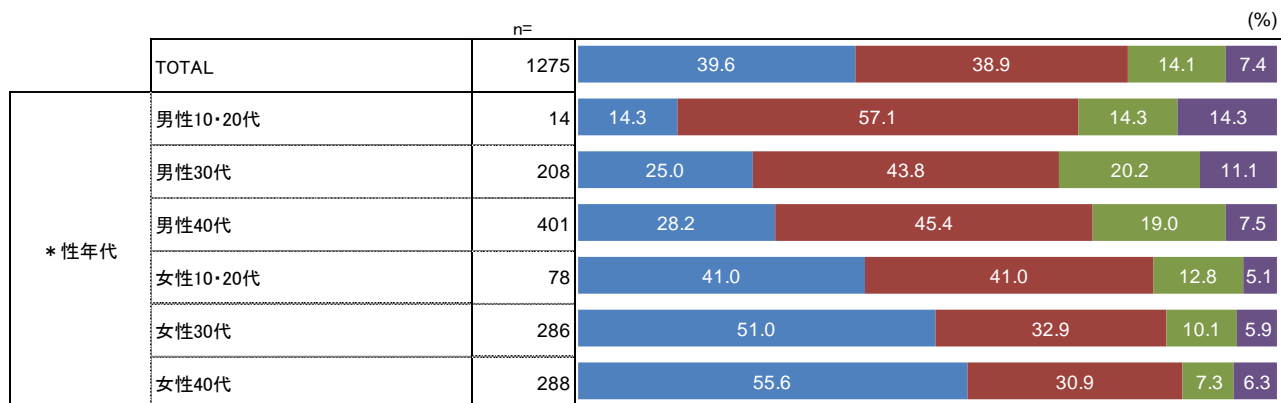


配偶者の父親からは、手助けが「ときどきあった」が38.9%、「ほとんどなかった」が39.6%である。

配偶者の母親からは、「日常的にあった」が12.9%、「ひんぱんにあった」が20.0%、「ときどきあった」が38.5%である。女性では、実母の場合よりも手助けを受けていた割合は低く、年齢が高いほど、ほとんど手助けがなかったと回答する割合が高まる傾向がみられる。

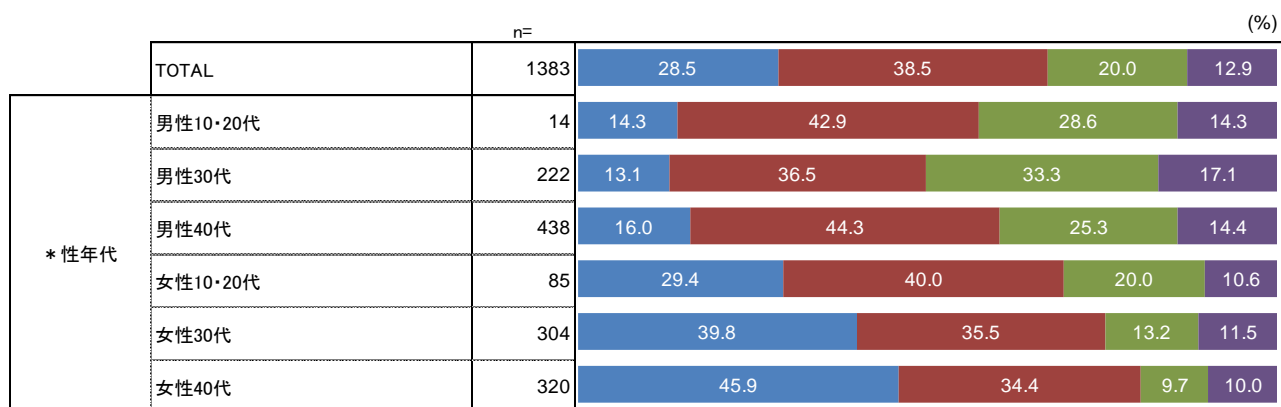
③ 配偶者の父親

■ほとんどなかった ■ときどきあった ■ひんぱんにあった ■日常的にあった



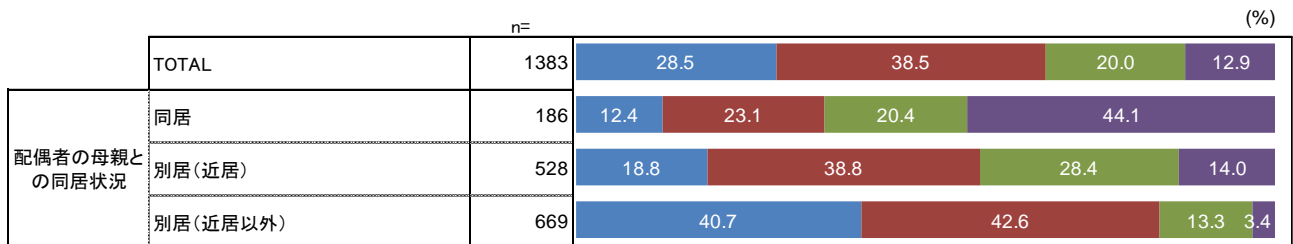
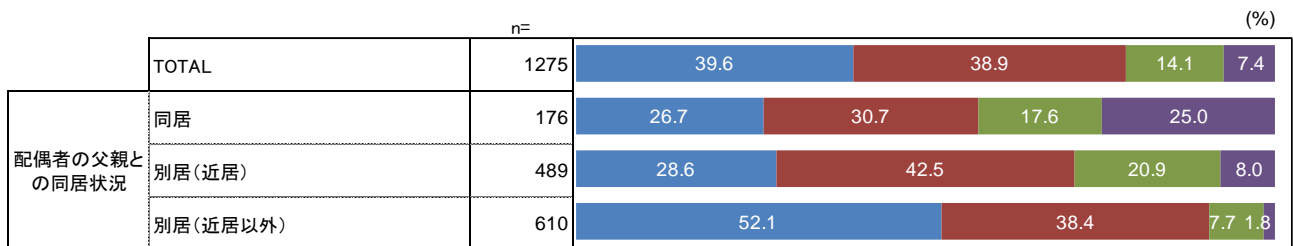
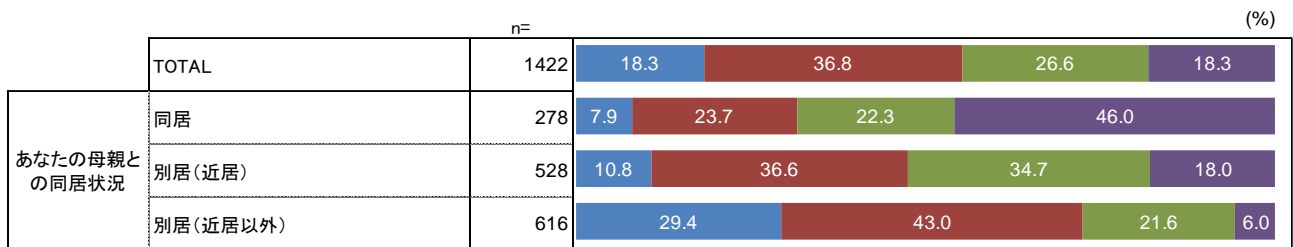
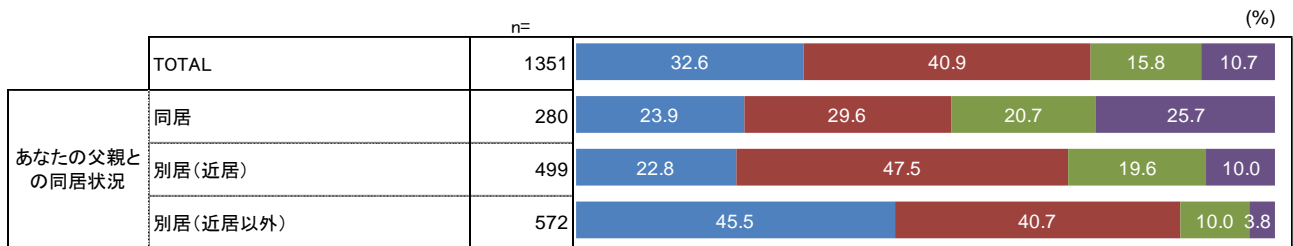
④ 配偶者の母親

■ほとんどなかった ■ときどきあった ■ひんぱんにあった ■日常的にあった



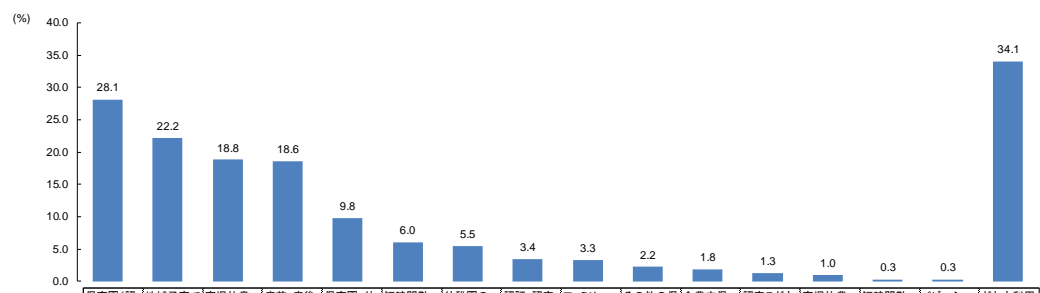
同居状況別にみると、同居の場合の方が日常的な手助けが多く、別居（近居以外）の場合には手助けがほとんどない割合が高い。

■ ほとんどなかった ■ ときどきあった ■ ひんばんにあった ■ 日常的にあった



問 31 お子さんが3歳になるまでの間、以下の制度や施設を利用しましたか。あてはまる状況についてお答えください。(回答はいくつでも) 【回答者：子どもが1人以上いる者】

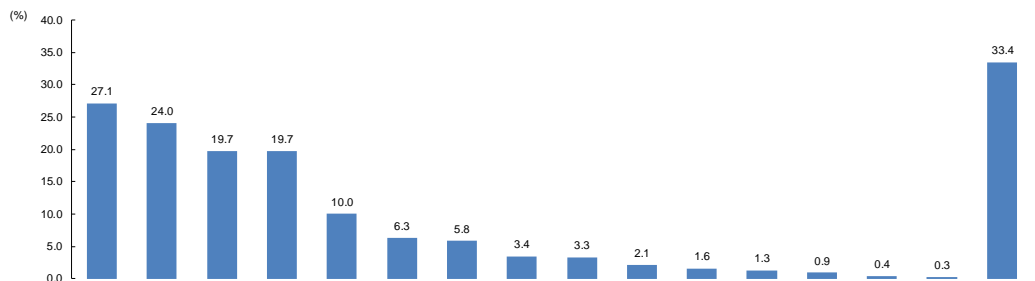
利用した制度・施設は「保育園（認可保育所）」が28.1%と最も高く、以下「地域子育て支援センター」(22.2%)、「育児休業制度（女親）」(18.8%)、「産前・産後休業制度」(18.6%)と続く。「どれも利用しなかった」は34.1%となっている。



		n=																
		保育園(認可保育所)	地域子育て支援センター	育児休業制度(女親)	産前・産後休業制度	保育園・幼稚園などの一時預かり	短時間勤務制度(女親)	幼稚園の未就園児親子登園	認証・認定保育施設(自治体が認証・認定した施設)	ファミリーサポート・センター(地域住民による子どもの預かり)	その他の保育施設	企業内保育所	認定こども園(保育施設と幼稚園が一体化した施設)	育児休業制度(男親)	短時間勤務制度(男親)	ベビーシッター	どれも利用しなかった	
TOTAL	1593	28.1	22.2	18.8	18.6	9.8	6.0	5.5	3.4	3.3	2.2	1.8	1.3	1.0	0.3	0.3	34.1	
* 性年代	男性10・20代	17	23.5	29.4	17.6	41.2	0.0	11.8	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	35.3
	男性30代	244	29.1	21.7	18.0	17.6	9.4	4.9	7.4	2.5	4.1	2.5	1.2	2.5	2.0	1.2	0.4	32.0
	男性40代	492	26.0	10.4	17.3	14.2	9.8	3.7	3.3	3.3	2.6	1.4	1.4	1.2	0.8	0.2	0.6	44.5
	女性10・20代	100	33.0	33.0	31.0	30.0	4.0	13.0	2.0	5.0	4.0	2.0	3.0	1.0	0.0	0.0	0.0	21.0
	女性30代	361	30.2	37.7	23.5	23.0	14.1	9.1	6.6	2.8	3.3	2.5	2.2	1.4	0.6	0.3	0.3	22.7
	女性40代	379	27.2	20.1	13.5	16.9	7.9	4.5	6.9	4.5	3.4	2.9	1.8	0.5	1.3	0.0	0.0	36.4

夫婦の働き方別にみると、共働き家庭（どちらも正規社員・職員）では「育児休業制度（女親）」（54.2%）のほか、「産前・産後休業制度」（51.3%）、「保育園（認可保育所）」（39.4%）、「短時間勤務制度（女親）」（17.9%）、「企業内保育所」（3.2%）等、職場の制度を利用している割合が高い。

共働き家庭（正規社員・職員と非正規雇用）では、「保育園・幼稚園などの一時預かり」（13.7%）の割合が高く、正規社員・職員と専業主婦（夫）の家庭では、「地域子育て支援センター」（35.6%）、「幼稚園の未就園児親子登園」（8.9%）の利用割合が高い。



		n=																
		27.1	24.0	19.7	19.7	10.0	6.3	5.8	3.4	3.3	2.1	1.6	1.3	0.9	0.4	0.3	33.4	
		保育園(認可保育所)	地域子育て支援センター	産前・産後休業制度	育児休業制度(女親)	保育園・幼稚園などの一時預かり	短時間勤務制度(女親)	幼稚園の未就園児親子登園	ファミリーサポート・センター(地域住民による子ども預かり)	認証・認定保育施設(自治体が認証・認定した施設)	その他の保育施設	企業内保育所	認定こども園(保育施設と幼稚園が一体化した施設)	育児休業制度(男親)	短時間勤務制度(男親)	ベビーシッター	どれも利用しなかった	
TOTAL	1404	27.1	24.0	19.7	19.7	10.0	6.3	5.8	3.4	3.3	2.1	1.6	1.3	0.9	0.4	0.3	33.4	
夫婦の働き方	共働き家庭(どちらも正規社員・職員)	312	39.4	15.7	51.3	54.2	7.4	17.9	5.1	2.2	3.5	1.6	3.2	1.6	1.3	0.3	17.9	
	共働き家庭(正規社員・職員と非正規雇用)	520	29.2	21.3	11.3	11.2	13.7	2.9	4.6	3.5	3.8	1.7	1.5	1.0	0.8	0.2	36.9	
	共働き家庭(上記以外の組み合わせ)	133	38.3	16.5	18.0	18.0	12.0	3.8	3.0	1.5	2.3	3.0	2.3	1.5	0.0	0.0	33.1	
	正規社員・職員と専業主婦(夫)の家庭	371	10.8	35.6	6.2	5.1	7.0	3.0	8.9	4.9	2.2	2.4	0.3	1.3	1.1	0.8	0.5	40.7
	非正規雇用または自営業と専業主婦(夫)の家庭	43	25.6	30.2	11.6	4.7	9.3	0.0	7.0	4.7	4.7	4.7	0.0	2.3	2.3	0.0	0.0	37.2
その他	25	12.0	40.0	20.0	16.0	4.0	4.0	8.0	4.0	8.0	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	

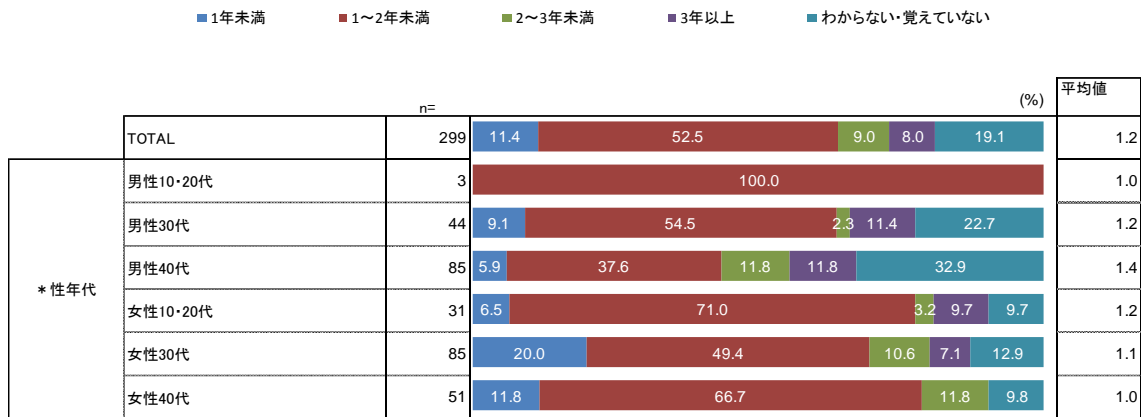
問 32 実際に取得した育児休業の期間と、理想の育児休業の期間をそれぞれお答えください。
【回答者：育児休業取得者】

① 女性の育児休業期間

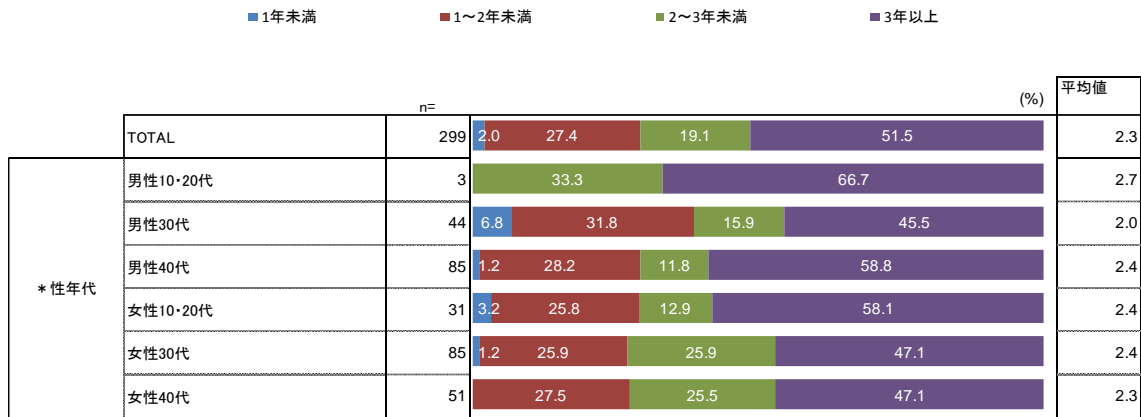
実際に取得した（取得する予定の）育児休業期間は、1～2年未満が52.5%を占め、1年未満も11.4%である。

それに対して理想の育児休業期間は、51.5%が3年以上と回答しており、平均では2.3年となっている。

<実際に取得した（取得する予定の）期間>

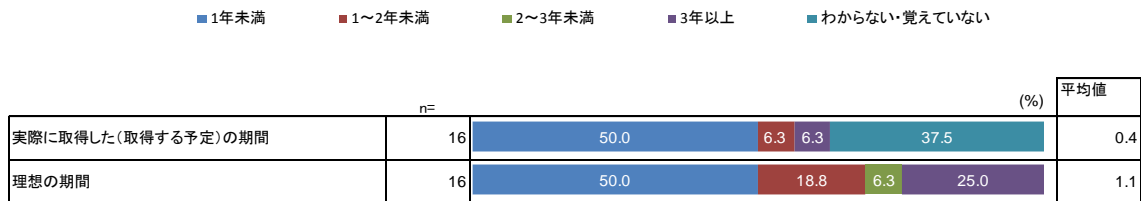


<理想の期間>



② 男性の育児休業期間

男性自身及び女性にとっての配偶者が対象であるが、取得者が少ないため参考値として掲載する。

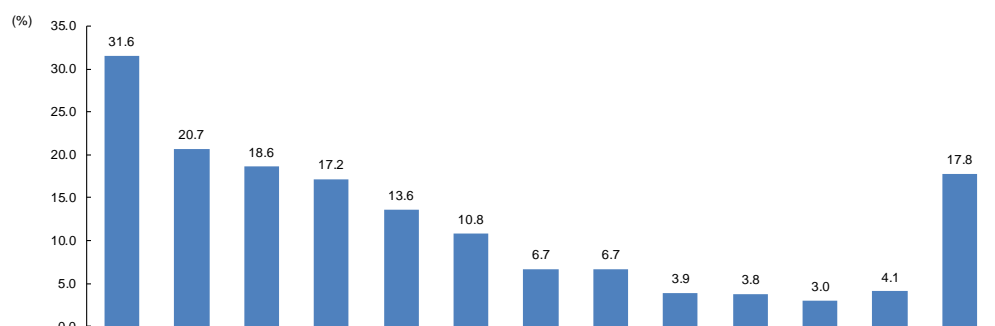


問 33 問 31 で「男親が育児休業制度を取得しなかった」とお答えの方にうかがいます。
 育児休業を取得しなかった理由をお答えください。(回答はいくつでも)
 【回答者：男親が育児休業を取得しなかった者】

男親が育児休業を取得しなかった理由は、「会社で育児休業制度が整備されていなかったから」(31.6%)の割合が最も高く、以下「そもそも取得をする必要性を感じていなかったから」(20.7%)、「職場が育児休業制度を取得しづらい雰囲気だった(会社や職場の理解がなかった)から」(18.6%)、「配偶者や家族が家事・育児を担ってくれていたから」(17.2%)と続く。

性・年代別にみると、男性 30 代では「配偶者や家族が家事・育児を担ってくれていたから」(26.8%)、「職場が育児休業制度を取得しづらい雰囲気だった(会社や職場の理解がなかった)から」(26.4%)を理由とする割合が高い一方で、「休業取得による、所得減等の心配があったから」(22.6%)、「昇給や昇格など、今後のキャリア形成に影響がありそうと思ったから」(11.3%)といった所得や今後のキャリア形成への影響を理由にあげる割合が高い。

女性 30 代、40 代では「そもそも取得をする必要性を感じていなかったから」(30 代:25.6%、40 代:27.3%)が理由の上位にあがる。また、女性 30 代では「職場が育児休業制度を取得しづらい雰囲気だった(会社や職場の理解がなかった)から」(24.2%)の割合も高い。

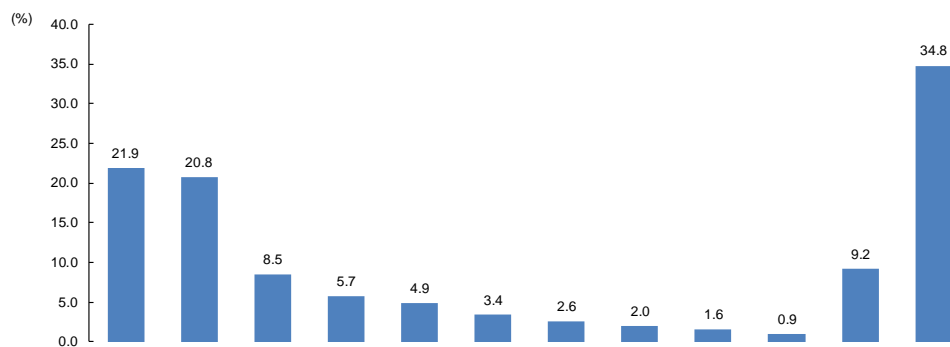


		n=	会社で育児休業制度が整備されていなかったから	そもそも取得をする必要性を感じていなかったから	職場が育児休業制度を取得しづらい雰囲気だった(会社や職場の理解がなかった)から	配偶者や家族が家事・育児を担ってくれていたから	休業取得による、所得減等の心配があったから	残業の多い職場だったから	育児休業は男性ではなく、女性が取得するべきものだと思うから	昇給や昇格など、今後のキャリア形成に影響がありそうと思ったから	会社での手続き等が煩雑でわからなかった、または制度について十分わからなかったから	休業前と同じ仕事や職場に復職できない(変化に対応できなかった)から	配偶者や家族からの後押しがなかったから	その他	わからない・覚えていない
TOTAL		1577	31.6	20.7	18.6	17.2	13.6	10.8	6.7	6.7	3.9	3.8	3.0	4.1	17.8
* 性年代	男性10・20代	17	35.3	5.9	35.3	23.5	5.9	11.8	5.9	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	23.5
	男性30代	239	31.4	16.3	26.4	26.8	22.6	14.6	2.1	11.3	5.4	5.0	2.1	1.7	12.6
	男性40代	488	33.6	14.3	13.5	18.4	12.9	10.9	6.1	6.4	3.9	3.3	0.8	3.3	21.5
	女性10・20代	100	31.0	22.0	15.0	11.0	14.0	12.0	11.0	4.0	3.0	2.0	8.0	6.0	21.0
	女性30代	359	29.0	25.6	24.2	12.0	12.8	10.0	6.7	7.5	3.6	5.0	5.6	5.0	15.6
	女性40代	374	31.8	27.3	15.2	15.8	9.6	8.8	9.4	4.3	3.7	2.9	2.7	5.3	17.4

問 34 問 31 で「女親が育児休業制度を取得しなかった」とお答えの方にうかがいます。
 育児休業を取得しなかった理由をお答えください。(回答はいくつでも)
 【回答者：女親が育児休業を取得しなかった者】

女親が育児休業を取得しなかった理由は、「会社で育児休業制度が整備されていなかったから」(21.9%)、「そもそも取得をする必要性を感じていなかったから」(20.8%) が主な理由である。

性・年代別にみると、女性 40 代では「そもそも取得する必要性を感じなかったから」(27.4%) を理由とする割合が最も高い。



		n=	会社で育児休業制度が整備されていなかったから	そもそも取得をする必要性を感じていなかったから	職場が育児休業制度を取得しづらい雰囲気だった(会社や職場の理解がなかった)から	配偶者や家族が家事・育児を担ってくれていたから	休業前と同じ仕事や職場に復職できない(変化に対応できなかった)から	残業の多い職場だったから	休業取得による、所得減等の心配があったから	会社での手続き等が煩雑でわからなかった、または制度について十分わからなかったから	配偶者や家族からの後押しがなかったから	昇給や昇格など、今後のキャリア形成に影響がありそうだったから	その他	わからない・覚えていない
	TOTAL	1294	21.9	20.8	8.5	5.7	4.9	3.4	2.6	2.0	1.6	0.9	9.2	34.8
* 性年代	男性10・20代	14	42.9	7.1	7.1	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	男性30代	200	19.0	19.0	9.0	5.5	3.5	3.0	3.0	1.5	2.5	0.5	6.5	40.0
	男性40代	407	20.6	18.4	6.1	8.4	3.9	1.7	3.2	1.7	0.2	2.0	6.9	42.3
	女性10・20代	69	29.0	14.5	5.8	0.0	7.2	5.8	4.3	1.4	0.0	0.0	11.6	33.3
	女性30代	276	22.8	19.9	12.7	4.0	6.9	5.1	1.8	2.2	1.4	0.4	12.3	28.3
	女性40代	328	22.3	27.4	8.2	5.5	4.9	4.0	1.8	2.7	3.4	0.3	11.0	27.4

問 35 現在結婚（事実婚を含む）されている方にかがいます。
 あなた方ご夫婦の現実の分担と、理想の分担をそれぞれお答えください。【回答者：既婚者】

現在の家事の分担の平均は、夫が20.9%、妻が79.1%であり、理想の家事の分担の平均は、夫が35.3%、妻が64.7%である。女性30代、40代では、現在の夫の家事分担割合が1割未満、妻の家事分担割合が9割以上という回答が多い。

1-1. 現在の家事の分担：夫

		n=	0-9%	10-19%	20-29%	30-39%	40-49%	50-59%	60-69%	70-79%	80-89%	90-99%	100%	平均値
TOTAL		1797	23.6	25.7	17.8	14.1	5.5	9.3	1.5	0.8	0.8	0.3	0.5	20.9
* 性年代	男性10・20代	31	16.1	9.7	25.8	19.4	3.2	19.4	3.2	0.0	0.0	0.0	3.2	28.9
	男性30代	297	14.5	24.9	19.5	17.2	8.8	9.1	2.0	1.7	1.3	0.3	0.7	24.6
	男性40代	529	14.9	25.5	18.7	15.9	6.4	13.0	1.9	1.1	1.1	0.4	0.9	24.9
	女性10・20代	119	27.7	25.2	19.3	10.1	4.2	9.2	2.5	0.8	0.8	0.0	0.0	19.2
	女性30代	406	32.3	25.1	18.2	13.5	3.7	5.2	0.7	0.5	0.5	0.0	0.2	16.5
	女性40代	415	32.0	28.4	14.0	11.1	4.1	8.2	1.0	0.2	0.5	0.5	0.0	17.2

1-2. 現在の家事の分担：妻

		n=	0-9%	10-19%	20-29%	30-39%	40-49%	50-59%	60-69%	70-79%	80-89%	90-99%	100%	平均値
TOTAL		1797	0.5	0.3	0.8	1.2	1.2	9.5	5.8	14.4	18.3	37.0	11.0	79.1
* 性年代	男性10・20代	31	3.2	0.0	0.0	3.2	3.2	16.1	3.2	22.6	22.6	19.4	6.5	71.1
	男性30代	297	0.7	0.3	1.3	2.4	1.3	9.4	9.1	18.2	18.2	32.3	6.7	75.4
	男性40代	529	0.9	0.4	1.1	1.3	1.7	13.2	7.2	16.1	18.7	33.8	5.5	75.1
	女性10・20代	119	0.0	0.8	0.0	1.7	1.7	9.2	4.2	10.9	21.8	32.8	16.8	80.8
	女性30代	406	0.2	0.0	0.5	0.5	0.7	5.4	3.7	13.3	19.5	40.6	15.5	83.5
	女性40代	415	0.0	0.5	0.5	0.5	0.7	8.4	4.6	11.1	15.4	43.1	15.2	82.8

2-1. 理想の家事の分担：夫

		n=	0-9%	10-19%	20-29%	30-39%	40-49%	50-59%	60-69%	70-79%	80-89%	90-99%	100%	平均値
TOTAL		1797	3.1	6.2	14.8	25.0	19.4	29.6	0.7	0.5	0.6	0.1	0.1	35.3
* 性年代	男性10・20代	31	3.2	6.5	12.9	16.1	22.6	35.5	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	38.4
	男性30代	297	3.0	7.7	13.1	22.2	16.8	33.7	1.3	0.7	1.0	0.0	0.3	36.3
	男性40代	529	5.1	5.3	13.0	25.0	16.3	33.3	0.6	0.4	0.9	0.2	0.0	35.4
	女性10・20代	119	4.2	5.0	16.0	25.2	23.5	23.5	1.7	0.8	0.0	0.0	0.0	34.2
	女性30代	406	2.0	5.2	18.2	24.4	22.2	26.8	0.2	0.7	0.2	0.0	0.0	34.9
	女性40代	415	1.2	7.5	14.7	28.2	21.0	26.0	0.7	0.2	0.5	0.0	0.0	34.8

2-2. 理想の家事の分担：妻

		n=	0-9%	10-19%	20-29%	30-39%	40-49%	50-59%	60-69%	70-79%	80-89%	90-99%	100%	平均値
TOTAL		1797	0.2	0.0	0.6	0.5	0.8	30.2	20.2	24.7	14.0	6.4	2.4	64.7
* 性年代	男性10・20代	31	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	35.5	25.8	12.9	12.9	9.7	0.0	61.6
	男性30代	297	0.3	0.0	1.0	0.7	1.7	34.7	17.2	21.9	12.1	7.7	2.7	63.7
	男性40代	529	0.2	0.0	0.9	0.4	0.6	33.6	16.6	25.1	12.3	5.5	4.7	64.6
	女性10・20代	119	0.0	0.0	0.0	0.8	1.7	25.2	22.7	25.2	16.0	4.2	4.2	65.8
	女性30代	406	0.0	0.0	0.2	0.7	0.2	27.1	23.4	24.6	16.7	5.9	1.0	65.1
	女性40代	415	0.0	0.0	0.5	0.2	1.0	26.5	22.7	26.7	14.5	7.5	0.5	65.2

現在の育児の分担の平均は、夫が24.4%、妻が75.6%であり、理想の育児の分担の平均は、夫が40.9%、妻が59.1%である。家事の場合と同様、女性30代、40代では、現在の妻の育児分担割合が9割以上という回答が多い。

また、理想の育児分担は、夫・妻どちらの回答も50%台に半数近くが集中しており、夫婦で半分ずつ分担するのが理想と考えている人が多いことがうかがえる。

3-1. 現在の育児の分担：夫（子どもがいる者のみ）

		n=	0-9%	10-19%	20-29%	30-39%	40-49%	50-59%	60-69%	70-79%	80-89%	90-99%	100%	平均値
TOTAL		1404	12.2	23.7	22.1	17.9	9.6	12.3	0.9	0.4	0.4	0.3	0.4	24.4
* 性年代	男性10・20代	16	6.3	18.8	31.3	18.8	0.0	12.5	6.3	0.0	0.0	0.0	6.3	30.6
	男性30代	230	9.1	22.6	24.8	19.6	13.5	8.3	1.3	0.0	0.4	0.0	0.4	24.8
	男性40代	451	8.6	19.7	22.0	18.4	9.5	18.4	0.9	0.7	0.7	0.4	0.7	27.9
	女性10・20代	81	13.6	28.4	29.6	18.5	7.4	1.2	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	19.3
	女性30代	319	12.2	26.6	19.7	22.3	8.5	9.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.0	22.9
	女性40代	307	19.5	26.4	20.2	11.1	9.1	12.1	0.7	0.3	0.0	0.3	0.3	21.5

3-2. 現在の育児の分担：妻（子どもがいる者のみ）

		n=	0-9%	10-19%	20-29%	30-39%	40-49%	50-59%	60-69%	70-79%	80-89%	90-99%	100%	平均値
TOTAL		1404	0.6	0.1	0.4	0.4	0.7	12.9	9.8	17.9	23.4	28.3	5.4	75.6
* 性年代	男性10・20代	16	6.3	0.0	0.0	6.3	0.0	12.5	0.0	18.8	37.5	12.5	6.3	69.4
	男性30代	230	0.4	0.0	0.4	0.0	1.3	10.0	12.6	19.6	27.0	26.1	2.6	75.2
	男性40代	451	0.7	0.4	0.9	0.7	0.7	18.6	10.6	17.5	23.1	23.1	3.8	72.1
	女性10・20代	81	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	1.2	8.6	18.5	32.1	33.3	4.9	80.7
	女性30代	319	0.3	0.0	0.3	0.3	0.3	10.3	7.5	23.5	20.7	32.3	4.4	77.1
	女性40代	307	0.7	0.0	0.0	0.3	0.7	12.4	9.4	11.1	21.2	33.2	11.1	78.5

4-1. 理想の育児の分担：夫（子どもがいる者のみ）

		n=	0-9%	10-19%	20-29%	30-39%	40-49%	50-59%	60-69%	70-79%	80-89%	90-99%	100%	平均値
TOTAL		1404	0.9	2.5	7.1	20.1	20.9	46.3	0.6	0.9	0.4	0.0	0.1	40.9
* 性年代	男性10・20代	16	0.0	0.0	6.3	18.8	25.0	37.5	0.0	6.3	0.0	0.0	6.3	46.3
	男性30代	230	0.4	3.9	8.7	20.0	18.7	46.1	0.9	0.4	0.4	0.0	0.4	40.4
	男性40代	451	1.8	3.1	8.4	18.0	17.5	49.2	0.4	1.1	0.4	0.0	0.0	40.6
	女性10・20代	81	0.0	2.5	8.6	28.4	21.0	38.3	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	39.3
	女性30代	319	0.6	1.6	5.3	21.6	27.3	41.7	0.6	0.9	0.3	0.0	0.0	41.0
	女性40代	307	0.7	1.6	5.5	19.5	20.8	49.5	0.7	1.0	0.7	0.0	0.0	41.9

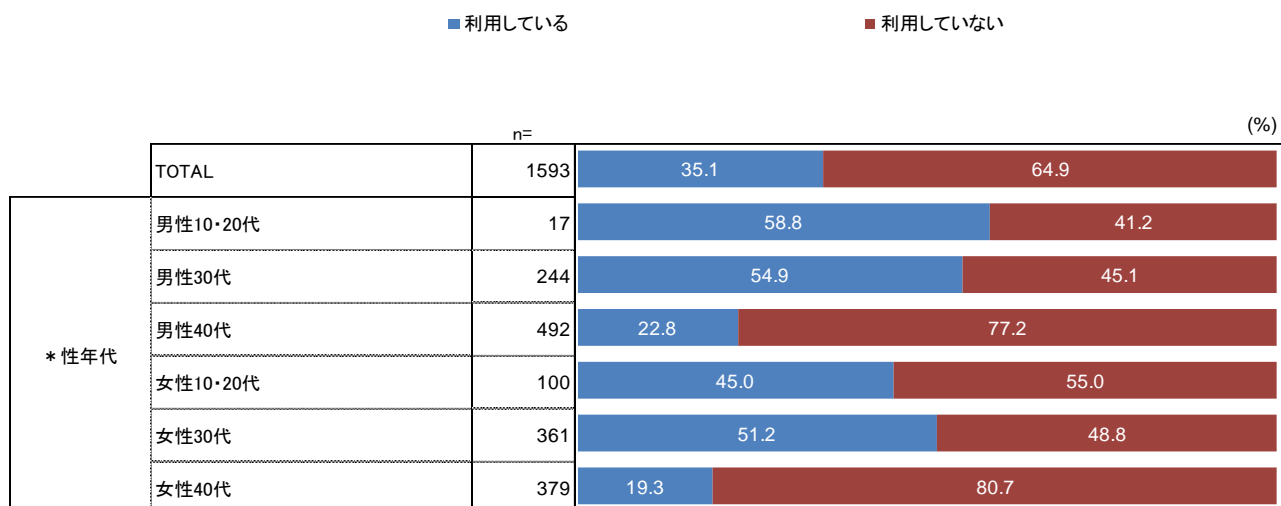
4-2. 理想の育児の分担：妻（子どもがいる者のみ）

		n=	0-9%	10-19%	20-29%	30-39%	40-49%	50-59%	60-69%	70-79%	80-89%	90-99%	100%	平均値
TOTAL		1404	0.1	0.1	0.4	0.9	0.6	47.5	20.4	20.2	6.4	2.6	0.6	59.1
* 性年代	男性10・20代	16	6.3	0.0	0.0	6.3	0.0	37.5	25.0	18.8	6.3	0.0	0.0	53.8
	男性30代	230	0.4	0.0	0.4	0.4	0.9	46.5	18.7	20.9	7.4	3.9	0.4	59.6
	男性40代	451	0.0	0.0	0.7	0.9	0.4	50.6	16.4	18.0	8.6	3.3	1.1	59.4
	女性10・20代	81	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	40.7	22.2	28.4	4.9	2.5	0.0	60.7
	女性30代	319	0.0	0.3	0.0	0.9	0.6	43.3	27.0	21.3	4.4	1.9	0.3	59.0
	女性40代	307	0.0	0.0	0.7	1.0	0.7	50.5	20.2	19.9	4.9	1.6	0.7	58.1

問 36 あなたは、現在、保育サービス（「保育園」、「幼稚園」、「認定こども園」、「その他の保育サービス」）を利用していますか。（回答は1つ） 【回答者：子どもが1人以上いる者】

現在、保育サービスを利用している割合は35.1%、利用していない割合は64.9%である。

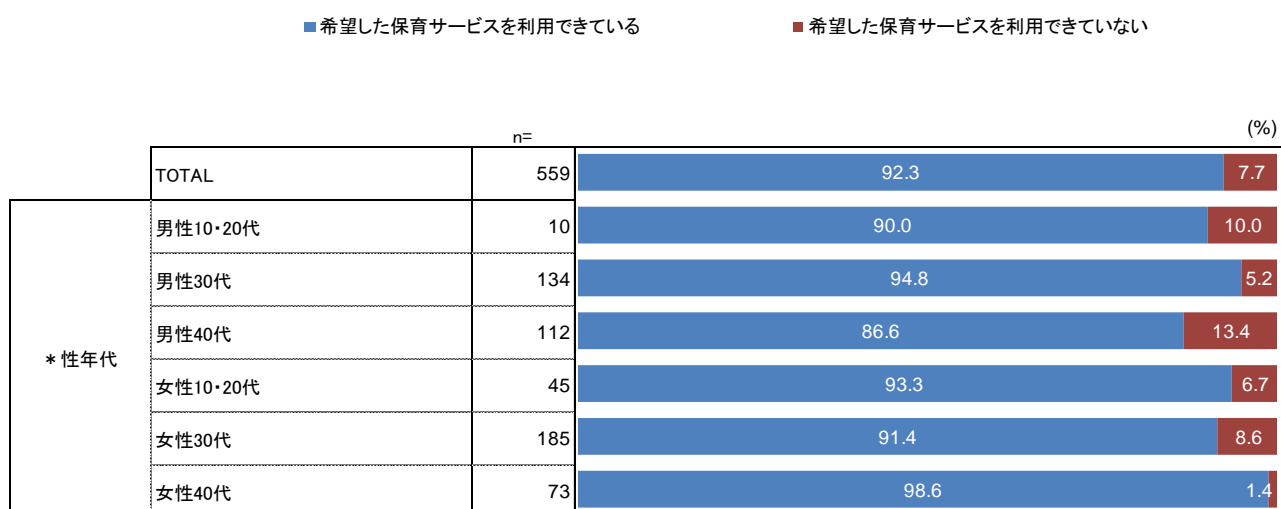
性別・年代別では、男女とも10・20代、30代では現在、保育サービスを利用している割合は5割前後となっている。



問 37 あなたは、希望どおりの保育サービスを利用できていますか。（回答は1つ） 【回答者：現在、保育サービスを利用している者】

希望した保育サービスを利用できている割合は92.3%、希望した保育サービスを利用できていない割合は7.7%である。

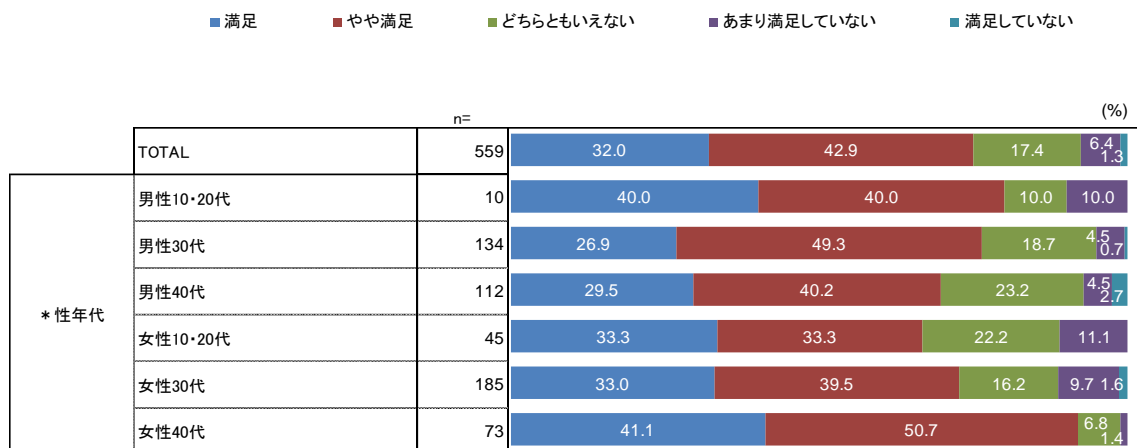
性別・年代別による大きな差はみられない。



問 38 あなたは利用している保育サービス（「保育園」、「幼稚園」、「認定こども園」、「その他の保育サービス」）に対して総合的に満足していますか。（利用時間、サービス内容、スタッフ、料金等）（回答は1つ） 【回答者：現在、保育サービスを利用している者】

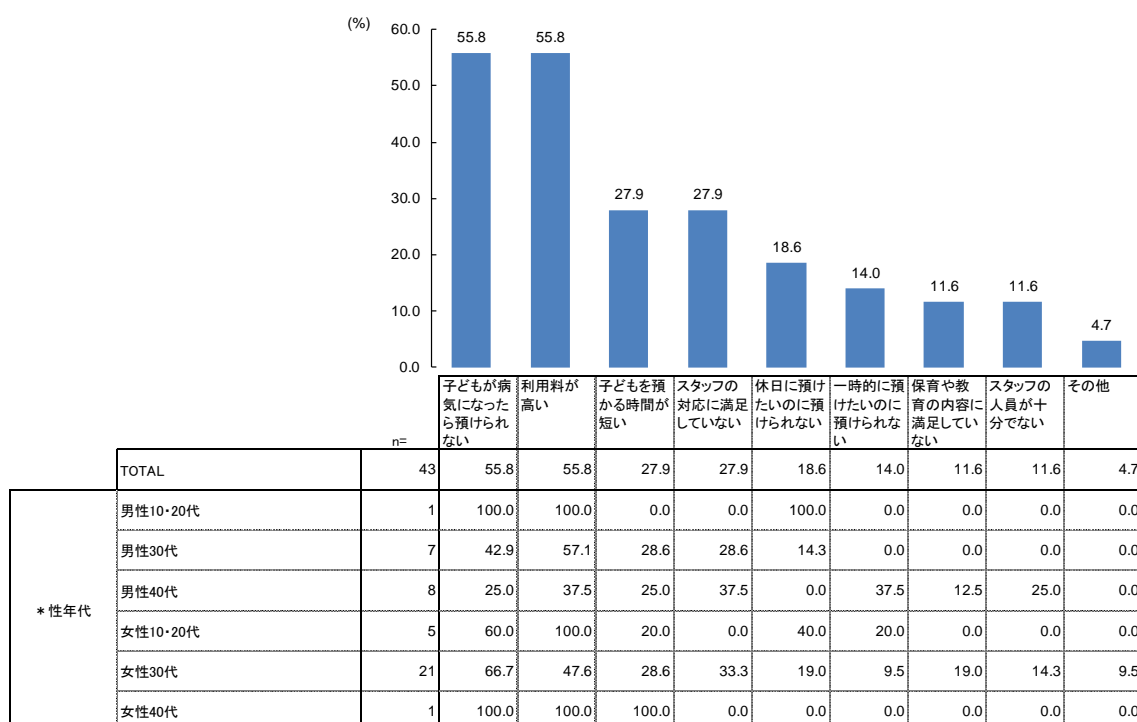
利用している保育サービスに対する総合的な満足度は、「満足」「やや満足」を合計した満足計が74.9%である（満足：32.0%、やや満足：42.9%）。

一方、「あまり満足していない」「満足していない」を合計した不満足計は7.7%である（あまり満足していない：6.4%、満足していない：1.3%）。



問 39 利用している保育サービスに満足していない点は、どのようなことですか。あてはまるものをお答えください。（回答は3つまで） 【回答者：あまり満足していない、または満足していない者】

満足していない点としては、「子どもが病気になったら預けられない」（55.8%）、「利用料が高い」（55.8%）の割合が高く、以下「子どもを預かる時間が短い」（27.9%）、「スタッフの対応に満足していない」（27.9%）と続く。



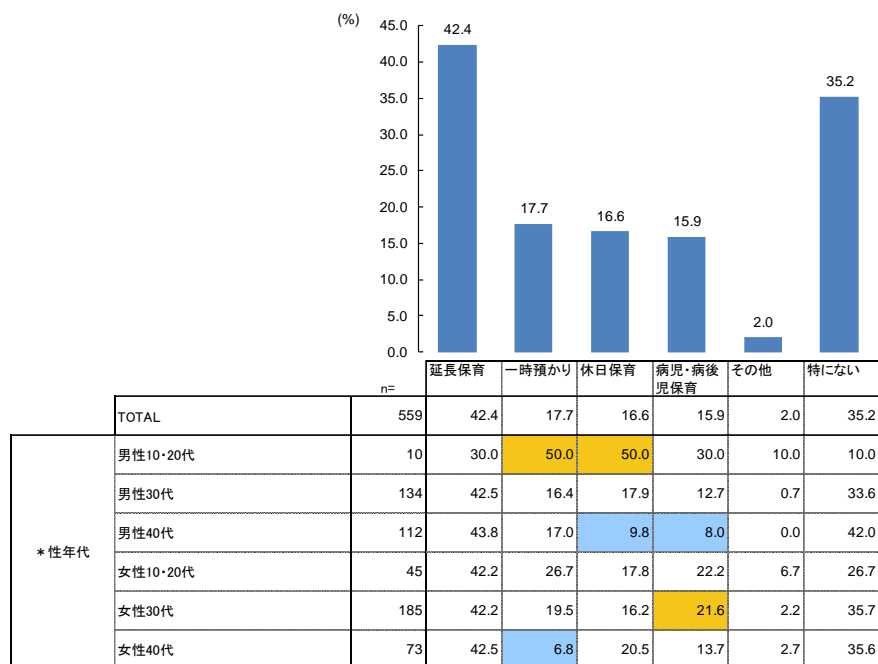
※性別・年代別ではサンプル数が少ないため参考値として掲載する。

問 40 あなたが、「現在利用している」、「現在利用していないが、今後利用したい」保育サービスをお答えください。(回答はいくつでも) 【回答者：現在、保育サービスを利用している者】

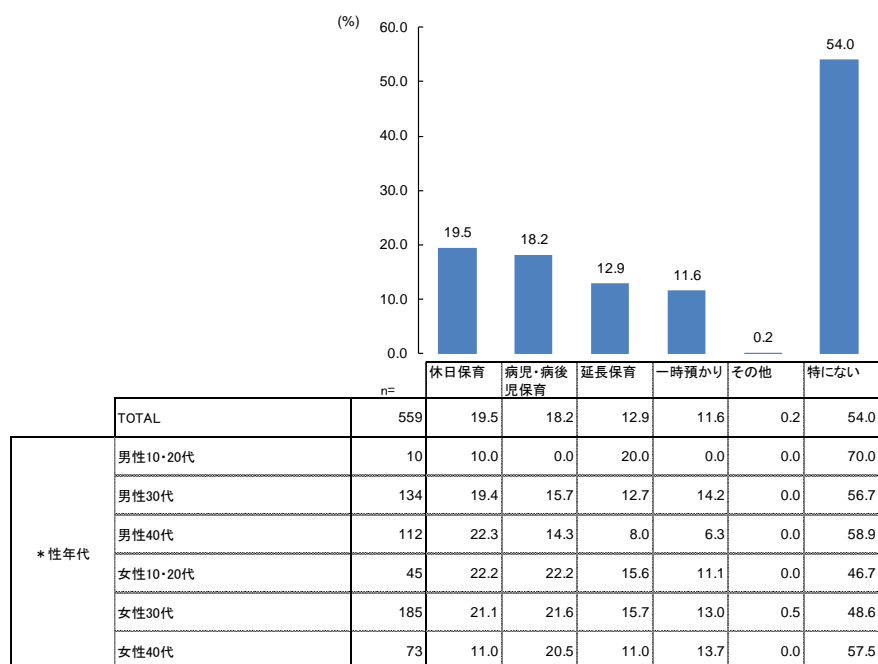
「現在利用している」保育サービスについては、「延長保育」の割合が最も高い(42.4%)。

「現在利用していないが、今後利用したい」保育サービスについては、「休日保育」(19.5%)、「病児・病後児保育」(18.2%)、「延長保育」(12.9%)の順となっている。一方、今後利用したい保育サービスが「特にない」とする割合は5割を占める(54.0%)。

<現在利用している>



<現在利用していないが、今後利用したい>

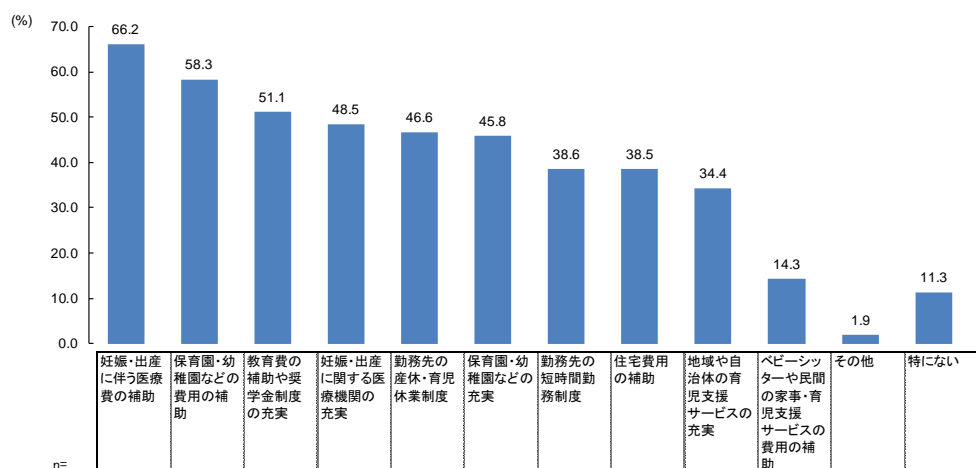


問 41 子どもを産み、育てる上で、行政や勤務先に充実を希望する出産・子育て支援は何ですか。あてはまるものをお答えください。(回答はいくつでも) 【回答者：子どもが1人以上いる者、または理想の子どもの人数が1人以上の者】

行政や勤務先に希望する出産・子育て支援は、「妊娠・出産に伴う医療費の補助」が66.2%と最も高く、次いで「保育園・幼稚園などの費用の補助」(58.3%)、「教育費の補助や奨学金制度の充実」(51.1%)、「妊娠・出産に関する医療機関の充実」(48.5%)と続く。

性別・年代別にみると、男性10・20代、女性10・20代、女性30代のいずれも「妊娠・出産に伴う医療費の補助」が7割にのぼり、充実を希望する割合が高い。

また、男女とも、10・20代では「保育園・幼稚園などの充実」(男性10・20代：57.1%、女性10・20代：61.0%)、30代では「住宅費用の補助」(男性30代：43.9%、女性30代：47.5%)の割合が高い。



		n=	妊娠・出産に伴う医療費の補助	保育園・幼稚園などの費用の補助	教育費の補助や奨学金制度の充実	妊娠・出産に関する医療機関の充実	勤務先の産休・育児休業制度	保育園・幼稚園などの充実	勤務先の短時間勤務制度	住宅費用の補助	地域や自治体の育児支援サービスの充実	ベビーシッターや民間の家事・育児支援サービスの費用の補助	その他	特になし
	TOTAL	2757	66.2	58.3	51.1	48.5	46.6	45.8	38.6	38.5	34.4	14.3	1.9	11.3
* 性年代	男性10・20代	133	74.4	56.4	46.6	50.4	51.1	57.1	31.6	39.1	33.8	8.3	1.5	11.3
	男性30代	478	66.5	59.0	44.6	47.3	39.1	44.4	29.3	43.9	31.0	10.3	1.7	9.6
	男性40代	763	61.1	51.2	49.3	41.5	37.5	38.5	28.0	32.2	28.6	13.0	1.6	16.3
	女性10・20代	287	78.4	68.3	56.8	60.6	67.2	61.0	55.7	49.8	41.5	12.9	0.7	6.6
	女性30代	569	74.3	66.8	57.8	56.2	54.1	54.1	50.8	47.5	45.2	20.9	3.0	6.5
	女性40代	527	55.6	53.9	50.3	44.2	46.3	37.4	41.6	26.6	30.7	15.0	2.3	13.3

附属資料(調査票)

本調査

長野県民の結婚・出産・子育てに関するアンケート

このアンケートは、以前のアンケートで長野県にお住まいとご回答された方を対象にお送りしています。

このアンケートには、結婚・出産・子育ての状況やお考えをうかがう内容が含まれています。長野県にお住まいの皆様のご意見をおうかがいし、今後の事業に役立てることを目的として行うものです。アンケートの回答はすべて個人が特定できないように処理をしたうえで使用させていただきます。

趣旨をご理解のうえ、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

アンケートであなたご自身やあなたのご家族についておうかがいする場合があります。

このアンケートには年収についてうかがう内容が含まれています。

6月1日現在の状況でお答えください。

共通パート

(調査内容)

Q 1 あなたの性別をお答えください。(回答は1つ)

1 男性	2 女性
------	------

Q 2 あなたの年齢をお答えください。

	歳
--	---

Q 3 あなたがお住まいの市町村をお答えください。(回答は1つ)

<佐久地域>	<諏訪地域>	<飯伊地域>	<木曾地域>	<大北地域>	<北信地域>
1 小諸市	16 岡谷市	30 飯田市	44 上松町	58 大町市	72 中野市
2 佐久市	17 諏訪市	31 松川町	45 南木曾町	59 池田町	73 飯山市
3 小海町	18 茅野市	32 高森町	46 木曾町	60 松川村	74 山ノ内町
4 佐久穂町	19 下諏訪町	33 阿南町	47 木祖村	61 白馬村	75 木島平村
5 川上村	20 富士見町	34 阿智村	48 王滝村	62 小谷村	76 野沢温泉村
6 南牧村	21 原村	35 平谷村	49 大桑村	<長野地域>	77 栄村
7 南相木村	<上伊那地域>	36 根羽村	<松本地域>	63 長野市	78 この中にはない
8 北相木村	22 伊那市	37 下條村	50 松本市	64 須坂市	
9 軽井沢町	23 駒ヶ根市	38 売木村	51 塩尻市	65 千曲市	
10 御代田町	24 辰野町	39 天龍村	52 安曇野市	66 坂城町	
11 立科町	25 箕輪町	40 泰阜村	53 麻績村	67 小布施町	
<上小地域>	26 飯島町	41 喬木村	54 生坂村	68 高山村	
12 上田市	27 南箕輪村	42 豊丘村	55 山形村	69 信濃町	
13 東御市	28 中川村	43 大鹿村	56 朝日村	70 飯綱町	
14 長和町	29 宮田村		57 筑北村	71 小川村	
15 青木村					

Q 4 あなたの現在の婚姻状況をお答えください。(回答は1つ)

1 現在、結婚（事実婚を含む）している	3 結婚したことはない
2 結婚していたが、現在は離・死別した	

独身者パート < Q4 = 2、3 と回答した人に >

【ここからは「独身の方」に、結婚や現在の生活などについてうかがいます。】

Q5 あなたの両親と現在のあなたとの同居/別居についてうかがいます。(回答はそれぞれ1つ)

	同居	別居 (近居)	別居 (近居以外)	いない
あなたの父親	1	2	3	4
あなたの母親	1	2	3	4

※近居・・・徒歩で30分程度の距離

Q6 今のあなたにとって、結婚することは何かメリットがあると思いますか。(回答は1つ)

1	メリットがあると思う	2	メリットがないと思う
---	------------	---	------------

Q7 (Q6で1と回答した人に)

どのようなメリットがあると思いますか。最大のメリット、第2のメリットをそれぞれお答えください。
(回答はそれぞれ1つ)

1	経済的に余裕がもてる	6	生活上便利になる
2	社会的信用を得たり周囲と対等になれる	7	親から独立できる
3	精神的なやすらぎの場が得られる	8	親を安心させたり周囲の期待にこたえられる
4	現在愛情を感じている人と暮らせる	9	その他 ()
5	自分の子どもや家族をもてる		

Q8 それでは逆に今のあなたにとって、独身生活には結婚生活にないメリットがあると思いますか。
(回答は1つ)

1	メリットがあると思う	2	メリットがないと思う
---	------------	---	------------

Q9 (Q8で1と回答した人に)

どのようなメリットがあると思いますか。最大のメリット、第2のメリットをそれぞれお答えください。
(回答はそれぞれ1つ)

1	行動や生き方が自由	6	友人などとの広い人間関係が保ちやすい
2	異性との交際が自由	7	職業をもち、社会とのつながりが保てる
3	金銭的に裕福	8	現在の家族とのつながりが保てる
4	住宅や環境の選択肢の幅が広い	9	その他 ()
5	家族を養う責任がなく、気楽		

Q10 結婚について、あなたのお気持ちに最も近いものをお答えください。(回答は1つ)

1	すでに結婚する予定がある	4	いずれは結婚したい
2	すぐにでも結婚したい	5	結婚するつもりはない
3	2・3年以内に結婚したい	6	わからない

Q11 (Q10 で1～4 と回答した人に)

あなたが結婚を考えたとき、次の中ではどのようなことが気になりますか。(回答はいくつでも)

1 お金を自由に使えるか	6 自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか
2 職業を自由に選べるか	7 ファッションや食べ物などの好みが制約されないか
3 仕事(または学業)の時間を自由に取れるか	8 自由な人生設計ができるか
4 余暇や遊びの時間を自由に取れるか	9 その他()
5 住む場所が制約されないか	10 特に気になることはない

Q12 (Q10 で1～4 と回答した人に)

あなたは結婚相手を決めるとき、次の項目についてどの程度重視しますか。

(回答はそれぞれ1つ)

	重視する	考慮する	あまり関係ない
相手の学歴	1	2	3
相手の職業	1	2	3
相手の収入などの経済力	1	2	3
相手の人から	1	2	3
相手の容姿	1	2	3
相手の家族構成・状況	1	2	3
共通の趣味の有無	1	2	3
自分の仕事に対する理解と協力	1	2	3
家事・育児に対する能力や姿勢	1	2	3

Q13 (Q10 で2～4 と回答した人に)

あなたが現在独身でいる理由は、次の中から選ぶとすればどれですか。最大の理由、第2の理由、第3の理由をそれぞれお答えください。(回答はそれぞれ1つ)

1 結婚するにはまだ若すぎるから	7 異性とうまく付き合えないから
2 結婚する必要性をまだ感じないから	8 結婚資金が足りないから
3 今は、仕事(または学業)に打ち込みたいから	9 結婚生活のための住居のめどがたたないから
4 今は、趣味や娯楽を楽しみたいから	10 親や周囲が結婚に同意しない(だろう)から
5 独身の自由さや気楽さを失いたくないから	11 その他()
6 適当な相手にまだめぐり会わないから	12 これ以上理由はない

Q14 (Q10で2～4と回答した人に)

あなたは「婚活」としてどのようなことを行っていますか。あるいは今後行いたいですか。(回答はいくつでも)

- | | |
|------------------|-------------------------------|
| 1 友人、職場の同僚や先輩に頼む | 6 民間の結婚相談所に登録する |
| 2 合コンに参加する | 7 市町村や社会福祉協議会などの公的な結婚相談所に登録する |
| 3 婚活パーティーに参加する | 8 その他 () |
| 4 趣味のサークルに入る | 9 特に行っていない・行う予定はない |
| 5 お見合いをする | |

Q15 結婚を支援する事業を行政(県や市町村)が取り組むことについてどのように思いますか。あてはまるものをお答えください。(回答は1つ)

- | |
|---------------------------|
| 1 行政に積極的に取り組んでほしいと思う |
| 2 どちらかといえば行政に取り組んでほしいと思う |
| 3 どちらかといえば行政は取り組まなくてよいと思う |
| 4 行政は取り組まなくてよいと思う |

Q16 (Q15で1、2と回答した人に)

行政(県や市町村)に取り組んでほしい結婚支援は何ですか。あてはまるものをお答えください。(回答は3つまで)

- | |
|---|
| 1 各種イベント等の実施による出会いの場の提供 |
| 2 交際にあたってのノウハウを学ぶセミナーの開催 |
| 3 結婚に関する悩み相談 |
| 4 公的な結婚相談所によるお相手紹介 |
| 5 年齢、年収、学歴等、自分の希望する条件に合う相手を検索できるデータマッチングシステムの導入 |
| 6 結婚祝い金 |
| 7 安定した雇用機会の提供 |
| 8 夫婦がともに働き続けられるような職場環境の充実 |
| 9 若者の結婚を応援するようなPR活動の実施 |
| 10 結婚や住宅に関する費用の貸与や補助 |
| 11 長時間労働の是正等によるワークライフバランスの推進 |
| 12 その他 () |
| 13 わからない |

既婚者パート < Q 4 = 1 と回答した人に >

【ここからは「結婚されている方（事実婚を含む）」にうかがいます。】

Q17 結婚したときのご夫婦の年齢をお答えください。

夫		歳
妻		歳

【あなた方ご夫婦の結婚までの経過についてうかがいます。】

Q18 あなた方ご夫婦はどのようなきっかけで知り合いましたか。(回答は1つ)

1 学校で	8 結婚相談所で
2 職場や仕事の関係で	9 インターネットで
3 アルバイトで	10 婚活イベントで
4 幼なじみ、隣人関係	11 地域のイベントで
5 学校以外のサークル活動やクラブ活動、習い事で	12 街なかや旅先で
6 友人やきょうだいを通じて	13 その他 ()
7 見合いで (親戚や上役などの紹介も含む)	

Q19 あなた方ご夫婦が、最終的に結婚を決めたときの直接のきっかけは何ですか。(回答は2つまで)

1 年齢的に適当な時期だと感じた	6 結婚資金 (挙式や新生活の準備のための費用) が用意できた
2 できるだけ早く一緒に暮らしたかった	7 収入や住居など結婚生活のための経済的な基盤ができた
3 できるだけ早く子どもがほしかった	8 友人や同世代の人たちの結婚
4 子どもができた	9 親や周囲のすすめ
5 自分または相手の仕事の事情	10 その他 ()

共通パート

【すべての方にかがいます。】

Q20 あなたのおつとめの状況をお答えください。結婚されている方は、配偶者についてもお答えください。(回答はそれぞれ1つ)

- (1) あなたご自身
- (2) あなたの配偶者

1 正規の社員・職員	4 自営業主・家族従業員
2 パート・アルバイト	5 無職・家事
3 派遣・嘱託・契約社員	6 学生
	7 その他 ()

【現在、お仕事をお持ちの方にかがいます。】

Q21 (Q20 で1～4 と回答した人に)

あなたのおつとめ先の従業員数をお答えください。結婚されている方は、配偶者についてもお答えください。(回答はそれぞれ1つ)

- (1) あなたご自身
- (2) あなたの配偶者

※本社・支社を含めた従業員数をお答えください。

※官公庁におつとめの場合には「官公庁」をお選びください。

1 1～9人	5 300～999人
2 10～29人	6 1,000人以上
3 30～99人	7 官公庁
4 100～299人	8 わからない

Q22 (Q20 で1～4 と回答した人に)

差し支えなければ、あなたの昨年の収入(年収)をお答えください。結婚されている方は、配偶者の収入(年収)もお答えください。(回答はそれぞれ1つ)

- (1) あなたご自身
- (2) あなたの配偶者

1 0～99万円	7 600万円台
2 100万円台	8 700万円台
3 200万円台	9 800万円台
4 300万円台	10 900万円台
5 400万円台	11 1,000万円以上
6 500万円台	12 覚えていない・答えたくない

【ここからは、出産や子育てについてうかがいます。】

Q23 お子さんの人数についてうかがいます。以下のそれぞれにあてはまる人数をご記入ください。

(1) 現在の子どもの数 (妊娠中の子は含めない)

(2) 理想の子どもの数

(出産や子育てのハードルが無いと仮定した場合に欲しい子どもの数 (今いる子や妊娠中の子を含む))

(3) 実際に持つつもり (予定) の子どもの数

(今いる子や妊娠中の子を含む) ※既婚者のみ回答

	人
	人
	人

【Q23 で、「実際に持つつもり (予定) の子どもの数」が、「理想の子どもの数」より少ない方にうかがいます。】

Q24 持つつもりの子どもの数が、理想の子どもの数より少ないのはどうしてですか。あてはまる理由をお答えください。(回答はいくつでも)

1. 子育てや教育にお金がかかりすぎるから
2. 家が狭いから
3. 自分の仕事 (勤めや家業) に差し支えるから
4. 子どもがのびのび育つ社会環境ではないから
5. 自分や夫婦の生活を大切にしたいから
6. 高年齢で出産や子育てをするのはいやだから
7. これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから
8. 健康面・体調面の理由から
9. 家族の家事・育児への協力が得られないから
10. 家族が望まないから
11. 自分や配偶者の定年退職までに成人してほしいから
12. その他 ()
13. 特に理由はない

【お子さんをお持ちのすべての方にかがいます。】

Q25 (Q23(1)で1人以上と回答した人に)

女性の場合：1人目のお子さんを出産したときの仕事についてお答えください。

男性の場合：1人目のお子さんが産まれたときの配偶者・パートナーの仕事についてお答えください。

(回答は1つ)

(継続)

- 1 育児休業を取得し、継続して働いた (働いている、または働く予定である)
- 2 育児休業を取得せず、継続して働いた (働いている、または働く予定である)

(無職・退職)

- 3 妊娠前から無職だった
- 4 妊娠～子どもが1歳になる前の間に退職した
- 5 子どもが1歳になって以降、3歳になる前の間に退職した
- 6 子どもが3歳になって以降に退職した
- 7 わからない・答えたくない

【仕事を辞めた方にかがいます。】(Q25で4～6と回答した人に)

Q26 1人目のお子さんの妊娠・出産・育児の時期に仕事を辞めた一番の理由は何ですか。

(回答は1つ)

- 1 家事・育児に専念するため、自発的に辞めた
- 2 結婚・出産・育児を機に辞めたが、理由は結婚・出産・育児等に直接関係ない
- 3 仕事を続けたかったが、仕事と育児の両立が難しそうだった
- 4 子どももつ前と仕事内容や責任等が変わり、やりがいを感じられなくなった (なりそうだった)
- 5 その他 ()
- 6 特にない

【お子さんが2人以上いるすべての方にかがいます。】

Q27 (Q23(1)で2人以上と回答した人に)

女性の場合：2人目のお子さんを出産したときの仕事についてお答えください。

男性の場合：2人目のお子さんが産まれたときの配偶者・パートナーの仕事についてお答えください。

(回答は1つ)

(継続)

- 1 育児休業を取得し、継続して働いた (働いている、または働く予定である)
- 2 育児休業を取得せず、継続して働いた (働いている、または働く予定である)

(無職・退職)

- 3 妊娠前から無職だった
- 4 妊娠～子どもが1歳になる前の間に退職した
- 5 子どもが1歳になって以降、3歳になる前の間に退職した
- 6 子どもが3歳になって以降に退職した
- 7 わからない・答えたくない

【仕事を辞めた方にかがいます。】(Q27で4～6と回答した人に)

Q28 2人目のお子さんの妊娠・出産・育児の時期に仕事を辞めた一番の理由は何ですか。

(回答は1つ)

1	家事・育児に専念するため、自発的に辞めた
2	結婚・出産・育児を機に辞めたが、理由は結婚・出産・育児等に直接関係ない
3	仕事を続けたかったが、仕事と育児の両立が難しそうだった
4	子をもつ前と仕事内容や責任等が変わり、やりがいを感じられなくなった(なりそうだった)
5	その他()
6	特にない

【お子さんをお持ちのすべての方にかがいます。】

Q29 お子さんが3歳になるまでの間、あなたや配偶者のご両親と同居していましたか。(回答はそれぞれ1つ)

※3歳になるまでの間で、もっともあてはまる状況についてお答えください。

※お子さんが複数いる方は、一番下のお子さんの時のことをお答えください。また、お子さんが3歳未満の場合には、現在の状況についてお答えください。

	同居	別居(近居)	別居(近居以外)	いなかった	わからない
あなたの父親	1	2	3	4	5
あなたの母親	1	2	3	4	5
配偶者の父親	1	2	3	4	5
配偶者の母親	1	2	3	4	5

※近居・・・徒歩で30分程度の距離

Q30 お子さんが3歳になるまでの間、あなたや配偶者のご両親からの子育ての手助けはありましたか。もっともあてはまる状況についてお答えください。(回答はそれぞれ1つ)

※3歳になるまでの間で、もっともあてはまる状況についてお答えください。

※お子さんが複数いる方は、一番下のお子さんの時のことをお答えください。また、お子さんが3歳未満の場合には、現在の状況についてお答えください。

	ほとんどなかった	ときどきあった	ひんぱんにあった	日常的にあった
あなたの父親	1	2	3	4
あなたの母親	1	2	3	4
配偶者の父親	1	2	3	4
配偶者の母親	1	2	3	4

Q31 お子さんが3歳になるまでの間、以下の制度や施設を利用しましたか。あてはまる状況についてお答えください。(回答はいくつでも)

※3歳になるまでの間で、もっともあてはまる状況についてお答えください。

※お子さんが複数いる方は、一番下のお子さんの時のことをお答えください。また、お子さんが3歳未満の場合には、現在までの状況についてお答えください。

- | |
|-------------------------------------|
| 1 産前・産後休業制度 |
| 2 育児休業制度 (男親) |
| 3 育児休業制度 (女親) |
| 4 短時間勤務制度 (男親) |
| 5 短時間勤務制度 (女親) |
| 6 保育園 (認可保育所) |
| 7 認証・認定保育施設 (自治体が認証・認定した施設) |
| 8 認定こども園 (保育施設と幼稚園が一体化した施設) |
| 9 企業内保育所 |
| 10 その他の保育施設 |
| 11 ベビーシッター |
| 12 ファミリー・サポート・センター (地域住民による子どもの預かり) |
| 13 保育園・幼稚園などの一時預かり |
| 14 地域子育て支援センター |
| 15 幼稚園の未就園児親子登園 |
| 16 どれも利用しなかった |

Q32 (Q31 で2、3と回答した人に)

実際に取得した育児休業の期間と、理想の育児休業の期間をそれぞれお答えください。

※お子さんが複数いる方は、一番下のお子さんの時のことをお答えください。

<男親の育児休業> Q31 で2と回答

(1) 実際に取得した (取得する予定) の育児休業期間

 年

 ヶ月

(2) 理想の育児休業期間

 年

 ヶ月

わからない・覚えていない

<女親の育児休業> Q31 で3と回答

(3) 実際に取得した (取得する予定) の育児休業期間

 年

 ヶ月

(4) 理想の育児休業期間

 年

 ヶ月

わからない・覚えていない

【Q31で「男親が育児休業制度を取得しなかった」とお答えの方にはうかがいます。】

Q33 (Q31で2と回答しなかった人に)

育児休業を取得しなかった理由をお答えください。(回答はいくつでも)

- | |
|--|
| 1. 会社で育児休業制度が整備されていなかったから |
| 2. 職場が育児休業制度を取得しづらい雰囲気だった(会社や職場の理解がなかった)から |
| 3. 休業取得による、所得減等の心配があったから |
| 4. 残業の多い職場だったから |
| 5. 休業前と同じ仕事や職場に復職できない(変化に対応できない)と思ったから |
| 6. 昇給や昇格など、今後のキャリア形成に影響がありそうだったから |
| 7. 配偶者や家族からの後押しがなかったから |
| 8. 会社での手続き等が煩雑でわかりづらかった、または制度について十分わかっていなかったから |
| 9. 配偶者や家族が家事・育児を担ってくれていたから |
| 10. そもそも取得をする必要性を感じていなかったから |
| 11. 育児休業は男性ではなく、女性が取得するべきものだと思っていたから |
| 12. その他() |
| 13. わからない・覚えていない |

【Q31で「女親が育児休業制度を取得しなかった」とお答えの方にはうかがいます。】

Q34 (Q31で3と回答しなかった人に)

育児休業を取得しなかった理由をお答えください。(回答はいくつでも)

- | |
|--|
| 1. 会社で育児休業制度が整備されていなかったから |
| 2. 職場が育児休業制度を取得しづらい雰囲気だった(会社や職場の理解がなかった)から |
| 3. 休業取得による、所得減等の心配があったから |
| 4. 残業の多い職場だったから |
| 5. 休業前と同じ仕事や職場に復職できない(変化に対応できない)と思ったから |
| 6. 昇給や昇格など、今後のキャリア形成に影響がありそうだったから |
| 7. 配偶者や家族からの後押しがなかったから |
| 8. 会社での手続き等が煩雑でわかりづらかった、または制度について十分わかっていなかったから |
| 9. 配偶者や家族が家事・育児を担ってくれていたから |
| 10. そもそも取得をする必要性を感じていなかったから |
| 11. その他() |
| 12. わからない・覚えていない |

【現在結婚(事実婚を含む)されている方にはうかがいます。】

Q35 あなた方ご夫婦の現実の分担と、理想の分担をそれぞれお答えください。

(1) 現在の家事の分担	夫:	<input type="text"/>	%	妻:	<input type="text"/>	%
(2) 理想の家事の分担	夫:	<input type="text"/>	%	妻:	<input type="text"/>	%
(3) 現在の育児の分担	夫:	<input type="text"/>	%	妻:	<input type="text"/>	%
(4) 理想の育児の分担	夫:	<input type="text"/>	%	妻:	<input type="text"/>	%

※(3)(4)は子どもがいる人のみを対象。

【お子さんをお持ちのすべての方にかがいます。】

Q36 あなたは、現在、保育サービス（「保育園」、「幼稚園」、「認定こども園」、「その他の保育サービス」）を利用していますか。（回答は1つ）

※その他の保育サービス：一時預かり、延長保育、休日保育、病児・病後児保育、ファミリー・サポート・センターなど

- 1 利用している
- 2 利用していない

Q37（Q36で1と回答した人に）

あなたは、希望どおりの保育サービスを利用できていますか。（回答は1つ）

※お子さんが複数いる方は、一番下のお子さんの利用についてお答えください。

- 1 希望した保育サービスを利用できている
- 2 希望した保育サービスを利用できていない

Q38（Q36で1と回答した人に）

あなたは、利用している保育サービス（「保育園」、「幼稚園」、「認定こども園」、「その他の保育サービス」）に対して総合的に満足していますか。（利用時間、サービス内容、スタッフ、料金等）

（回答は1つ）

※お子さんが複数いる方は、一番下のお子さんの利用についてお答えください。

※現在、利用している保育サービスが複数ある方は、主に利用している保育サービスについてお答えください。

- 1 満足
- 2 やや満足
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり満足していない
- 5 満足していない

Q39（Q38で4、5と回答した人に）

利用している保育サービスに満足していない点は、どのようなことですか。あてはまるものをお答えください。（回答は3つまで）

- 1 子どもを預かる時間が短い
- 2 一時的に預けたいのに預けられない
- 3 休日に預けたいのに預けられない
- 4 子どもが病気になったら預けられない
- 5 保育や教育の内容に満足していない
- 6 スタッフの対応に満足していない
- 7 スタッフの人員が十分でない
- 8 利用料が高い
- 9 その他（ ）

Q40 (Q36 で1 と回答した人に)

あなたが、「現在利用している」、「現在利用していないが、今後利用したい」保育サービスをお答えください。(回答はいくつでも)

※お子さんが複数いる方は、一番下のお子さんの利用についてお答えください。

	一時預かり	延長保育	休日保育	病児・病後児保育	その他	特にない
現在利用している	1	2	3	4	5	6
現在利用していないが、今後利用したい	1	2	3	4	5	6

【お子さんをお持ちの方、お子さんを希望している方にかがいます。】

Q41 (Q23 (1) で1人以上、または、Q23 (2) で1人以上と回答した人に)

子どもを産み、育てる上で、行政や勤務先に充実を希望する出産・子育て支援は何ですか。あてはまるものをお答えください。(回答はいくつでも)

1	妊娠・出産に伴う医療費の補助
2	妊娠・出産に関する医療機関の充実
3	保育園・幼稚園などの充実
4	保育園・幼稚園などの費用の補助
5	地域や自治体の育児支援サービスの充実
6	ベビーシッターや民間の家事・育児支援サービスの費用の補助
7	教育費の補助や奨学金制度の充実
8	住居費用の補助
9	勤務先の産休・育児休業制度
10	勤務先の短時間勤務制度
11	その他 ()
12	特にない

長野県民の結婚・出産・子育てに関する調査報告書

平成28年8月

調査機関：株式会社インテージリサーチ

発行：ながの子ども・子育て応援県民会議

〒380-8570 長野市大字南長野字幅下692-2

電話 026-235-7207 (直通) fax 026-235-7087

ホームページアドレス <http://nagano-kosodate.net/>

メールアドレス shoushika@pref.nagano.lg.jp